

# 宵振

36号 2017年12月



福岡歯科大学同窓会

《巻頭フォト》

## 『象タクシーの朝礼』

装飾を施されたマハラジャ（大王）の乗り物である『神の遣い』の象たちが、  
登城する客を早朝から待っている。

飯塚市 太田 常晴（16期）



撮影場所：インド北西部 ジャイプール アンベール城

撮影日時：2012.1.2 8:09

カメラ：Canon Eos 5D Mark II

レンズ：EF24-105 F4 IS USM

設定：F 7,1・絞り優先 AE・-1/3 補正・ISO 800

〔表紙題字：故 松本洋一名誉学長 書〕

## ■ 目 次 ■

巻頭挨拶	ご挨拶	福岡歯科大学同窓会会長 宮口 厳……	1
〃	ご挨拶	福岡学園理事長 水田 祥代……	2
〃	ご挨拶	福岡歯科大学学長 石川 博之……	4
〃	福岡看護大学学長就任のご挨拶	福岡看護大学学長 窪田 恵子……	5
〃	福岡医療短期大学学長就任のご挨拶	福岡医療短期大学学長 北村 憲司……	6
〃	教授就任のご挨拶	口腔腫瘍学分野教授 平木 昭光……	7
〃	小児科学分野教授就任のご挨拶	小児科学分野教授 鳥巢 浩幸……	8
〃	生体工学分野教授就任のご挨拶	生体工学分野教授 都留 寛治……	9
〃	教授就任のご挨拶	機能構造学分野教授 畠山 雄次……	10
〃	口腔医療センター長着任の挨拶	口腔医療センター長 佐藤 博信……	11
退職の挨拶	退職するにあたって	生化学分野教授 早川 浩……	12
学園紹介	充実した環境で教育・診療・研究	画像診断学分野 香川 豊宏……	13
w a t c h	Doctor of Philosophy とは？	島根大学医学部歯科口腔外科学講座教授 関根 浄治……	14
私の臨床誌上講座	「矯正治療による歯の挺出の効果」	きたぞの歯科矯正 北園 俊司……	17
留学	難治性根尖性歯周疾患のストラテジー	歯科保存学分野 松本 典祥……	29
〃	オフィスでの留学を経て	口腔腫瘍学分野 勝俣 由里……	37
〃	フィンランド留学について	有床義歯学分野 佐々木 浩乃……	40
国際学会報告	Academy of Osseointegration Annual Meeting 2017	口腔インプラント学分野 安松 香奈江……	42
〃	国際歯科研究学会での発表	冠橋義歯学分野 宮園 祥爾……	44
同窓会だより	会長就任にあたって	宮崎県同窓会長 黒木 康夫……	46
〃	同窓会会長就任のご挨拶	広島県同窓会長 村上 誠一……	47
〃	会長就任ご挨拶	岡山県同窓会長 石川 拓志……	48
〃	京都・滋賀地区同窓会合併について	京都府同窓会長 葉山 義則……	49
〃	熊本県同窓会「大阿蘇会」会長就任挨拶	熊本県同窓会長 伊藤 明彦……	50
九地連・九州地区会議	福岡県地区会・九州地区会合同会議および懇親会	懇親会実行委員長 山田 道男……	51
OB会だより	スキー部（同好会）OB会報告	梶 浩一……	53
同窓生トーク	宮口 厳先生長崎県歯科医師会・神田晋爾先生福岡市歯科医師会会長就任祝賀会	野口 芳彰……	54
〃	玉置幸雄先生教授就任祝賀会	荒川 周幸……	55
親子で頑張る同窓生	「感謝」お世話になりました	石川 博文／翔子……	57
〃	「少しほっと、感謝」	中村 重雄／淳平……	58
学園通信	福岡学園はいま	福岡学園企画課……	59
学生だより	「健康まるごと福岡学園」第43回田の歯科祭を終えて	学園祭実行委員長 川越 智洋……	72
学位取得者紹介			74
本部会務報告	平成28年度福岡歯科大学同窓会定時評議員会・総会・特別講演会	持山 達郎……	76
〃	福岡看護大学開学記念式典・祝賀会	高嶺 明彦……	77
〃	福岡看護大学開学記念にグランドピアノを寄贈	馬場 篤子……	77
〃	平成28年度九州5大学歯学部同窓会連絡協議会	小柳 進祐……	78
〃	第64回全国歯科大学同窓・校友会懇話会	高嶺 明彦……	79
〃	男女共同参画推進事業シンポジウム「女性歯科医師がより輝く未来へ」へ参加	馬場 篤子……	80
〃	学術事業報告 第33回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会	梶 浩一……	82
〃	学術事業報告 第34回臨床セミナー・第30回学術講演会・2017年度臨床スキルアップセミナー	葛西 秀夫……	83
〃	ご逝去のお知らせ		85
福岡歯科大学同窓会役員名簿（本部役員、地区会会長、学内・府県同窓会長・評議員）			86
会務報告			91
会計報告			94
福岡歯科大学同窓会会則・諸規則			97
編集後記		廣松 亮／劉 中憲……	112

## ご 挨拶



福岡歯科大学同窓会

会 長 宮 口 巖

福岡歯科大学同窓会の会員の皆様には、常日頃より本会の会務運営に対して多大なるご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

平成29年は、福岡歯科大学同窓会にとって3つの大きな慶事がございました。

まず、6月1日より成長発達歯学講座矯正歯科学分野の教授に、19期生の玉置幸雄先生が就任されました。福岡歯科大学において、高橋 裕教授、尾崎正雄教授、城戸寛史教授、古賀千尋教授に続き、5人目の教授となります。玉置先生が教授に昇格されたのは、ひとえに先生のお人柄と日頃からの努力の成果と思われる。また、現在、福岡歯科大学には、准教授、講師、助教として多くの同窓生が診療・教育・研究に日々、奮闘されてますので皆様の努力が報われますよう、私たち福岡歯科大学同窓会も一緒に頑張るって参りたいと思います。

次に、福岡市歯科医師会会長に、4期生の神田晋爾先生が就任されました。福岡歯科大学のお膝元である福岡市の歯科医師会会長に就任されるということは、福岡歯科大学同窓会にとっても大きな転機の一つになると思います。神田先生には、福岡歯科大学同窓会においても、副会長として辣腕を振るって頂いておりますが、更なる飛躍を祈念しつつ、ご健康に留意され今一層のご協力を賜りますようお願いしたいと存じます。

最後に私事で恐縮ですが、同じく長崎県歯科医師会会長に就任いたしました。これもひとえに、同窓生ならびに福岡学園の皆様、多大なるご支援の賜物であると感じ御礼申し上げる次第でございます。

近年、本部同窓会では、学内外を問わず、様々な組織との連携や協議を活発化させております。本部役員の方へご協力を頂きながら、日々の会務運営を行っているところです。現在、福岡歯科大学では新病院建設をはじめとする創立50周年記念事業の準備が行われています。また、合わせて「記念講堂」の建設も計画されています。我々卒業生は、本学の未来永劫の発展を願って一致団結して支援していくことが必要ではないかと思っております。皆様のご協力とご理解を心よりお願いしたいと存じます。

末筆となりますが、福岡歯科大学同窓生の皆様には、改めて福岡歯科大学同窓会へのご協力をお願い致しまして、私の挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶



学校法人 福岡学園  
理事長 水田 祥代

福岡歯科大学同窓会の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年は宮口巖会長の長崎県歯科医師会会長ご就任や、神田晋爾副会長の福岡市歯科医師会長ご就任というお目出度いことがありました。本学は開学45周年を迎えましたが、4,300人あまりの同窓生の方々の中には今回のお二人の他にも寺尾隆治佐賀県歯科医師会会長や長尾博通大分県歯科医師会長等たくさん活躍されていらっしゃいますことは、とても嬉しいことで、学園として誇りに思います。西日本でただ1つの私立歯科大学として願わくば西日本すべての県の歯科医師会会長を同窓生で埋め尽くしてほしいとさえ思います。

私はこの8月3日の理事会で理事長に再任いただき第2期目に入りました。課題は山積みですが、皆様のご支援をいただいて1つ1つクリアーしていきたいと思っております。

今年の4月には福岡看護大学が開学し、119名の男女学生達がそれぞれの人たちのwell-beingを大切にするという新しい看護学の確立へ向かって元気に勉強しています。開学にあたりまして同窓会からピアノをご寄贈いただきましてありがとうございます。

お昼休みの時間にはステンドグラスにデザインされた優しさの中にも凛とした姿のナイチンゲール女史に見守られながら、そのピアノが奏でる曲に皆が心癒されております。厚く御礼申し上げます。

7月には株式会社クオールと院外薬局を契約し、それによって薬剤部の活性化を図り、薬剤師の入院患者さんへの薬の説明等の病棟業務の参加が可能となりました。8月には教職員や学生のための就業環境の改善と地域社会への貢献のため、学園敷地内にペンギン保育園を開園しました。この保育園は地域児童の預かりも可能で、地域共生への取り組みとして期待されていますし、病児保育も行っております。お天気の良い日には、学内を保育士さんたちにつれられてお散歩している可愛い園児達の姿を見ることが出来ます。

また、10月には院内組織として訪問歯科センターを設置し、学園内の高齢者施設のみならず、福岡市歯科医師会のご指導のもと歯科診療を行っていない市中病院での周術期口腔管理を行わせていただいております。11月からは内視鏡センターも立ち上げ、病院の活性化を図っています。

また、いよいよ病院の建て替えにも取りかかりました。開院後45年を経た病院は狭い上に免震等もなく旧くなって安全性に問題がありますし、エレベーターも2年後には動かなくなります。病院建て替え委員会で各部門の意見を調整しながら、今年中に基本設計に取りかかり、2020年秋に新病院を開院予定です。また、本学は2022年には創立50周年を迎えますので、その準備も始めております。50周年記念事業準備委員会には同窓生の方々にも参加いただき、定期的に委員会を開催しております。

一番の課題は受け継いできた歴史、紡いできた伝統と誇りある福岡学園、福岡歯科大学の本来の姿を取り戻し、『学生が意欲を持って学び、同窓生が誇れる母校』にすることです。

国家試験合格率の向上をはじめ、学生の定員充足などに教職員が一丸となって全力を尽くしております。

先日嬉しいことがありました。5年ほど前に1年生の男子学生と話す機会があった時に、「先生、本当に学生でも海外に行かせてもらえるのですか？」と質問され、「もちろん、海外の提携校とは毎年国際交流をしているから、行けるよ！でも選考基準には成績も加味されるよ！」と言いましたら、「絶対行けるようにしっかり勉強します」と言っていました。先日の壮行会でその学生を見つけた時、「君、よくがんばったね！」と声をかけました。彼が1年生の時の目標を達成したこと、海外研修に参加するというモチベーションを持ち続けたことを本当に嬉しく思いました。

昨今の歯学教育は国家試験合格のみにターゲットが絞られているようです。もちろん国家試験に合格することは歯科医師になるには必須条件ですが、大学人として心がけたいことは、広い視野を持った良き歯科医師を育てることだと思います。そのために本学では、学生時代に広い視野と豊かな国際感覚を身につけるべく、アジアや欧米の大学へ行き、各国の文化や歯科医療の教育現場、臨床現場を体験する国際交流を行っています。今年からは従来からのブリティッシュコロンビア大学、中国医科大学口腔医学院、上海交通大学口腔医学院や韓国慶熙大学歯科大学に加えて英国リバプール大学とも新しく提携し

ましたので、学生達のチャンスは更に広がりました。

単に「物見遊山」の気持ちで行くのではなく、多くの学生達がそれぞれに切磋琢磨しながら、この経験を将来に活かしてほしいと思いますし、また引率の教員も学生のお世話係で行くわけではなく、交流先の教育体制を学び、本学の教育に還元することを心がけてほしいと思います。

最後になりましたが、同窓会の皆様にはこれからも変わらぬご支援・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



## ご挨拶



福岡歯科大学  
学長 石川 博之

福岡歯科大学同窓会の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃から、大学に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず平成28年10月から、平成29年11月までの1年間の大学の教員人事について、ご紹介したいと思います。教授につきましては、平成28年10月1日付で口腔腫瘍学分野に平木昭光先生（前職本学同分野准教授）、平成29年6月1日付で小児科学分野に鳥巢浩幸先生（前職本学同分野准教授）および矯正歯科学分野に玉置幸雄先生（前職本学同分野講師）、同年7月1日付で生体工学分野に都留寛治先生（前職九州大学大学院歯学研究院准教授）、同年10月1日付で機能構造学分野に畠山雄次先生（前職本学同分野准教授）、同年11月1日付で新しく設置されました内視鏡センターに池田哲夫先生（前職九州大学病院准教授）が任命されました。また、同期間には2名の先生が准教授に、1名の先生が講師に採用または昇任となりました。玉置幸雄先生は、本学19期生で私の後任の教授となりますが、同窓会の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、大学には入試から卒業までの方針を述べた3つのポリシーがあります。入学者の受入れに関する方針であるアドミッション・ポリシー、教育課程の編成及び実施に関する方針であるカリキュラム・ポリシー、そして卒業の認定に関する方針であるディプロマ・ポリシーです。平成28年3月31日の学校教育法施行規則の一部を改正する省令の公布により、平成29年4月からすべての大学での3つのポリシーの策定と公表が義務化されるようになりました。

すでに多くの大学では、3つのポリシーが策定および公表されていましたが、今回の省令では、各ポリシーの内容を抽象的表現ではなく具体的に示し、さらに3つのポリシーが相互に関連付けられていることが求められました。そこで、本学でも平成28年度にほぼ1年間をかけて新たな3つのポリシーを検討し、平成29年4月から導入しました。この3つのポリシーは、まず入試ではどのような学生を求めて選抜を実施するのか、入学後はどのような教育を実施するのか、そしてどのような能力を身に付けさせて卒業させるのかを具体的に示して、大学の教育の質保証につなげようとするものです。本学のホームページには、建学の精神とともに3つのポリシーが示されていますので、一度ご覧いただけましたら幸いです。

このうち、ディプロマ・ポリシーについて少し述べさせていただきます。現在、本学では、全国的な流れとなっているアウトカム基盤型教育の導入を進めており、これに基づいて、ディプロマ・ポリシーを策定しています。アウトカム基盤型教育とは、卒業時に学生が具有すべき能力をコンピテンシ・コンピテンシーと呼ばれる学習成果として設定し、それを達成するために、卒業時から入学時までを遡って大学教育の全体を設計する教育法です。本学では、「医療人としてのプロフェッショナルリズム」、「医療人としてのコミュニケーション能力」、「ライフステージを通じた包括医療・ケアに必要な口腔医学の知識の具有と応用」、「ライフステージを通じた包括医療・ケアにおける口腔医学の実践」、「超高齢社会における地域包括ケアの理解と実践」、「医療人としての国際力の涵養」の6つのコンピテンシを設定し、それらの具体的な学習成果として65のコンピテンシーを策定しています。これらが本学で学生に卒業時に身につけさせる能力であり、ディプロマ・ポリシーに挙げています。アウトカム基盤型教育では、各コンピテンシに定める能力が卒業時まで段階的に向上するように、各科目の配置や時間数、教育内容を検討しますが、現在本学でもその完成を目指してカリキュラムの検討を行っています。今後もアウトカム基盤型教育をベースとして、PDCAサイクルを働かせながら、大学全体としてより質の高い教育を目指していきたいと思っております。

## 福岡看護大学学長就任のご挨拶



福岡看護大学  
学長 窪田 恵子

平成29年4月1日付けで福岡看護大学学長を拝命しました。

4月1日には、福岡看護大学開学記念式典・祝賀会が行われ、福岡県及び福岡市の行政機関や福岡県・福岡市医師会、看護協会、実習予定の病院、施設の皆様、学校法人福岡学園の教職員、福岡歯科大学同窓会会長はじめ多くの同窓会の皆様にご出席していただきました。また、開学に合わせて福岡歯科大学同窓会からは、漆黒に輝く自動演奏もできる素晴らしいグランドピアノを寄贈していただきました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

福岡看護大学の正面玄関に入ると、3階まで吹き抜けの開放的な空間が広がり、エントランスホールに続く木目の美しい大階段、その先には、美しいフローレンス・ナイチンゲールのステンドグラスが私達を迎えてくれます。このステンドグラスは、水田祥代理事長が英国留学中にアイルランドの教会で見つけられ心に残ったと話されていたもので、福岡看護大学のシンボルとして設置されました。

グランドピアノは、そのステンドグラスの横に設置されています。1期生として入学した119名は、凛とした姿のナイチンゲール女史に見守られ、グランドピアノの音色に癒され、時には励まされ、看護職を目指して学習に励んでいます。

本学は、2011年に田中健蔵前理事長の下で定められた「第二次中期構想」で4年制看護大学を新設することが決まり、当時の常務理事であった水田理事長の下で準備が進められ文部科学省の認可を受けることができました。福岡県内の看護系大学としては13番目の創立です。18歳人口の減少やグローバル化への対応等の競争的環境への対応が求められる厳しい状況の中で、いかに他大学との差別化を図るかが課題です。学長の責務は、10年、20年、さらにその

先にある社会の変化や医療の変化に対応し生き抜く力を育成し、教育の質を保証することであると自覚しています。

福岡看護大学の特徴には、福岡歯科大学創立45周年の間、積み上げてこられた教育・研究実績を土台とした「口腔医学」を「看護学」に取り入れ、人々の健康、増進、回復を目指すことを挙げています。一人ひとりの尊厳が守られ、その人らしい最適な生活（well-being）への健康支援ができる専門的知識・技術・態度を備えた看護専門職の育成です。

そのためには、他職種と協調・協働する能力、在宅高齢者に対する看護実践能力、さらに、口腔と全身との関連性を理解した上で、口腔の機能の維持・回復にとどまらず、疾病の早期発見、予防を目指した全身の健康支援やQOLの向上に貢献できる実践能力を備えた看護専門職の育成を目指したカリキュラムを構築しました。

教職員は、様々な背景を持った選りすぐりの集団であると自覚しています。各人は前職独自のカラーや考え方に違いはありますが、全教職員が新しい大学づくりに意欲的に取り組み、新しい教育のかたちを生み出そうと一致団結しています。学長としては、教職員の働きには感謝の言葉しかありません。何より、学生には本学を選択してくれたことへの感謝とともに特別な想いを感じています。

開学しての半年間を問題なく経過できましたのは、学校法人福岡学園水田祥代理事長のご指導の下に福岡学園として総出でご支援を賜ったお陰と感謝いたします。

同窓会の皆様には、同窓会総会・祝賀会の席で常に看護大学への温かいエールを頂きましたことに深く感謝いたします。

教職員一丸となって、福岡看護大学の発展に向けて努力いたします。

今後ともご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。



グランドピアノ＝福岡歯科大学同窓会寄贈

## 福岡医療短期大学学長就任のご挨拶



福岡医療短期大学

学 長 北村 憲司

同窓生の皆様におかれましては、お変わりなくご活躍のことと拝察いたします。また、大学長退任時には多くの同窓の先生からねぎらいのお言葉をいただき、紙面を借りて厚くお礼申し上げます。私こと、本年4月から栢前学長の跡を受けて、短期大学学長を拝命いたしました。福岡医療短期大学は15年にわたって栢前学長が手腕を発揮され、順調な発展を遂げてまいりましたが、この数年、歯科衛生学科も入学定員の未充足に陥り、保健福祉学科と共に受験者確保が短期大学の喫緊の課題として改善が求められています。そのようなことで、2年ほど前から短期大学活性化のための会議を不定期に開催し、状況分析と改善策を検討してきました。今回の学長就任は活性化会議の議論を踏まえ、短期大学改善を堅実にかつ迅速に進めよとの水田理事長のご指示によるものですが、学長としての私の使命は1期3年の間に現状を打開し、入学者確保に関する課題を解決することで、歯科衛生学科の学士課程移行への準備を進めるとともに、保健福祉学科の将来像を確かなものにし、次の学長に引き渡すことであると考えています。常務理事職との兼任ですが、本学の規模は小さいながらも、行うべき業務は多く、実際には殆どの時間を短期大学で過ごしています。

福岡医療短期大学の状況について、少しご報告させていただきますと、本年3月栢前学長と同時に、学科長の井上教授が定年退職され、4月から堀部教授が学科長に就任いたしました。堀部教授は本学で初めての歯科衛生士の資格を持つ学科長です。また、4月から同窓の力丸哲也先生が教授に昇任され、短期大学同窓の石井綾子先生が講師に昇任されました。このように徐々に新しい力が加わることによって新たな視点が生まれ、それらが福岡医療短期大学の活力に変わっていくものと期待しています。現在、福岡医療短期大学には20名弱の教員がいます

が、そのうち同窓の教員は1期生の升井教授を筆頭に5名で、そのうち4名が博士号を取得されており、今後、学士課程への移行を図る上で不可欠の人材です。また、講師、助教の先生も学位に対する意識が高まっており、博士・修士取得にプライベートな時間を割いて大学院に通われたり、進学を予定されたり、教員の教育研究に対する意欲は非常に高まっており、将来が大いに期待されます。

歯科衛生学科、保健福祉学科とも未来の安定した日本社会に不可欠の人材を育成する場であり、その社会的使命は非常に高いのですが、人々の価値観も徐々に変化し、社会的使命だけでは魅力を見せることができない時代になりつつあります。これまで私たちは「良い教育」に努力してきましたが、これからは「魅力ある教育」が必要になってきているのだと思います。その「魅力ある教育」の取組として、今年度は実習の改善に取り組んでおり、近い将来には学外での歯科衛生学科学生に対する臨床実習を計画し、その準備を進めようとしているところです。学生にとっては直接クリニックの医療を体験できること、大学にとってはクリニックに教育を委託することによって、教育の質が向上すること、歯科クリニックにとっては学生を受け入れることによって、職員のリクルートに繋がることなど、三者三様のメリットが有ると考えています。この実習は本学の教育をしっかりと理解していただいております。信頼のおける福岡歯科大学同窓生のクリニック等で行うことができれば、大変ありがたく存じます。その節は、是非前向きにご検討いただければ幸いです。

保健福祉学科は開設以来、定員未充足が続いており、途中入学定員の見直しも行われましたが改善の兆候は認められません。その理由ははっきりしておりますが、バラ色の未来を描ける解決策は見いだせていません。当分忍耐の時代が続くと思いますが、今できることは、社会と介護職を希望する人のニーズに向き合う「魅力ある」教育プログラムを地道に作っていくことしかないと考えています。

最後になりましたが、本年、宮口同窓会会長が長崎県歯科医師会会長にご就任されるとともに、日本歯科医師会の要職に就かれたこと、神田副会長が福岡市歯科医師会会長にご就任されたことを、関係者の一人として心からお喜び申し上げますとともに、同窓の皆様の更なるご活躍をお祈りいたします。併せて、今後とも同窓の皆様の福岡医療短期大学に対する温かいご指導、ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

## 教授就任のご挨拶



福岡歯科大学  
全身管理・医歯学部門  
口腔・顎顔面外科学講座  
口腔腫瘍学分野  
教授 平木 昭光

2016年10月1日付けで福岡歯科大学全身管理・医歯学部門口腔・顎顔面外科学講座口腔腫瘍学分野の教授を拝命いたしました。教授就任から約1年が経過し、慌ただしさも落ち着き、臨床・教育・研究の充実に日々励んでいます。

臨床では大関悟名誉教授が構築し、整備された本学での口腔癌の治療体系を踏襲しつつ、より質の高い治療を目指し、日々精進しております。進行癌症例では腫瘍切除や頸部郭清術を行うだけでなく、最近では口腔の重要な機能である咀嚼・嚥下・発音などの術後QOLを加味した治療が求められるようになってきました。軟組織の再建はマイクロサージェリーによる前腕皮弁や腹直筋皮弁を行い、顎骨切除症例は腓骨皮弁を用いた硬性再建も取り入れ、将来的にはインプラントによる咬合再建を治療のゴールにしています。口腔癌以外でも、当口腔外科では抜歯をはじめとする口腔外科手術や粘膜疾患、顎関節症、先天性疾患、口腔心身症などあらゆる口腔外科疾患に対応できる体制が整っております。これからも同窓生の先生方や歯科医師会会員の方々にも多くの患者様をご紹介いただくとありがたく存じます。

教育面では4年生の口腔腫瘍学、5年生の臨床実習、6年生の国家試験対策を中心とする学生講義を担当しています。4年生で学問的知識をしっかりと学び、5年生でその知識を実際の臨床で摺り合わせし、6年生で国家試験に対応できるように、最重要課題である歯科医師国家試験の合格率向上に励んでいく所存です。医局員教育では口腔外科学会指導医に1名、同専門医に1名、同認定医に2名が合格しました。口腔外科学会の認定医は2年、専門医は7

年で取得できますので、それらの取得カリキュラムを作成し、資格取得者を多数養成したいと思えます。また、他の大学と人材交流を行い、口腔外科の各分野においてリーダー的人材を数多く輩出させることが目標です。さらに、優秀な卒業生の他大学への流出を防ぐとともに、卒業生の人材確保と後進の育成を進めていきたいと思えます。

研究面では3人の大学院生が入学してくれました。大学院生を中心に「口腔癌の浸潤・転移」、「唾液腺細胞の分化・増殖」、「口腔癌術後の口腔内環境の変化」、「頸部郭清後のQOL」、の研究を行っています。今後は本学の基礎や臨床講座と共同しながら研究活動を活発に行いたいと思えます。また、他大学との他施設共同研究を3テーマ、当院内科やリハビリテーション科とのコラボレーションで2テーマを倫理委員会の承認を取得し、臨床研究を進めています。このほかにも多数の臨床研究を計画しており、研究成果を学会等で発表していきたいと思えます。

臨床・教育・研究すべての面でアクティブな医局を目指し、福岡歯科大学の発展に貢献していきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

### 〈略歴〉

1994年 九州大学歯学部歯学科卒業  
1994年 九州大学歯学部第2口腔外科入局  
2002年 麻生飯塚病院歯科口腔外科 医長代理  
2003年 佐世保共済病院歯科口腔外科 医長  
2005年 九州大学病院顔面口腔外科 助教  
2006年 熊本大学歯科口腔外科学分野 講師  
2015年 福岡歯科大学口腔腫瘍学分野 准教授  
2016年 福岡歯科大学口腔腫瘍学分野 教授  
現在に至る

### 〈資格〉

日本口腔外科学会専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
(歯科口腔外科)  
一般社団法人日本口腔腫瘍学会暫定口腔がん指導医  
日本有病者歯科医療学会認定医・指導医

## 小児科学分野教授就任のご挨拶



福岡歯科大学  
全身管理・医歯学部門  
総合医学講座  
小児科学分野  
教授 鳥巢 浩幸

平成29年6月1日付けで福岡歯科大学全身管理・医歯学部門総合医学講座小児科学分野の教授を拝命しました鳥巢浩幸（とりす ひろゆき）と申します。小児科での私の専門領域は小児神経で、九州大学病院の小児神経外来で脳性麻痺、てんかん、発達障害の小児を中心に診療を行ってまいりました。福岡歯科大学同窓会の皆様にあらためてご挨拶申し上げます。

私は福岡市の出身です。小学生の頃、田の歯科祭のポスターが通学路にあるたくさんの電柱に貼られていたのを今でも覚えています。九州大学医学部卒業後、九州大学医学部小児科学教室に入局し、九州大学医学部附属病院と福岡市立こども病院で研修を行いました。その後、鳥取大学医学部脳神経小児科で、自分の専門領域である小児神経学を学び、九州大学に戻ってからは、小児神経疾患の診療を行う一方、医学教育ならびに小児科専門教育に携わりました。また、小児の感染性脳炎や免疫性神経疾患を中心に研究を行いながら、特徴的な症例は積極的に報告いたしました。

その後、平成25年4月に福岡歯科大学に小児科学分野が新設されたのを機に、准教授として福岡歯科大学に参りました。赴任当時は毎日が“はじめて”の連続で、医科と歯科の違いに戸惑うことも多かったのですが、歯科の先生方との交流が深まるにつれて、歯科に対する理解が深まり、歯科診療での考え方を学ばせていただきました。また、歯学生に小児科学の講義を行い、臨床実習で指導するうちに、「目の前にいる学生さんが、社会に信頼され、活躍できる歯科医師になれるよう、小児科医の立場から

力を尽くしたい」と思うようになりました。小児科学分野では、学生の皆さんが、成長と発達の視点を身につけ、先天性疾患と感染症を理解し、小児に対して適切な態度をとり、将来、患者さんの生活全体を見通した包括的な医療を行えるようになることを目標に教育指導を行っています。

福岡歯科大学での研究は、臨床研究が中心です。昨年は、難治性神経免疫疾患である脱髄性疾患の小児例の全国調査結果を解析し、Neurology 誌に発表いたしました。現在、平成27年に日本で多発した弛緩性脊髄炎に関する全国調査に加わり、解析研究を行っています。今後、小児科学分野から新たな発見や治療につながる症例を報告したいと思います。

福岡歯科大学医科歯科総合病院小児科は、プライマリケアを中心とした一般外来とともに、専門外来として予防接種外来と小児神経外来を行っています。予防接種外来では、福岡看護大学教授の岡田賢司先生を中心に他の医療施設では予防接種を行うことが難しいお子さんや海外渡航をするお子さんのワクチン接種を行っています。神経外来では、発達障害やてんかんのお子さんの診療を中心に行っています。また、開設以来、小児歯科をはじめ口腔外科、矯正歯科、障害者歯科など小児が受診する歯科診療科とも連携を取らせていただいています。私の目指す医療は、最新の知見に基づいた、お子さんやご家族の気持ちや日常生活にも目を向ける、包括的で現実的な医療です。そして、疾病の治療のみならず、疾患予防、さらに健康増進を目指したいと思います。どうぞお気軽にご相談くださいますようお願い申し上げます。

今後とも末長くご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。



小児科スタッフ一同（平成29年4月1日撮影）

## 生体工学分野教授就任のご挨拶



福岡歯科大学  
基礎医歯学部門  
歯科医療工学講座  
生体工学分野  
教授 都留 寛治

平成29年7月1日付けで福岡歯科大学基礎医歯学部門歯科医療工学講座生体工学分野教授に着任致しました。

私は小倉で生まれ育ちましたので、福岡は大変馴染み深い場所です。子供の頃から物作りが好きで大学進学の際は工学部を選択しました。折角なら人に役に立つ物作りをしたいと考え、研究室配属では生体素材工学（生体材料化学）を選びました。研究室活動を通じて生体材料に対する思いが日に日に増してきて、修士課程、さらに博士課程に進学しました。博士課程進学と同時に学術振興会特別研究員（DC1）に採用され、「有機修飾セラミックスのゾルゲル法による合成と生体活性発現機構に関する研究」に従事しました。平成11年3月に「Bioactivity of inorganic-organic composite materials incorporating calcium ions and silanol groups」のテーマで博士（工学）の学位を取得しました。

平成11年4月に岡山大学工学部生物機能工学科の助手に着任した後は（平成19年4月同大学大学院自然科学研究科助教）、柔軟性と生体組織結合性を併せ持つ有機—無機ハイブリッドの研究に従事して、それまでの研究成果を更に発展させました。この有機—無機ハイブリッドの創製に関する一連の研究成果が認められ、平成15年度「有機成分をハイブリッド化したセラミックス医用材料に関する研究」により日本セラミックス協会賞進歩賞を受賞しました。

また、平成12年4月より医療用セラミックス材料の血液適合性付与に関する基礎的検討を開始し、平成12年12月から2ヶ月間、文部省在外研究員としてペイラー医科大学（アメリカ合衆国、テキサス州）に滞在し、人工心臓用血液輸送ポンプに関する研究開発動向を調査しました。平成13年度には新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）即効型産業技術研究助成を得て、金属チタン表面に高抗血栓性

を付与するための化学処理技術を開発しました。さらに、この研究を発展させて、平成14～16年度にはNEDO 産業技術研究助成を得て、医用金属として臨床使用されているNiTi合金やステンレスSUS316Lの表面に抗血栓性複合酸化チタン層を構築するための研究開発を精力的に遂行しました。

平成18年には日本学術振興会特定国派遣研究者事業の支援を得て、「高度医用材料の開発と国際共同研究体制の構築」を目的として、4月よりケンブリッジ大学、10月よりアバディーン大学・医学部（School of Medical Sciences, College of Life Sciences and Medicine）にて客員研究員として、英国に滞在しました。アバディーン大学滞在中には、先進的な国際共同研究体制の構築や学生間の交流を目指して、岡山大学とアバディーン大学との間で大学間協定締結のために奔走しました。

平成20年4月より九州大学大学院歯学研究院生体材料学分野に異動してからは、石川邦夫教授が代表を務める、科学技術振興機構（JST）育成研究「生体に学ぶ：骨置換材の創製」およびJST 戦略的イノベーション創出推進プログラム（S-イノベ）「革新的硬組織再生・再建システム創製」に参画し、骨置換性を有する炭酸アパタイト骨補填材の開発に力を注ぎました。福岡歯科大学に異動後も研究分担者として、継続して炭酸アパタイト骨補填材の性能向上のため日々努力しています。今後は福岡歯科大学オリジナルで意義のある学術的成果をあげ、そのうちのいくつかは成果を応用して商品化に結びつける努力をしたいと思います。

教育につきましては歯学部から異動してから現在までの約10年間「歯科理工学」の講義および実習を担当しています。歯学部で臨床を目指す学生にとって材料学は取っつきにくい学問と思われれます。私自身、初めて歯科理工学を担当した時、材料の構造や特性は理解できるのですが、どのように臨床応用されるのか分からず悩んだのを思い出します。悩んでいるのは埒が明かないと、補綴、保存、口腔外科、矯正といった臨床の先生方に直接教えを請い、それぞれの歯科材料がどのように臨床応用されるのかをご指導頂きました。今、目の前にいる学生は、私が初めて歯科理工学の講義を担当した時と同じ状況なのだということを肝に銘じ、学生の立場に立ち、「学生が分かりやすい歯科理工学」を実践したいと思います。私が担当する歯科理工学が基礎と臨床の懸け橋になれるよう、最善の努力をして参ります。

今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

## 教授就任のご挨拶



福岡歯科大学  
基礎医歯学部門  
生体構造学講座  
機能構造学分野  
教授 畠山 雄次

2017年10月1日付けで生体構造学講座機能構造学分野の教授を拝命いたしました。福岡歯科大学同窓会の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

私は東北大学歯学部を卒業後、東北大学大学院歯学研究科に入学し、小児歯科学講座（現、小児発達歯科学分野）に所属いたしました。大学院における研究テーマは「ラット有細胞セメント質の成長過程に関する免疫組織学的研究」でした。この研究は、ラット有細胞セメント質の形成過程においてプロテオグリカン豊富な組織が出現し、生理的メカニカルストレスに対応する組織である可能性を示しました。研究遂行にあたり口腔解剖学第二講座（現、顎口腔形態創建学分野）において、加賀山学教授および笹野泰之先生（現、顎口腔形態創建学分野教授）より親身な御指導をいただきました。大学院時代は週の半分を東北大学病院の小児歯科において臨床を、残りの半分を研究に費やしつつ、その合間を大学の実習、看護学校、衛生士学校にて解剖学の講義、一般開業医にて臨床のアルバイトをおこない、忙しいながらも充実した大学院時代をおくらせていただきました。学位取得後、東北大学小児発達歯科学分野にて助教を拝命し、臨床、教育および研究に従事いたしました。そのような中で、2001年に東北大学顎口腔矯正学分野、高橋一郎先生（現、九州大学歯科矯正学分野教授）の御紹介により、アメリカ国立衛生研究所（National Institutes of Health）にて研究する機会を得ることができました。ここでは私の大学院の研究テーマを発展させて、生理的メカニカルストレスに対応するプロテオグリカン豊富な

組織である軟骨の形成制御を分子生物学的見地から研究することができました。また他のラボとの共同研究によりエナメルマトリックスプロテインの歯周組織恒常性維持についての研究に携わることができました。その後、再度、東北大学小児発達歯科学分野、南カリフォルニア大学顎顔面分子生物学研究センターを経て、歯の発生生物学を研究テーマとしている研究者が集まる「歯の発生の会」のメンバーであった沢禎彦教授（現、岡山大学口腔機能解剖学分野教授）の御高配を賜り、福岡歯科大学機能構造学分野の助教として教室員に加わり、講師および准教授を経て現在に至っております。

これまで東北地方で過ごした私にとって、九州は全く異なる気候風土であり戸惑うことが多かったのですが、古くから外国に門戸を開いていた土地柄か、明るく親身な方々に多くのことを助けていただきました。また海と山に恵まれた環境でとても気持ちよく過ごしております。また福岡歯科大学は単科大学ですが、充実した各研究センターが存在し、その機器を利用できることから効率よい研究遂行が可能であることから、大変お世話になっており、感謝しております。このような環境のなかで、軟骨形成およびエナメルマトリックスプロテインの機能について研究を進めてまいりたいと考えております。

解剖学は歯学のみならず医療従事者にとって最初に学習する学問の一つであることは周知のことと存じます。一見、無味乾燥の語句の羅列のようにみられる解剖学ですが、「近心」、「遠心」といった普段何気なしに使われている語句も解剖学用語であることを鑑みますと、歯科において非常に重要な学問であり、その教育に携わる責任の重さを痛感しております。このような解剖学的知識を私の臨床経験を踏まえて、解剖学の講義および実習のみならず他の学問との有機的結合により複雑な人体構造を学生に理解していただきたいと考えております。

最後になりましたが、甚だ微力ではございますが、福岡歯科大学のさらなる発展のために力を尽くしてまいります。今後とも御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 口腔医療センター長着任の挨拶



福岡歯科大学  
口腔医療センター  
センター長 佐藤 博信

平成10年4月から平成29年3月までの19年間における福岡歯科大学・咬合修復学講座・冠橋義歯学分野、教授職を全うすることができました。これもまた福岡歯科大学同窓会、同窓生の協力なくしてできなかったものであり、まずは皆様に感謝申し上げます。また、この4月1日からは客員教授（常勤）として口腔医療センター・センター長として、継続して勤務いたしますことになりました。ここに改めて着任の報告を申し上げますとともに、同窓生の皆様には今後も今までと変わらず、ご支援を賜りますようお願いいたします。

日が経つのも早いもので、口腔医療センターも開設から5年が過ぎて、6年目に入っています。同窓生からの紹介患者さんも多く、最近では初診の紹介患者さんだけでも、月に80名を超えることもあるようになってきており、これもまた皆様のご理解、ご協力のたまものと感謝申し上げます。埋伏智歯の抜歯依頼が最も多いのですが、CTの撮影依頼やセカ

ンドオピニオンも依頼も多く、今後とも同窓生の皆様との関係もさらに深めていきたいと考えております。

口腔医療センターの現状についてもご報告させていただきます。デンタルCTなどの設備充実も重要なことですが、さらに重要なのはスタッフの確保と配置です。スタッフは開院当初から活躍されています、口腔外科の古賀千尋教授、平成26年4月に就任された保存（とくに歯周病学）の金子高士教授、そして本年補綴（インプラント系を含む）の私に加わることによって、そしてなにより臨床経験豊富な本学出身の講師陣（口腔外科：中山先生、保存・歯内療法：松浦先生、補綴：津江先生、中村先生、インプラント・補綴：横上先生）がバランス良く配置されるようになってきており、包括的診療をするには、かなりフットワークのよい診療体系が構築されつつあるように思います。また、私が就任した4月からは今まで以上に各医局員が密に連絡・連携を取り合う努力をするとともに、機材や材料の統合等を進めており、大学とは、また違った形でのコンパクトにまとまった形での先端的・包括的診療体系の充実に尽力しています。

今後はセンターの当初からの目的である更なる研修医の受け入れ、後期研修体系のあり方・トライアル等さらに生涯学習教育の充実に取り組んでいきたいと考えております。これらも同窓の先生方のご理解とご協力があってこそこれらの目的の達成が可能なものです。今後とも医局員ともどもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 退職するにあたって



福岡歯科大学  
基礎医歯学部門  
機能生物化学講座  
生化学分野  
教授 早川 浩

2006年9月、福岡歯科大学基礎医歯学部門機能生物化学講座生化学分野の化学（旧教養）の教授として赴任し、いつの間にか11年が過ぎ、今年度末で退職することになりました。在任中は同窓会の先生方には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

この11年間に感じたこと、いま考えていることなどを思いつくまま書いてみたいと思います。赴任前は研究だけの生活に明け暮れ、実習はともかく授業はわずか年数コマで学部学生との交流は皆無でした。それが毎日のように講義・実習が入り、しかも助言教員の仕事や不慣れな介護施設での実習のお手伝いなど、生活が180°ひっくり返るような体験をいたしました。さらにこれまで想像もしなかった入試業務という「苦行」にも立ち向かわなければなりません。とは云え、これまで研究が好きでやってきたわけですから、何とかそんな中でも時間を見つけ、最後の日まで自分で実験ができたことは最大の喜びです。

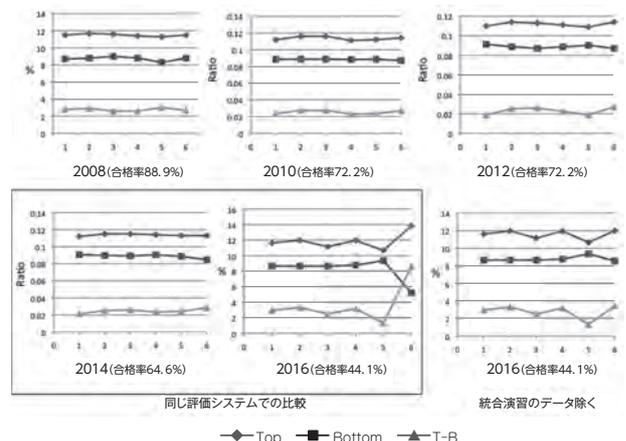
まず研究については平成24年から5年間、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の助成を受け、「老化の抑制と疾患の制御における環境ストレスとゲノムの応答」というプロジェクト研究を全学的に行ってきました。これはそれまで本学で長いこと行われてきた「先端科学研究センター」からの成果をシーズにして生まれたもので、本学ではもう1つの「再生医学研究センター」との3本柱で研究が進められてきました。本研究によって老化制御の新しい切り口をつくることができたと考えていますが、さらに複雑な老化現象の本質を理解し、老化抑制の有用な方策を立てることは、これから超高齢化社会を迎える日本には必須のことだと考えます。本研究は本年3月に終了しましたが、この後に続くものを期待し、お願いする次第です。

次に学部教育について、考えていることを述べさ

せていただきます。何よりもショックだったことは今年の春の国家試験の結果でした。前々から厳しいという噂は聞いていましたが、これほどまでの結果になるとは想定外でした。私自身は学部1年生の基礎的な講義（基礎化学、細胞化学）を担当するだけで専門科目について講義をする機会はありませんでしたが、それでも我々の教育の何が問題だったのか？と考える日々が続きました。これまで学部1年生の学力については過去10年分のデータを持っていましたので、これまで趣味的にいろいろ分析はしていましたが、全学年的なデータは持っていませんでした。そこで思いついて、これまでの解析法、およびそこから得たものを過去10年間、全学年横断的に応用してみようと考えIR室にお願いし個人情報を除いた形でデータをいただき、それを元に解析してみることにしました。これまで多くの先生方がすでに様々な分析をされているはずですので、同じことをしても仕方ない。全く別の視点からの解析が必要だと考え、「学力格差」という点に注目し解析を試みました。これは近年注目を集めた本『21世紀の資本』の著者であるフランスの経済学者、トマ・ピケティの手法に従いマクロ経済学の手法を用い解析したものです。詳細なデータをここでお示しする余白はありませんが、結論と重要なデータを1つずつ挙げますと、学力格差というのは多くの場合6年間ほとんど変化がないという点。それが突然6年生で拡大したのが今年の特徴だったという結果です。合格率低下とこの突然の格差拡大に関連があるかどうかは判りません。しかし分析結果は一部の先生にご報告していますので今後何らかの形で役立てれば幸いです。

最後に、同窓会の先生方の益々のご発展をお祈りいたしますとともに、これまでのご支援に深く感謝いたします。

上位10%と下位10%の学生の得点の総得点に対する割合の6年間を通じた変化と国家試験合格率の関係



## 充実した環境で教育・診療・研究



福岡歯科大学  
全身管理・医歯学部門  
診断・全身管理学講座  
画像診断学分野

准教授 香川 豊宏 (15期)

診断・全身管理学画像診断学分野は1975年に森進一郎教授と和田忠子助教授の着任により歯科放射線学講座として開講されました。その後、2001年に講座再編が行われ、旧歯科麻酔科と統合された診断・全身管理学講座の画像診断学分野となりました。

現在の分野構成は湯浅賢治教授、香川豊宏准教授(15期)、三輪邦弘講師、筑井朋子助教(25期)、吉田祥子医員の5名で大学の三本柱である教育・診療・研究に携わっています。また、この3月に画像診断学分野の大学院を卒業した内藤麻利江助教(34期：口腔健康科学分野所属)が週数回、外来業務に携わっております。

放射線診断科には医科用CT、歯科用CBCT、MRI、超音波などの診断機器が導入されており、非常に充実した環境の中で診療が行えております。また、2015年に最後に残っていた口内法もデジタル化されました。現在は、完全フィルムレスで画像診断を行っております。福岡歯科大学医科歯科総合病院は他の単科歯学部と異なり医科系の診療科も充実した総合病院ですので、頭頸部のみならず、胸部、腹部の検査画像を見る機会にも恵まれ、口腔医学の最先端を日々、実感しています。

教育においては、1年生前期にチュートリアル教育、4年生前期に歯科放射線学総論、4年生後期に歯科放射線学総論、5年生前期から6年生前期にかけて臨床実習を行っております。CBTや国家試験対策に力を入れ、少しでも合格率を上げるために様々な工夫を行いながら分野を挙げて取り組んでいます。また、現在、4年生で行われているOSCEに加え、来年から臨床実習終了後のSOCEが導入されます(数年はトライアルとして)。これは臨床実習の総括として、全国共通の実地試験が行われるも

のです。このように年々、歯科医師になるための関門は増え、ハードルは高くなって行っておりますが、学生一人一人が十分な学力を備え、歯科医師免許が取得できるよう努めております。

現在の研究テーマとしては、1) 三次元画像を用いた歯科放射線学の教育システムの構築、2) 超音波剪断波を用いたリンパ節内組織硬度分布定量化による微小転移巣診断基準の確立、3) MRIの隣コイルを用いた矯正治療の評価に関する研究(九州大学矯正科、東北大学口腔診断学との共同研究)などの様々な観点からの研究を行っております。また、特筆すべきは内藤助教が大学院時代に日本学術振興会から特別研究員に選ばれたことです。これは福岡歯科大学が開学して以来、初めての快挙です。

歯科放射線学講座のころからマンパワー不足は永遠の課題ですが、全員が精一杯頑張っています。同窓の先生方におかれましては、今後ともご指導の段、お願い申し上げます。

また、日々の診療の中で、画像診断についてお困りのことがありましたら、下記メールアドレスまでご遠慮なくご連絡ください。

メール：kagawat1@college.fdcnet.ac.jp



湯浅賢治教授と医局員、診療放射線技師



読影中の筑井朋子助教(奥)と内藤麻利江助教(手前)

## Doctor of Philosophy とは？



島根大学医学部  
歯科口腔外科学講座  
教授 関根 浄治 (11期)

11期の関根浄治です。2007年6月より現職を拝命し、10年が経ちました。教授職10年を振り返って、Ph. D. とは何かと考え直しているところです。

ぼくが今感じていることを以下にまとめます。

### 1. Doctor of Philosophy の語源

Ph. D. とは、おもに英語圏で授与されている博士水準の学位です。ラテン語では、Philosophie Doctoris といいます。直訳では、「哲学博士」であり、基本的には職業教育系の神学・法学・医学を除いた「哲学学部（ないし教養部）」のリベラル・アーツ (Liberal arts)\*系の学位であります。

(\*古代ローマにおいて、技術 (ラテン語 ars) は、「機械的技術 (artes mechanicae)」と「自由の諸技術 (artes liberales)」に区分されていました。後者を英訳したものがリベラル・アーツ (自由科) です。)

この自由科とは、中世では文法・論理・修辭・算術・幾何・音楽・天文の自由7科をいいます。現代の大学では、一般教養科目 (専門科目に対して、一般的な知識を与え、知力の発展を目的とした語学・文学・自然科学・哲学・歴史など) をいいます。

ちなみに、ぼくらの母校では1年次後期にラテン語の講義があり、この時得た知識が今もぼくの體 (この文字は、人間は骨を豊かに育ててこそ人間の身体があるとぼくは解釈しています) の一部になっています。

### 2. 大学 (Universitat) の意味

近代になって、自然科学の発展に伴い、社会科学・人文科学の学術系 (Academic) の学問が発達

するにつれて、近代西欧語でいわれるところの大学 (Universitat) は、真理発見の場となりました。これが本来の University でしょう。

このような経緯を経て大学の哲学部は Ph. D. の学位授与の認定権を取得しました。しかし、ヨーロッパでは、農学部・工学部など新しい職業分野では、長らく学位授与が認められず、日本とは異なり職業系では工学修士 (Master of engineering) のみの場合も多いようです。

### 3. 各国の Ph. D. について

イギリスでは、外科医 (産科・泌尿器科を含む) に対する敬称はドクターではなくミスターです。ぼくが若い頃 (Ph. D. 取得前) ロンドンでの学会に参加したときの名札には、Mr. Sekine, Japan と書かれていました。

これはかつて外科医が徒弟制度の下で訓練されていたという歴史的背景に基づいています。余談ですが、ぼくの教室では古典的かつ厳格な医局制度のもと、研修医は訓練生、臨床研修は臨床訓練と定義しています。

一方、ドクターとマスターの違いは、中世の大学の歴史に由来します。もともと大学はギルドの意味で、徒弟制度の下で親方に認定される免状を取ったものをマスターと呼んでいました。当時パリ大学ではマスター、ボローニア大学などではドクターと呼び同じ意味であったが、やがてマスターはドクターの下位になり、近代に繋がるバチューラー/マスター/ドクターの3位階制に発展しました。

これに対して、アメリカではそのような歴史的な区別はせずに、真理発見に価する学術系の学問であれば、Ph. D. として認めるようになりました。

アメリカ合衆国での最初の Ph. D. は、1861年イエール大学が神学・古典語・物理学の3分野で3件授与したのが初めてです。

ぼくの知る限り、アメリカの顎顔面口腔外科医で Ph. D. を有する人は数名です。しかし日本の Ph. D. 以上の知と技を身につけた口腔外科医がたくさんいらっしゃいます。

アメリカでは、M. D. (Doctor of medicine) と Ph. D. はまったく異なる教育過程です。アメリカでは、大学院への入学は容易、しかし、平均7年半を

要するため、入学者の多くは継続できずに辞めていきます。したがって、アメリカでは心理学や文学などの文化系 Ph. D. の方が理科系よりも多いようです。

#### 4. 日本の Ph. D.

日本でも学位取得者を Ph. D. と呼びます。しかし、Ph. D. が Doctor of Philosophy の略称であることを考えると「哲学博士」ということになります。

しかし、日本では philosophy はひとつの学問分野としての哲学ではなく、広く学術一般を意味すると解釈されています。したがって、日本の博士学位の英文表記は「Ph. D. in 専門分野の英語名称」が正しい表記です。

1887年（明治20年）制定の学位令では、博士の種類は法学博士・医学博士・工学博士・文学博士・理学博士の5つだったそうです。しかし1991年の改正以降、現在理工系63、人文社会系93、医歯学・保健体育・農学系43、教育・家政芸術・学術系37にその他を含めると何と250もの博士号が存在します。

一方、現在日本で、本当の哲学博士を授与する大学は、学習院大学・上智大学・中央大学・法政大学・同志社大学・慶應義塾大学・関西学院大学・専修大学・東京都立大学（現 首都大学東京）の9大学のみだそうです。

#### 5. Philosophy の日本語訳

ここまで、Ph. D. という言葉の語源とその用いられ方について述べてまいりましたが、この西洋由来の philosophy を日本で最初に「哲学」と訳した方をご存知でしょうか？

先日、清水正之氏の『日本思想全史』という書を紐解いてみました。この本は3年程前に発刊されたものですが、その中に“哲学という用語”という記載があり、何と日本で最初に philosophy を“哲学”と訳した方は、島根県津和野町でお生まれの〈西周〉先生でした。

西周先生によりますと、philosophy とは“Philia（愛）”と“Sophia（知）”とからなる合成語だそうです。

#### 6. Philosophy の解釈

哲学（愛と知）をどう解釈するかは明記されていませんでしたが、広辞苑第6版によりますと、哲学とは〈全体を貫く基本的な考え方〉とあります。さらに、哲学には道理があり、これは哲理とされています。

つまり、“哲学とは哲理をきわめることであり真理を見出し、これを追求すること”であると解釈できます。

#### 7. 医学部・歯学部での Ph. D.

日本では、課程博士と論文博士があります。ぼくの最終学歴は福岡歯科大学大学院（口腔解剖学専攻）中退であります。

多くの課程博士は、4年で学位を取得しているように見えますが、その質は様々です。その理由は、学内雑誌で審査することが多いからだと思います。ぼくは、学内雑誌を否定するわけではありません。しかし、ある統計によると、ぼくのように1年半で大学院を中退する人は、大学院修了者全体の30～40%といわれています。

かつては、大学卒業後に大学院へと進めば、4年で博士になれるという時代がありました。これは本当です。ぼくが知る多くの人たちもそれにあたります。

しかし、文系博士号取得は極めて困難とされています。博士（文学）については、全単位取得の後大学院を修了する人は20～30%だそうです。つまり、博士課程に在学して必要単位は取得しているものの、学位を取得せず満期退学あるいは単位取得後退学という人たちが70～80%も存在するというのが現状です。

#### 8. 島根大学医学部歯科口腔外科学講座における Ph. D.

2007年6月1日、ぼくが第二代目の教授として着任後10年の間に11名の Ph. D. と2名の M. S. (Master of science)、計13名が誕生しました。ぼくが直接指導した人たちの学位取得までの旅は、本当にそれぞれでありました。

IF が7に近い雑誌への投稿に挑む人、学内の英文雑誌で良いから一刻も早く学位を取得したい人、

学位取得が目的の人、医院の待合室に学位記を飾るのが目的の人、名刺に博士の肩書きを入れることが目的の人、学位取得を機に興味ある分野をさらに掘り下げて探求しようとする人、さまざまでした。

この10年でほくが感じたことは、学位に対する思いは個人差が大きいということです。逆に、学位を持っているというだけでその人を高評価してはいけないことも実感しました。

## 9. 日本における Ph. D. 審査法

日本の多くの施設では、学位取得は容易と考えます。IF の高い論文をひとつ書いて、予備審査・本審査を受けて語学試験に合格すれば、皆 Ph. D. あるいは M. S. です。もしくは、先ほど申しましたように、学内誌を有する施設では、大学院3年生くらいで日本語の《作文》を作り、学務係へ提出すればほぼ Ph. D. になります。

この仕組みは、東京の山手線の内側にある“天下の某大学”でも日々行われています。日本は暖かい国ですし、学位審査も温かいです。

## 10. スウェーデンでの Ph. D. 審査を経験して

スウェーデンは、日本と違って真冬は-30度にもなる寒い国です。ほくはこの6月1日（奇しくも教授就任10周年目）に、スウェーデンウメオ大学医学部で Opponent を担当しました。この制度の詳細は割愛しますが、Ph. D. Defence Ceremony は厳粛でかつ格式高い儀式です。

学位指導教授は何ひとつ発言しません。1名の Opponent（必ず海外の研究者を招聘）と4名の学外（海外を含む）からの審査員、そして会場には多くの専門家、研究の仲間たち、申請者のご家族（お母さまと奥さま、そしてお嬢さままで!）、大きな会場に集まり3時間程度を要しました。

今回ほくは、舌がんの基礎と臨床研究の立場から Opponent に招聘されました。ほくが30分間関連領域の overview をプレゼンし、申請者が30分学位内容を発表しました。

学位申請者にとって、この Ceremony で最大の難関は、この後に続く Opponent（論敵）との論争です。今回は1時間少しで終えましたが、Opponent の仕事は海外からの招聘者として、申請者に対

してバランスのとれた質問を投げかけ、なおかつ申請者を痛い目に合わせる（良い意味で）ことが求められます。

今回の申請者は、医師・歯科医師のダブルライセンスの方でした。学位論文はすでに Thesis として完成しており、British Journal of Cancer をはじめ3つの論文と未発表論文1編が含まれていました。

この度 Opponent を演じてほくが感じたこと……、それはイタリア出身の申請者（43歳）が母国の医学部卒業後スウェーデンの歯学部へ進み、さらにそこから10数年をかけて Ph. D. defence に臨んだことに心より敬意を表するとともに、ほくの質問攻めにも耐えて defence を乗り切った〈知力〉、そしてそれを支えた研究仲間とご家族の〈愛の力〉でありました。

この度、教授就任10周年にして初めて海外の Opponent を経験できたことによって、ほくは今後の考動を正さなくてはならないと感じました。

Doctor of Philosophy（愛と知）、これから Ph. D. を目指すみなさん、そしてすでに Ph. D. のみなさん、顎顔面口腔外科学という学問の真理（知識と技術）を求めて、ほくと一緒に世界へ進みましょう！

## 11. ほくが育った環境

最後にほくが育った恵まれた環境について述べます。学生時代に解剖学の論文を指導して下さった故大森忠雄名誉教授は、久留米大学の医学博士（乙）第1号です。また、同じく学生時代に公私ともに面倒を見て下さった恩師の武井俊哉先生は、母校福岡歯科大学の歯学博士（乙）第1号です。さらに、長崎大学歯学部口腔外科の先輩である志岐（小川）晶子先生は、長崎大学歯学博士（乙）第1号です。

これだけ恵まれた環境で研究をできたことにほくは改めて感謝の意を表します。

以上、ほくの教授就任10年に感じたことを述べさせていただきます。

今後、母校から真理を追求する教授が誕生することを祈ります。

2017年9月30日



## 「矯正治療による歯の挺出の効果」



きたぞの歯科矯正（鹿児島県）

北園 俊司（6期）

今回、歯を可能な限り保存するという観点から症例を提示したいと思います。

まず、歯が存在している症例と歯の欠損している症例を比較すると、歯が存在することで歯槽骨が保存されることが分かります。このように歯が無くなると歯槽骨の吸収は進行していきます（図1）。ですから、当然ながら、歯の存在は生涯にわたって、とても重要です。

「連結による骨破壊症例」です（図2）。⑤6⑦はブリッジが壊れて除去し、⑦6⑤のブリッジはそのままの状態、この患者さんは治療を中断しました。

約1年後の再来院時です（図3）。連結している⑦の歯槽骨は破壊し、つないでいない⑦は自然挺出し、歯槽骨が改善しています。

この症例で分かるように、病的な歯をつないでい

ると歯槽骨がどんどん破壊していきます。CTで確認しますと、下顎骨が下顎管の近くまで破壊されているのが分かります（図4）。

抜歯に至る原因としては、歯周病、カリエス、根



図1 健全歯の存在で歯槽骨は保存される。

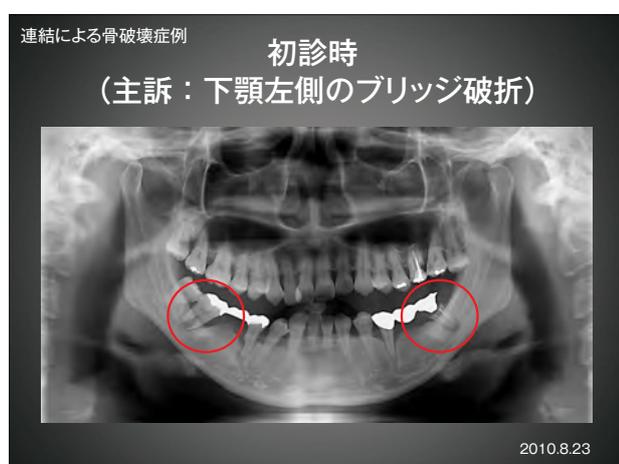


図2 ⑦6⑤、⑤6⑦にブリッジが入っており、今回⑦のブリッジの破壊が主訴で来院してきた。



図3 約1年後、⑦の歯槽骨は破壊されていた。⑦は自然挺出で歯槽骨・根尖病変は改善していた。

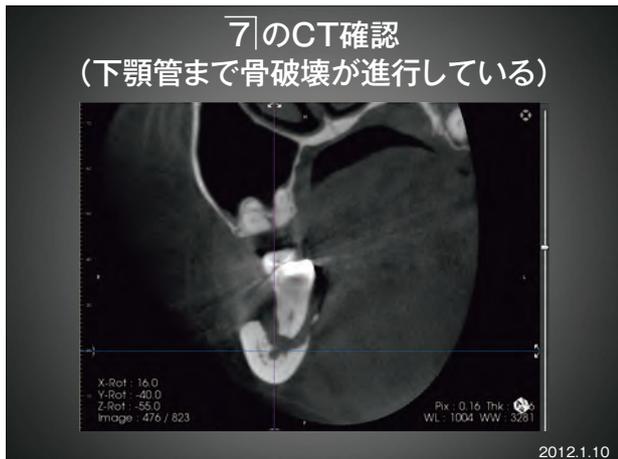


図4 7の歯槽骨の吸収は著しい。



図5 2は接着剤で着けてあった。

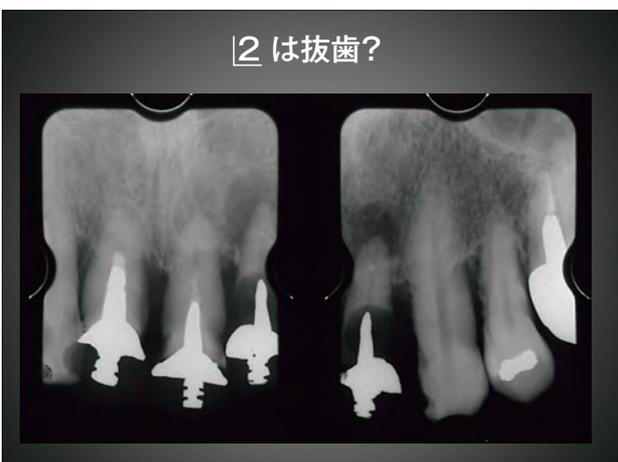


図6 2の二次カリエスは重度であった。3は生活歯で削合されていない。

尖病変、歯根破折、転位歯、智歯などがあります。転位歯、智歯に関しては今回省きます。抜歯に対して、本当に抜歯しか治療法がないのか、少し考察してみます。

歯周病、カリエス、根尖病変、歯根破折がある重度の症例に矯正治療をせず歯周外科だけで対応した症例を提示します。2に注目して下さい(図5)。

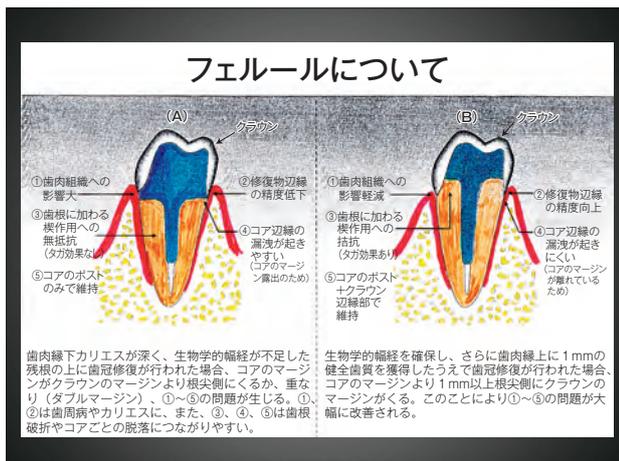
実際、このような状態の歯を残す歯科医師はほとんどいないと思います(図6)。基本的な話になりますが、図7Bのようにフェール(健康な象牙質)が歯の全周に存在している状態で修復治療が行えれば歯はより保存しやすくなります(図7)。

この症例は根尖側移動術の歯周外科を行い(図8)、根管治療はビタペックスで約3ヵ月仮根充し、その後AH26とガッタパーチャで最終根充を行いました。これが7年後の状態です。3は削合しないで済みました(図9a、b)。

初診時と治療後2年の状態です(図10)。保存不可能な歯はインプラントに置き換えました。歯周外科でフェールを獲得し、アンテリアガイダンス、パーティカルストップを確立し、単冠のプロビジョナルレストレーションで咬合状態の安定が確認できれば、単冠で補綴処置が行える症例が多いと思います。そしてメンテナンスの時に丁寧な咬合調整を行うことで、歯も骨も保存されます。そして将来、その歯が保存不可能となっても骨が保存されているため、インプラントに置き換える治療は容易となると考えています。

次に矯正治療による挺出症例を提示します。歯周病、カリエス、根尖病変、歯根破折などの症例に対して矯正による挺出の効果はあると考えています。

例えば、歯周病の症例です(図11)。654にブリッジが入っており、6の痛み・違和感を訴えてきた患者です。矯正で6を挺出させ、歯周外科にて側方歯肉移植術を行い、単冠処置にて修復治療を行いました。3~4mm程度の歯の挺出で、ブラッシングのしにくい状態が改善され、痛みなどの症状は改善しました(図12)。6、4は単冠処置し



(A) (B)

図7 フェルールについて



図8 根尖側移動術による歯周外科前後



図9 a 2の根尖病変の変化



図9 b 最終補綴治療後約7年。2の歯肉の状態はよい。



図10 アンテリアガイダンスをしっかり与えている。智歯の抜歯など口腔内環境を整えることも重要である。

ましたが、歯は移動することなく咬合関係は安定しています。

それでは矯正治療で歯を挺出させた3症例を提示します。

【症例1】

これは、鹿児島県枕崎市開業の川畑正樹先生（補綴医）との連携症例です。

1の歯根破折の症例です。1の歯肉の腫脹、疼痛で来院されました（図13）。

初診時のパノラマです（図14）。5は失活歯だったので抜歯を決定しました。左上に関しては1を抜歯し、2を近心に移動させるセットアップ模型（図15）と、1を挺出させてその部位にインプラン



図11 6は挺出することでブラークコントロールのしやすい口腔内環境となった。

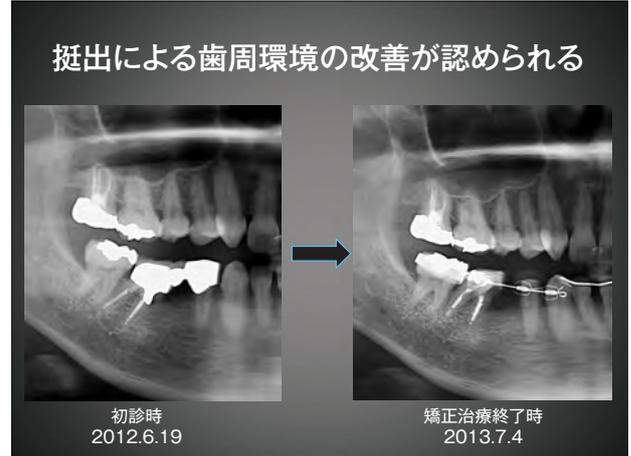


図12 矯正治療により6のアップライトを行った。



図13 主訴：1の歯肉の腫脹・疼痛



図14 右顎関節がやや変形している。

$\frac{5\ 2\ 1\ | 1\ 2\ 5}{5}$  に長いポストコアが装着されている。

トを埋入するという治療計画を立てました (図16)。患者さんと補綴医と相談し、今回はセットアップ2の治療方針で矯正治療を行うことになりました。今回の矯正治療では、上下正中は一致しないことも矯正治療前に了解していただいています。

1は、ブラケットを歯頸部側に装着して挺出させ、レベリングを開始しました。ある程度歯列が整った後、補綴医から「もう少し同歯牙を挺出させてほしい」との依頼がありましたので、再度ブラケットを歯頸部側に付け直して再度挺出させました (図17)。その後、中心位でカップリングを確認し、補綴医のチェックを受けた後に、矯正治療を終了し

ました (図18)。

1を約7 mm 挺出させ歯肉が増えている状態で矯正治療を終了した所、同歯の痛み、動揺が無くなったので、抜歯してインプラント埋入するのではなく、保存することになりました。その後、補綴医に歯周外科や補綴治療を行っていただきました (図19)。矯正前後のレントゲンの比較です。1がかなり挺出しているのが分かると思います (図20)。

矯正治療前後のパノラレントゲンです。7は上顎洞を押し上げて近心移動しています。また顎関節の形態も矯正治療前後で変化していないことが確認できます (図21)。



図15 1を抜歯し、2を1として使用するセットアップ模型。



図16 1を挺出させ、その後抜歯を行い1部にインプラントを埋入するセットアップ模型。

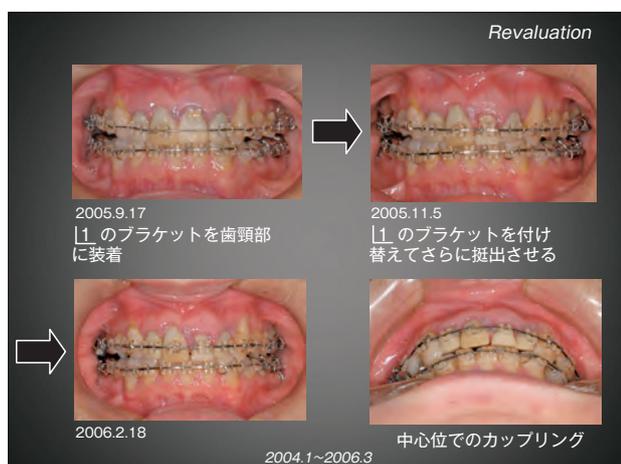


図17 1を挺出させる。CRポジションで上下前歯部のオーバーバイト、オーバージェットを正確に与えることが重要なポイントとなる。



図18 再評価の結果、1は保存可能と判断した。



図19 補綴医に、上顎前歯部は単冠処置で治療を行ってもらった。

最終補綴処置後5年を経過しても、1はしっかり機能しています(図22)。右顎関節が吸収しているため正中が一致していませんが、ICP = CRおよびアンテリアガイダンスが安定している状態で仕上げています。

そして、かわいらしい口唇の状態も維持されています(図23)。

このように、抜歯予定の歯が、歯の挺出によって保存できました。歯の挺出と歯周外科によって多くの歯の保存は可能なのではないかと考えています。海外の論文で、歯を挺出させて、その後抜歯即イン

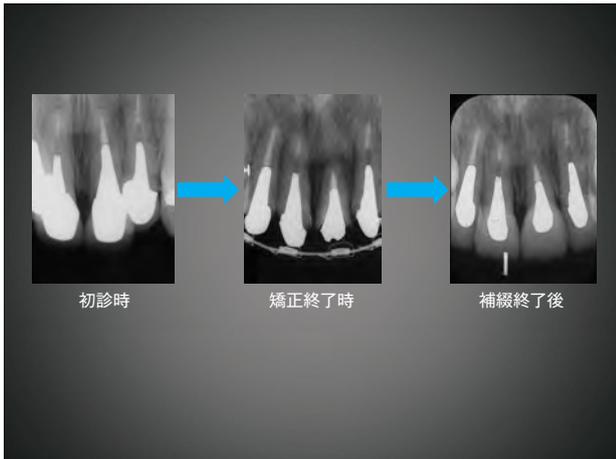


図20 1は、7 mm 程度挺出させた。

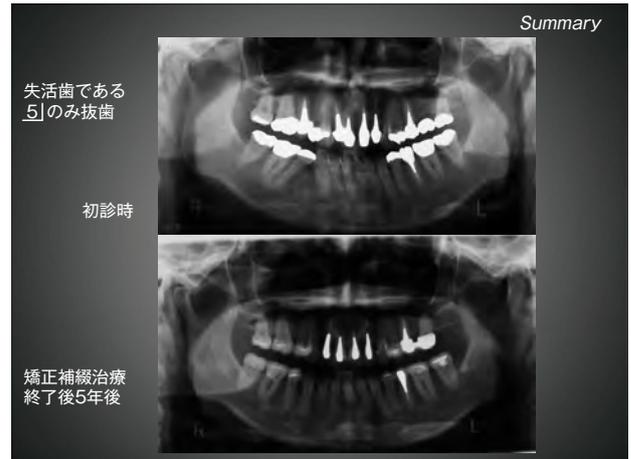


図21 5の歯体移動、7の近心移動が、しっかり行えた。



図22 最終補綴後5年、上下の正中は一致していないが、上顎正中を頭蓋に対して合わせている。



図23 最終補綴後5年、審美的な口元となっている。



図24 1歯根破折、およびポストコア脱離で来院してきた。

プラントを行う症例が多く見られますが、本当に抜歯が必要だったのでしょうか？

【症例2】

挺出させた症例をもう1症例（症例2）提示します（図24）。この症例は歯周病と歯根破折ということで1を挺出させています。歯頸部側にブラケットを装着し、約1ヵ月で挺出を終わらせ（図25）、その後、歯周外科を行いました。そうすると唇側の骨は無く、私が根充した根充剤が根尖部で確認できます（図26）。このような場合、抜歯と同時に骨造成およびインプラント埋入という考え方があります。しかし、この歯に関しては3壁の骨が存在し、



図25 1]を4 mm程度挺出させる。



図26 1]の唇側のフラップを開けると根尖部まで唇側骨が無い状態であった。  
抜歯?ソケットプリザベーション?インプラント?



図27 1]は動揺がないため、エムドゲインによる再生療法を試みて、唇側歯肉を根尖側に移動して、縫合した。



図28 1]の唇側は厚い角化歯肉で覆われている。

動揺がまったくありませんでした。

私は抜歯せず、エムドゲイン (Emdogain<sup>®</sup>) を塗布してコロコートを使用することで、エムドゲインが停滞するような処置を行い、閉鎖創に縫合し、角化歯肉を元に戻すという保存治療を選択しました (図27)。

1ヵ月後です (図28)。

仮形成し、TEK (Temporary Crown ; 仮歯) を入れて、この状態で噛めるかどうか確認をしました (図29)。

この症例は唇側に骨がないため、インプラント埋入手術はかなり困難ではないかと考えています。

その後、最終形成し、E-maxにて最終補綴処置を行いました (図30)。

約1年後の状態です (図31)。

約4 mm挺出させましたが、時間が経つにつれて歯根膜が改善し、動揺はありません (図32)。もちろん前歯だけでなく智歯の抜歯など、臼歯部の環境整備も大切だと考えています (図33)。インプラントのケースでしばしば認められる上顎前歯部唇側の骨吸収による骨のくぼみも、天然歯の場合は発生しません (図34)。

この症例は、一緒に勉強している先生からお借りした症例です (図35)。2]を抜歯してインプラント

前歯の唇側傾斜の状態を見ると  
インプラントはかなり難しい



仮形成 2006.2.4      TEK装着後 2週後  
外科後 5週後 2006.2.18

図29 1の動揺はなく、プラークコントロールのしやすい口腔内環境となっている。



外科後3か月 最終形成      E-max 装着後  
2006.4.1

図30 E-maxによる最終補綴を行った。

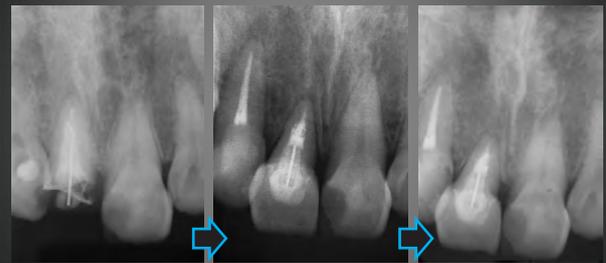
唇側の厚い角化歯肉により安定している



E-max 装着後約1年      2007.3.31

図31 最終補綴後約1年経過したが、咬合関係は安定している。

時間が経つにつれ、歯根膜腔が改善してきている  
現在、動揺はない



2005.10.2 初診時      2006.4.15 6ヵ月後      2007.5.12 1年7ヵ月後

図32 1は歯冠歯根比は悪いが、歯槽硬線は明確になってきている。

2005年10月2日  
初診時



2006年11月30日  
約1年後

白歯部の  
パーティカル  
ストップが重要

図33 8の抜歯などプラークコントロールのしやすい口腔内環境を整えることが重要と考えている。

初診時

補綴処置後1年



白歯部のパーティカルストップが確立して、前歯部の  
アンテリアガイダンスが存在する場合、上顎前歯部は、  
単冠で保存できる可能性が高い

図34 適切なアンテリアガイダンスにより、安定した咬合関係が維持されている。

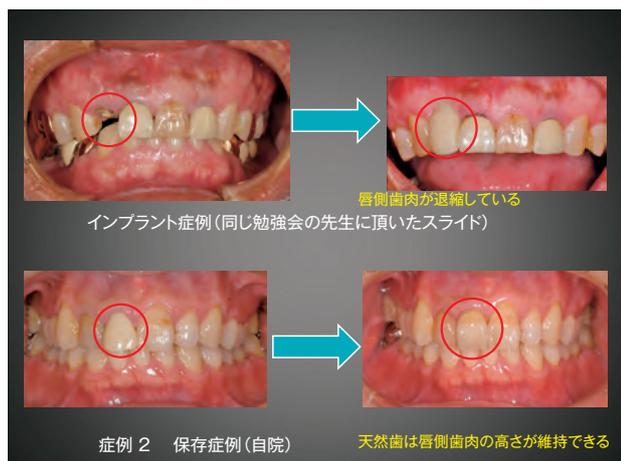


図35 上顎前歯部のインプラント埋入によって唇側歯肉の退縮を引き起こす症例がある。



図36 子どもの頭がぶつかり1が破折したとのこと。53|35間にスペースができています。その原因は、舌圧による変化と考えられる。



図37 矯正前の資料 (1995年3月)。アンテリアガイダンスがなく開咬合であった。



図38 5/4を抜歯し、矯正治療によりアンテリアガイダンスを与えることができた。

を埋入したそうですが、唇側の歯肉が退縮してしまいました。今回、私の症例は天然歯ですので、唇側の歯肉の退縮は発生していません。

【症例3】

3症例目は34歳の女性で、1の歯牙破折を訴えて来院されました(図36)。他の歯科医院で、その歯は抜歯しブリッジにするか、GBR (Guided Bone Regeneration; 骨再生誘導法) を併用したインプラント治療を行う必要があると説明を受けたそうです。ただ、6ヵ月後から海外勤務なので、その期間内に間に合う別の治療法はないかということで当院へ戻ってられました。この患者さんは、元々開咬

合で、16年前に私が矯正治療を行っていました。5は矯正治療前にすでに抜歯されており、5/4を追加抜歯して開咬合の治療を行いました(図37)。矯正治療後の状態です(図38)。

14年後です(図36)。53|、35部に少しスペースはできていますが、アンテリアガイダンス、バーティカルストップは存在している状態でした。この1は保存可能でしょうか(図39)。

まず根管をマイクロスコプで破折線がないかを確認し、根管治療を行い、その後すぐにファイバーコアを装着し(図40)、プロビジョナルレストレーション (Provisional Restoration) を装着後、



図39 歯肉縁下で歯牙が破折している。



図40 根管充填後、ファイバーコアを作製した。



図41 1]は約3 mm 挺出させるためブラケットを他の歯よりも3 mm 深い位置に装着している。



図42 1]の挺出はほぼ終了しており、歯肉ラインも上方に移動している。



図43 唇側歯肉は挺出前の状態に戻すというイメージで歯周外科を行うとよい。



図44 .017x.025 S.S.ワイヤーを用いてアイディアルアーチによる固定を行っている。

矯正治療終了時(矯正治療期間4ヵ月)  
ホワイトニング開始



2012.1.14

図45 歯周外科した歯肉が成熟するまで最終補綴処置は行わない。

矯正治療終了後1ヵ月  
ホワイトニング終了時



2012.2.24

図46 1]の咬合が安定しているかを確認することが重要である(最終補綴処置を急ぎ過ぎないことがポイントである)。

矯正治療終了後2ヵ月  
最終補綴処置



2012.3.16

図47 治療期間は6ヵ月であった。

最終補綴後4年9ヵ月



2016.12.26

図48 最終補綴後4年9ヵ月、歯冠・歯根比は悪いが、単冠で補綴処置を行っている。患者は不具合は訴えていない。

初診時



2011.9.14

最終補綴後  
3年5ヵ月



2012.3.16(最終補綴時)

2015.8.11

図49 歯槽硬線が明確になってきている。

1]の挺出を試みました(図41)。

ブラケットを装着して、6週で、ほぼ挺出を終了させました(図42)。挺出終了後、1]の根尖側移動術の手術を行いました(図43)。この手術のポイントですが、必ず唇側の歯肉は歯肉溝切開を行い、部分層弁で剥離し、根尖側で骨膜縫合するようにします。その際切開線が歯肉溝切開でなければ、歯肉が下がりすぎてしまいやすいです。

口蓋側は歯頸部より1~2mm下方に切開線を入れ全層弁剥離します。歯周外科後は、矯正ワイヤーで固定し、歯肉の成熟を待ちます(図44)。

歯周外科5週間後、矯正装置を除去し、ファイバーコアをフロアブルレジンにて形態修正をし、セカンドプロビジョナルレストレーションを作製しました。歯肉の成熟を待つ間に、患者さんの希望でホワイトニングを行っています(図45)。そしてその間、咬合関係が安定しているかの確認が重要です。

ホワイトニングが終了し(図46)、その後、1はジルコニアにより最終補綴を行いました(図47)。

治療期間は約6ヵ月でした。

その後は海外勤務でしたので、余り来院できなかったのですが、2016年12月(最終補綴後4年9ヵ月)に来院された際は全く問題ありませんでした(図48)。

レントゲンの比較です。挺出させているため、歯冠歯根比は悪いですが、適切なパーティカルストップと、前方運動での切歯路角の調整を適切に行えば、周りの歯がこの歯を保護して、このような歯でも単冠で保存可能だと考えています(図49)。

まとめです。歯の挺出によって、抜歯の割合は減らせるのではないかと考えています。そのためには、矯正医と一般医が同じ治療計画を立案することです。歯の挺出自体は、そんなに難しい治療ではありませんが、全顎的な咬合関係を双方の歯科医師が理解することは必要となります。

そして、挺出した歯は適切な咬合調整が必要とい

うことも双方の歯科医師が理解する必要があります。矯正治療中、治療後も咬合関係を確認しながら、削合したり、盛り足したりして、適切なアンテリアガイダンスを確認することはとても重要です。

私はプロビジョナルレストレーションも単冠で作製しています。そしてどうしても動揺が改善しない場合や痛みがある場合に初めて連結するようにしています。

また矯正・補綴終了後、その後のメンテナンス中でも咬合調整は必要になります。経年的に歯は動くと考えていたほうがよいと思います。

天然歯が、挺出後そのまま自然に脱臼して抜歯に至った症例もあります。その場合は、歯が挺出することで歯槽骨は改善していますので、フラップレスによるインプラント手術の適応になる可能性が高いです。また、すぐにインプラントを埋入しないため、インプラントを使用するまでの時間も稼げます。つまりより良いインプラントが将来出てくる可能性がありますので、時間軸を稼げるというメリットもあると思っています。今回提示した症例が、少しでも皆様の臨床の参考になれば有難いです。

(尚、2013年12月22日第2回顎顔面包括歯科(IDT)研究会『顎顔面包括歯科における矯正歯科の役割』セッションII〈先進矯正歯科治療の現状〉で発表した。)

# 難治性根尖性歯周疾患のストラテジー



福岡歯科大学口腔・歯学部門  
口腔治療学講座歯科保存学分野  
助 教 松本 典祥 (26期)

## 1. はじめに

抜髄や感染根管治療などは日常の臨床において高い頻度で対応することになる治療法の一つである。しかしながら、疼痛や腫脹などの臨床症状を伴うことが多く、また、複雑な根管腔が対象となるため視認に基づく治療が難しいことなどの理由から、初診時の診査・診断だけではなく治療時の症状変化や治療効果について逐次再考することが重要となる。

一方、通法の根管治療を行うも症状が改善せず、長期にわたる治療を行うも治癒が望めず対応に苦慮する症例が数多く存在している。このような場合、「難治性根尖性歯周炎」と診断されることが多く、福岡歯科大学医科歯科総合病院保存科でも地域の開業医の先生方より、そのような症例の精査と処置を依頼されることが珍しくない。難治性の原因としては根管の複雑な解剖学的形態から細菌学的なものまで種々考えられるが、そのなかには医原的なものによる症例も少なくない。ここでは様々な同病変とその対処法について紹介する。

## 2. 難治性根尖性歯周炎とは

現在、日常の臨床で行われている根管治療は感染源の除去ということをふまえ、根管の拡大・清掃の徹底、根管消毒などを施すことによって細菌、壊死した歯髄および感染した根管浸出液や根管象牙質などの病原性物質を機械的および化学的に除去(debridement)することを基本としている。さらに、無菌的な処置によって細菌数を減少させ、最終的に根管系を緊密に封鎖することにより再感染を防

止することを主眼として行われる。このため根管内の病原性物質と病変の状態が連動している場合には顕著な効果を表す。しかしながら日常の臨床においては、根管治療を繰り返すも症状が改善せず、治療期間が長期化する症例も少なからず存在しており、これを一般的に難治性歯周炎と呼ぶ。

## 3. 難治性根尖性歯周炎の要因

### 1) 解剖学的要因

根尖性歯周炎の病原因子として根管内細菌が関与していることは周知の事実であり、根管充填時に根管内細菌が残存した場合には予後不良となることが報告されている<sup>1,2)</sup>。この観点から難治性の根尖性歯周炎が持続しているということは様々な原因により根管内の感染を制御できていないということである。

debridement が困難となる要因としては彎曲根管やイスマスなどの根管の複雑な形態が挙げられる。また、根管側枝や髓床底にしばしばみられる髓管などの存在は通常のデンタルエックス線写真で診断することは非常に困難である。また、上顎大白歯口蓋根の上顎洞内への突出や上顎犬歯に好発するフェネストレーションなどもデンタルエックス線写真での診断が困難であり、不快症状の改善ができず、いたずらに根管治療が長期化される原因となることがある。このような症例では歯科用コーンビームCTによる診断が推奨される。また、歯根の破折や亀裂が原因で歯周組織に炎症を生じている場合も通常の根管治療では治癒を期待できないことが多い。

## 2) 細菌学的要因

一般の健常者では、生体内に侵入した細菌は生体の防御反応によって速やかに処理される。このため、かつては根尖孔部において細菌感染が持続する状態はあり得ないという考え方が主流であった。しかしながら近年では、根尖孔外での持続的な細菌感染はあり得ると考えられるようになり、これが難治性根尖性歯周炎の原因の一つとして研究されている<sup>3)</sup>。また、化学的清掃剤や根管消毒剤を使用しても症状が消失しない難治性根尖性歯周炎を惹起した根管から採取される微生物としては、*Candida albicans* などの真菌類や *Actinomyces israelii* などのグラム陽性嫌気性桿菌および *Pseudomonas aeruginosa* などのグラム陰性好気性桿菌等が知られている。更に、近年は根管消毒剤として、組織障害性や遺伝子毒性を示すホルマリン製剤に代わって水酸化カルシウム製剤が主流となった結果、難治性根尖性歯周炎の症例の根管から採取される微生物として *C. albicans* および *Enterococcus faecalis* (グラム陽性通性嫌気性菌) が高頻度に検出されるようになった<sup>4,5)</sup>。水酸化カルシウムは pH 12.4 を示し高い抗菌性を有するが、*C. albicans* や *F. faecalis* は高カルシウム環境下でも生存可能であり、水酸化カルシウム療法を行ってもこれらの微生物は死滅せず、根管内外でバイオフィルムを形成するため、debridement がさらに困難になると考えられる。

歯根嚢胞も難治性根尖性歯周炎の一つに挙げられる。その出現率は文献によって差があるものの、おおよそ15%程度と考えられている<sup>6)</sup>。嚢胞壁には扁平上皮が存在するため、通常の根管治療では治癒しないケースも珍しくない。特に根尖孔と嚢胞の交通がみられない、いわゆる true cyst では外科的歯内療法や抜歯が適応となる。

## 3) 医原的要因

一方で根管は複雑な形態をしているうえに視認による処置が困難であるため、術者のテクニカルエラーに起因する症例も少なからず存在している。ラバーダム防湿を行わずに根管治療を行ったり、テンポラリーストップピングのみでの仮封などは論外であ

るが、上顎大白歯の近心頬側根の2根管や、しばしばみられる2根管性の下顎小白歯、下顎第二大臼歯の槌状根など、術者の根管自体の見落としが難治性原因となることがある。

また、ラバーダム防湿下では歯軸の傾斜度を確認することが難しくなるため、アクセス窩洞形成時や根管口フレアー形成時には注意を要する。切削器具の不適切な使用によって、小白歯では近心もしくは遠心側に、大白歯では近心頬側根の根管口部直下の遠心側にパーフォレーションを惹起しやすい。

根管形成に際しては手用切削器具、特にステンレススチール製の器具を用いた場合、彎曲している根管に器具が追従できず、不正形態が形成されることがある。ジップ、レッジ、ステップ、パーフォレーションなどであり、このような形態が付与されてしまうと再び本来の根管を形成することは困難となり、感染源が残る原因となる。また、根管内の器具破折なども根管治療の難易度を挙げる要因となる。

さらに根尖孔の不用意な破壊は治癒に大きな影響を与えることがあるとの報告もある。古澤ら<sup>1)</sup>は難治性根尖性歯周炎と診断されて根尖切除術を行った症例の根尖孔を、走査型電子顕微鏡で観察した結果、数多くの根尖分枝が観察されるとともに、80%の症例で根尖孔が#35以上に開大されていたことから、#35以上に根尖が開大されてしまうと、難治性根尖性歯周炎に移行しやすいのではないかと推察している。

当科には地域歯科医院にて難治性根尖性歯周炎と診断された症例の再根管治療を依頼されることも多いが、そのなかにはこのような医原性によるものも少なからず存在する。再根管治療の場合は根尖部の解剖学的形態の破壊が予後に大きな影響を及ぼすことも多く、最初に根管治療を担当する歯科医師が確実かつ適切な処置を行うことが重要となる。

## 4) 非歯原的要因

難治性根尖性歯周炎の診断において重要となるのが、非歯原性歯痛との鑑別である。非歯原性歯痛には多くの原疾患があるが、基本的には、痛みを訴える歯および歯周組織に画像所見や客観的診査所見に

よって異常を認めない。臨床症状としては、歯髄炎や歯周炎の痛みと類似することも多く、打診痛が出現することもある。歯内治療の繰り返しによっても改善せず、もしくは処置のたびに増悪することが多く、根充ができないばかりか貼薬、仮封さえ困難な場合もある。このため、疼痛をコントロールしようとして濃厚な歯科治療が行われることが多い。

また、歯内治療や歯根尖切除術を行っても症状の改善が認められないために抜歯される場合も多く、抜歯後も疼痛が継続し、他の歯に痛みが移動することもある。歯原性歯痛との鑑別に有効な診察・検査法の第一歩は、詳細な問診や臨床的診察である。電気診による歯髄生活反応の有無、プロービングによる歯周ポケットの深さ、瘻孔よりガッタパーチャポイントを挿入することによる瘻管の走行のデンタルエックス線診査、さらにデンタルエックス線写真による根管充填の状態、ならびに根尖部、根側部、根分岐部の病変の有無などの臨床所見を基にして、歯原性歯痛と非歯原性歯痛の鑑別診断を行う必要がある。その際に、当該歯への麻酔によって歯痛が改善するか否かが、鑑別に際して大きな参考となる。

鎮痛薬 (NSAIDs)、外科処置、歯科的処置では改善が得られない。局所麻酔、神経ブロックに対する反応は不良であることが多い。三環系抗うつ薬が有効とされている。

#### 4. 難治性根尖性歯周炎への対応

根管治療を行うに際しては、難治性にかぎらず根尖性歯周炎は細菌による複合感染であることを念頭に置き、常に感染防御を心掛け、ラバーダム防湿等を必ず行い、基本的な歯内療法処置を十分な時間をかけて正確に行うことが重要である。また、先に述べた様々な要因を考慮しながら、その中でどの要因が難治性の原因であるのかを正しく診断することが重要となる。歯科用マイクロスコープや歯科用コーンビーム CT などの使用は根管治療の精度を飛躍的に向上させる。

歯科用マイクロスコープの使用が必須とされる症例には、根管の石灰化などによる根管口が不明瞭な症例や、上顎大白歯に見られる近心頬側根の第2根

管の探索など、根管の解剖学的要因に関する症例が多いが、それ以外にも歯の亀裂や破折、ファイルなどの小器具類の根管内破折残留、髓床底や根管側壁穿孔などの偶発症に起因する症例なども挙げられる。また、複雑な根管の走行や形態、根尖部に形成された病変との位置的な関係などデンタルエックス線写真で診断不可能な症例は歯科用コーンビーム CT を撮影して診断することが必要となる。

彎曲根管への拡大形成として、ステンレススチール製ファイルを使用する際にはクラウンダウン法やプレカーブテクニック、ステップバック法などを用いる。また、ニッケルチタン製ファイルは根管追従性が高く、彎曲根管の形成に有効である。根管側枝や髓管などの機械的清掃が行えぬ部位では、有機質溶解剤である次亜塩素酸ナトリウムと無機質溶解剤である EDTA の併用による化学的清掃を行うことで処置する。その際、超音波振動装置を用いた根管洗浄 (passive ultrasonic irrigation) など、機械を用いた洗浄が有効である。

レッジなどの修正はデンタルエックス線にて根管の彎曲に合わせてプレカーブを付けたステンレス製ファイルにて、正しい根管へのガイドパスを通しながら根管拡大を行う。根尖孔の開大した症例やパーフォレーションなどの医原性根尖性歯周炎の症例には水酸化カルシウム製剤を用いたアペキシフィケーションを試みる。また、mineral trioxide aggregate (MTA) を用いた穿孔部の封鎖も有効である。

根尖孔周辺に存在する根管側枝や破折ファイル、歯根嚢胞や歯根肉芽腫にみられる根尖孔外でのバイオフィルムの形成などが原因で、感染根管処置だけで症状の改善が得られない場合は根尖切除術や意図的再植法などの外科的歯内療法処置をとることになる。また、フェネストレーションなどが原因で生じている不快症状の改善にも適応となる。

#### 5. 症例

症例 1：破折ファイルの残存と根尖部フェネストレーションを認める下顎左側中切歯

患者：56歳 女性

主訴：下の前歯が痛い

既往歴：特記事項無し

現病歴：近医にて歯科治療を受け、治療終了を告げられたが、その2週間ほど後から下顎前歯部で違和感および咬合痛を覚えるようになった。2日ほど前から自発痛と歯肉の腫脹を覚えるようになったため、来院した。

初診時のデンタルエックス線写真を図に示す（図1-a）。 $\overline{1}$ は根尖部に透過像を認め、根管内に破折ファイルの残留を認める。下顎前歯部に自発痛を認め、口腔内診査にて $\overline{1}$ 根尖部圧痛と打診痛を認めた。歯肉に発赤、腫脹を認めたが、波動は触れなかった。患歯は急性化膿性根尖性歯周炎と診断し、感染根管治療を開始した。

通法通りに根管充填材を除去したところ、根管より排膿を認めた。根管洗浄と抗菌剤投薬にて急性症状が落ち着いたのち、顕微鏡下にて破折ファイルの位置を確認し（図1-b）、超音波振動装置を用いて破折片を除去した（図1-c）。その後、



図1-a 初診時デンタルエックス線。 $\overline{1}$ 根尖部透過像を認める。また、根管内に破折ファイルを認める。



図1-b 根管内の破折ファイルを確認。



図1-c 破折ファイル除去後。



図1-d 根管充填。

通法に従って感染根管処置を行い、症状の改善を認めたため、根管充填を行った（図1-d）。

しかしながら根管充填後5ヵ月に再び $\overline{1}$ 根尖部に違和感と瘻孔形成を認めたため、歯科用コンビームCTを撮影した（図1-e）。CTにて $\overline{1}$ は根尖部に境界明瞭な透過像を認め、頰側の歯槽骨骨壁の破壊を認めた。このため、根尖切除術を行った（図1-f）。その後、経過を観察した。術後1年のデンタルエックス線写真を示す（図1-g）。根尖部透過像は消失しており、歯根膜の連続も回復している。女性に自覚症状も認められず、予後は良好であると判断した。

根尖部における歯周組織の状態や根尖病巣の位置、正確な大きさなどはデンタルエックス線だけでは診断が困難である。これらの診査には歯科用コンビームCTによる検査が大いに役立った。

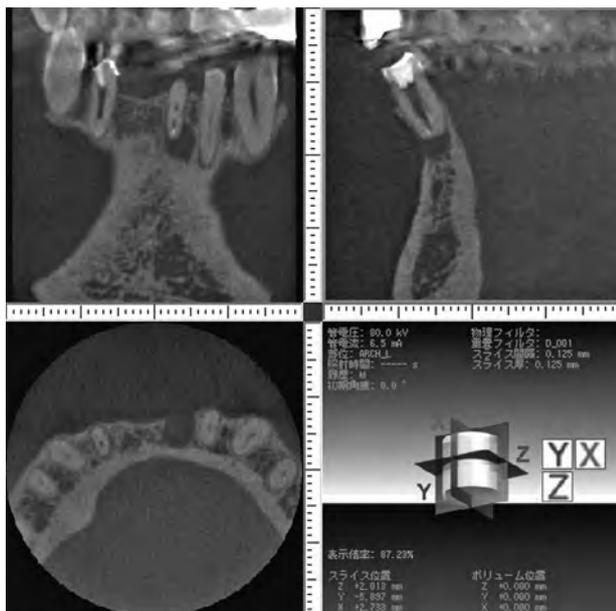


図1-e 歯科用コーンビームCT。「1」根尖部に境界明瞭な透過像を認め、頬側の歯槽骨骨壁の破壊を認める。



図1-f 根尖切除術後1週間。



図1-g 根尖切除術後1年経過。

症例2：根尖孔の破壊された上顎右側犬歯

主訴：現在通院中の他医院で右上の犬歯を抜歯すると言われたが、抜きたくない。

患者：26歳 男性

既往歴：特記事項無し

現病歴：2週間ほど前から3]に自発痛を覚えるようになった。1週間ほど前に3]の前装冠がメタルコアごと脱離したため、近医を受診した。投薬および根管洗浄の処置を受け、現在、急性症状は落ち着いているものの、担当医より保存は困難であり、抜歯が望ましいと言われたため、保存を強く希望されて当医院を受診した。

初診時のデンタルエックス線写真を示す(図2-a)。3]根尖部に透過像を認め、根尖孔の破壊を認めた。口腔内所見においては3]は他医院にて治療中でありキャビトンにて仮封されている。自発痛無し。打診痛および根尖部圧痛を認める。周囲のポケットは3 mm以下で、歯肉の腫脹、発赤などは認められない。顕微鏡下にて観察したが、歯牙に破折線は認められない。根尖部歯周組織の精査のため、歯科用コーンビームCTを撮影した(図2-b)。3]は根尖部にて頬側にフェネストレーションを認め、頬側の根管壁には著しい破壊が認められた。しかし、口蓋側および近遠心の根管壁は比較的良好であり、破壊像はあまり認められなかった。著明な根尖部の破壊とフェネストレーションを認める難治性根尖性歯周炎と診断し、感染根管処置



図2-a 初診時デンタルエックス線。3]根尖部の破壊と透過像を認める。

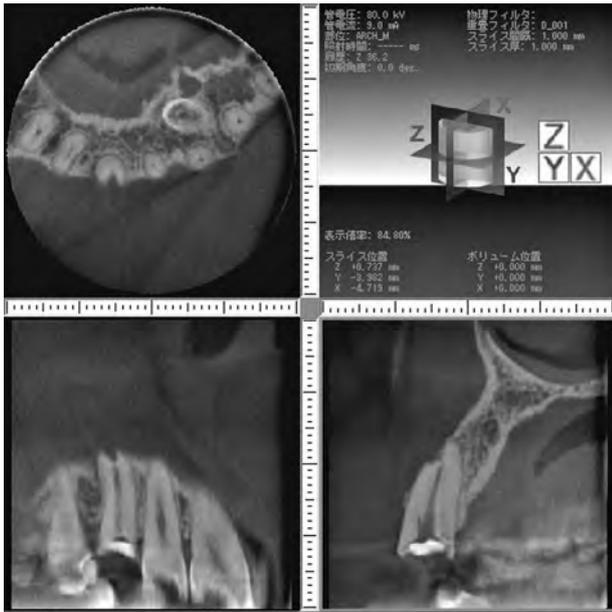


図2-b 歯科用コーンビームCT。3根尖部フェネストレーションを認める。また頬側部根管壁に著しい破壊を認める。



図2-c 根管充填

後にアペキシフィケーションを施した。

根尖孔は破壊されており（#50の手用ステンレス製ファイルが貫通）、電氣的根管長測定が行えなかったため、作業長はデンタルエックス線と歯科用コーンビームCTにて決定した。根尖破壊部より1 mmほど上にアピカルシートを作製することにして通法に従って感染根管処置を行った。その後、水酸化カルシウム製剤（ビタペックス）を貼葉し、半年ほど経過を観察した。術後3ヵ月で打診痛が消失



図2-d 根管充填後5年経過。

し、術後8ヵ月に根尖部圧痛が消失したため、根管充填を行った（図2-c）。現在術後5年が経過している。自覚症状はなく、デンタルエックス線でも異常は認められない（図2-d）。破壊された根尖孔をアペキシフィケーションにて治療した症例である。

症例3：強い温熱痛を訴えた上顎右側第二小白歯患者：63歳 男性

主訴：右上の奥歯がうずく。特に熱いものがしみる。

既往歴：特記事項無し

現病歴：3ヵ月ほど前に、右上の奥歯が痛むため、近医を受診した。5急性化膿性歯髄炎と診断を受け、麻酔抜髄処置後根管充填処置を受けたが症状が改善されないため、当医院へ紹介となった。

初診時のデンタルエックス線写真を示す（図3-a）。5は根管充填されているが、根管充填材が一部根尖に溢出している。口腔内所見では65共に打診痛および根尖部圧痛を認めた。周囲ポケットは3 mm前後で歯肉に発赤、腫脹は認められなかった。5過剰根管充填による難治性根尖性歯周炎と診断し、感染根管処置を開始した。また、6はその後の精査にて根尖部に歯根嚢胞を認めたため、口腔外科にて抜歯および歯根嚢胞摘出術を行った。

5は過剰根管充填を認めたため、ガッタパーチャポイント除去溶剤（GPソルベント）は用いず、超音波振動装置で根充材を根管壁より浮かせ、



図3-a 初診時デンタルエックス線。6]根尖部透過像を認める。5]根充材の根尖溢出を認める。



図3-c MTAにて根尖部閉鎖。



図3-b ガッターチャポイント試適し根管長測定を行った。



図3-d 根管充填。

手用ステンレス製ファイルにて慎重に除去した。根尖孔が破壊（#45の手用ステンレス製ファイルが貫通）されていたため、電気的根管長測定は困難であり、作業長はデンタルエックス線と歯科用コーンビームCTにて測定した（図3-b）。通法に従い根管形成を行った後、水酸化カルシウム製剤（ビタペックス）を貼薬してアペキシフィケーションを試みた。しかしながら、1年ほど経過を観察したが、温水痛を主とした症状の改善は認められなかった。そのため、MTAによるアペキシフィケーションを施した（図3-c）。術後1ヵ月で、軽度の打診痛や違和感などはまだ認められたが、初診時と比較して改善傾向がみられたため、根管充填を行った（図



図3-e 根管充填後1年経過。

3-d）。その後、経過を観察した。根充後1年のデンタルエックス線写真を示す（図3-e）。現在、自覚症状は認められない。現在、日本の保険診療では

MTA は直接覆髄材としてのみ認可されているが、穿孔や根尖孔の開大などの閉鎖に効果があることが報告されている<sup>7)</sup>。今回も根尖孔の開大部の閉鎖に MTA が大いに役立った。

## 6. おわりに

日常の臨床において、根管治療を行うも症状の改善が認められず、対応に苦慮する難治性根尖性歯周炎にしばしば遭遇する。主な原因は根管内に残留した病原因子であり、治療法の原則は原因を取り除くことであるが、症例によって感染源の種類と存在部位、根管および歯周組織などの宿主 (host) の状態は千差万別である。また、非歯原性疼痛の中には歯髄炎や根尖性歯周炎に酷似した症状を示すものもあり、これらの鑑別も重要になってくる。そのため、難治性根尖性歯周炎を治療するにあたって最も重要なことは、その原因を正しく追及することであり、術前の診査・診断はもとより、必要に応じた術中の再度の診査も重要になってくると考えられる。特に歯科用コーンビーム CT は病巣の位置や性状の確認、根管の走行や歯槽骨の状態の把握などに有用であり、歯内治療における処置の決定に重要な役割を果たすものと考えられる。

また、宿主側の様々な要因に加えて、根管治療を行う術者の技術的な未熟さが原因となっている難治性根尖性歯周炎も少なくない。これらの症例に対しては、ラバーダム防湿を必ず行って、基本的な歯内療法処置に時間をかけて正確に行う姿勢が肝要となってくる。すなわち、感染根管処置から根管充填まで一気呵成に終わらせてしまうのではなく、一つの処置を行った後に、その処置の成否を確認するという丁寧な作業が必要となる。また、近年登場したニッケルチタンファイルやマイクロスコープ、超音波振動装置や専用チップ、MTA などの利用も非常に有効となる。

歯内療法処置では、通常、複雑な根尖部を直接目視することができないため、自分では正確に処置を行ったつもりでも解剖学的や細菌学的な落とし穴がいくつも存在する。患歯の保存のため、正確な検査・診断の重要性と基本的な歯内療法の手技を忍耐強く、丁寧に行うことを念頭において取り組むことが肝要と考える。

## 謝辞

執筆にあたりまして、ご懇切なるご教示を賜りました福岡歯科大学口腔・歯学部門口腔治療学講座歯科保存学分野教授、阿南 壽先生に深甚なる感謝の意を表します。

## 参考文献

- 1) 古澤成浩, 河野多聞, 小室麻美ほか: 歯根端切除後の摘出根端部の走査電子顕微鏡的観察, 日歯保存誌, 43(4), 852-857, 2000.
- 2) Gorni FG, Gagliani MM: The outcome of endodontic retreatment: a 2-yr follow up. J Endod, 30(1), 1-4, 2004.
- 3) Furusawa M et al: Current trends in use of intracanal medicaments in dental care facilities: questionnaire-based survey on training dental hygienists at educational institutions. Bull Tokyo Dent Coll, 54(1), 45-50, 2013.
- 4) Waltimo TM, Sen BH, Meurman JH et al: Yeasts in apical periodontitis, Crit Rev Oral Biol Med, 14, 128-137, 2003.
- 5) Stuart CH, Schwartz SA, Beeson TJ et al: Enterococcus faecalis, its role in root canal treatment failure and current concepts in retreatment, J Endod, 32, 93-98, 2006.
- 6) Sabeti M, Valles Y, Nowzari H et al: Types and incidence of human periapical lesions obtained with extracted teeth, Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod, 81, 93-102, 1996.
- 7) Machado R, Agnoletto M, Engelke Back ED: Surgical resolution of an aggressive iatrogenic root perforation in a maxillary central incisor: a case report with a 4-year follow-up. General dentistry, 65(1), 1-4, 2017.

同窓会学術振興事業

## オーフスでの留学を経て



福岡歯科大学  
全身管理・医歯学部門  
口腔顎顔面外科学講座  
口腔腫瘍学分野

助教 勝俣 由里 (30期)

私は2015年11月12日から2016年11月11日までの1年間、デンマークのオーフス大学の分子生物学 Lene Pedersen 先生の研究室へ留学させていただきました。今回、この留学で学んだこと、経験したことを報告させていただきます。

デンマークと言えば、最近名古屋にオープンしたレゴランドの「LEGO」や童話作家のアンデルセンが有名です。また、国民幸福度が高い国としても有名です。首都はコペンハーゲンであり、国の面積は九州とほぼ同じで人口は約570万人（兵庫県とほぼ同じ）です。

私が留学に行かせていただいたオーフス大学は第2の首都と言われるオーフスにあります。オーフス大学は国内で2番目に歴史が古い大学で、規模としては国内で1番大きくノーベル賞受賞者も多く輩出しています。

デンマークでは、デンマーク語が第1言語です



オーフスの街並み



Molecular Biology

が、ほぼ全員が第2言語として英語を習得しています。デンマーク語は、ドイツ語よりも難しいと言われている言語で発音がとても難しいです。

私は大学院に入学後、再生医学研究センターでサケ白子より抽出したDNAを用いた骨形成促進効果の作用機序についての研究を行いました。DNAが分解されて放出されたリン酸、リン酸輸送体が骨形成促進に関与していることが明らかとなりました。リン酸輸送体に関してはまだ不明な点が多いため、リン酸輸送体に関して研究を行っている他の大学での研修を希望し、デンマークにあるオーフス大学・分子生物学の Lene Pedersen 先生の研究室へ行かせていただくこととなりました。

私はその研究室で2つのプロジェクトに参加しました。1つ目はマウスの骨芽細胞を用いて培養細胞密度ごとのリン酸輸送体 (Pit 1、Pit 2) の発現の変化の検討、細胞回収時のバッファーを使い分けて Pit 1、Pit 2 の局在性の検討を行いました。2つ目は家族性特発性大脳基底核石灰化症 (FIBGC) の原因として Pit 2 の遺伝子変異が報告されており、ノックアウトマウスを用いて脳の部位別に Pit 1、Pit 2 の発現、活性についての検討を行いました。1つ目のプロジェクトに関しては、今後も実験を継続し、共同研究を行っていく予定です。

歯科大でも行っていたウエスタンブロットティングという実験を行いましたが、デンマークの研究室では、ウエスタンブロットティングを行う環境が整って



Associate Professor : Lene Pedersen (写真 : 左)



LP Lab

Ph. D. 2人、Ph. D. Student 4人 (全員デンマーク人)

いなかったので試薬や材料の手配から始まり、使う機械や材料、試薬の違いに戸惑い、試行錯誤しながら勉強し、実験しました。福岡歯科大学では試薬や材料、機械なども準備されており、実験方法は大学院の先輩に指導していただいていたので、こんなに

恵まれた環境で実験・研究が出来ていたのだと気づきました。

Lene Pedersen 先生はとても気さくで優しい女性で、いつも私のことを気にかけてくださいました。研究室のメンバーは全員デンマーク人で Ph. D. は女性2人、Ph. D. Student は男性3人、女性1人という構成でした。始めは不安が大きかったですが研究室のメンバーがとても親切で、辛いときも元気づけてくださいました。歯学部以外の先生とのディスカッションや交流は初めての経験であり、とても有意義でした。

国民幸福度が高いというだけあって、デンマーク人は家族との交流やプライベートな時間を大切にしているという印象を受けました。夕方以降は研究室にいる人が極端に少ないです。基本的な労働時間は週37時間と法律で決まっており、朝8時までに来て夕方4時に帰宅というスタイルをとっている方が多かったです。家族や友人とのゆったりとした時間を過ごすことをデンマーク語で「Hygge (ヒュッゲ)」と言いますが、デンマーク独特の表現でデンマーク人はこういった時間を大切にしているそうです。

また、同じくオーフス大学に留学している口腔外科の先生と現地の英会話スクールで知り合うことができ、その先生の紹介でオーフス大学の日本語学科の学生さんとの交流会 (Japansk cafe) に参加するようになりました。日本語学科は人気だそうで、デンマーク人なのに私以上に日本の歴史や文化について



オーフス大学歯学部留学していた歯科医師の皆さん



オーフス大学日本語学科の学生との交流

て勉強熱心でいろんなことを知っていて驚きました。毎週金曜日にあるフライデーバーという飲み会やお花見、バーベキュー、ハロウィーンなど様々なイベントを通して、楽しい時間を過ごすことが出来ました。日本語と英語を交えながら話すので、自然と英語の練習にもなりましたし、彼らと日本について話すことで、改めて日本の良さを知れるきっかけにもなりました。

オーフスに住んでいた1年間は振り返るとあっという間でした。今まで福岡以外の場所に住んだことのなかった私が、英語も十分に話せない状況で誰も知らない土地に行き、現地で知り合えた皆さんに支えられながら勉強・研究し、有意義な時間を過ごせたことは一生の宝物となりました。今後はこの経験を生かして常に感謝の気持ちを忘れずに研究、臨床ともに精進してまいります。

最後になりましたが、留学する機会を与えてくださいました福岡学園理事長・水田祥代先生、福岡歯科大学学長・石川博之先生、口腔・顎顔面外科学講

座・池邊哲郎教授、平木昭光教授、再生医学研究センター前教授・福島忠男先生、大野純教授、歯科医療工学講座・川口稔講師、細胞分子生物学講座・岡部幸司教授、鍛冶屋浩講師、さらに再生医学研究センターの先生方、口腔・顎顔面外科学講座の先生方、同窓会の先生方にこの場を借りて心より感謝を申し上げます。



SUSHI は大人気!?

## フィンランド留学について



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
有床義歯学分野

佐々木浩乃 (35期)

平成26年4月1日から平成27年3月31日の一年間、フィンランド、トゥルク大学の Turku Clinical Biomaterials Centre (TCBC) へ留学させていただきました。異国での研究生活について、この場を借りてご報告させていただきます。

フィンランドは北欧四か国のうちの一つであり、日本とは一番近い距離にあるヨーロッパです。トゥルクはフィンランド第三の都市で、首都ヘルシンキより車で西へ2時間ほど走ったところにあります。フィンランドと言えば皆様ご存知の通りキシリトールが有名ですが、これが歯に良いと発見したのがこのトゥルク大学です。古くから研究が盛んな大学であり、数々の著名な研究者が輩出されています。私が1年間お世話になった Biomaterials Science の教授である Pekka Vallittu 先生もその一人であり、今ではフィンランド国内のみならず、世界でご活躍されている方です。そして TCBC のマネージャーで



サマースクールのメンバーと

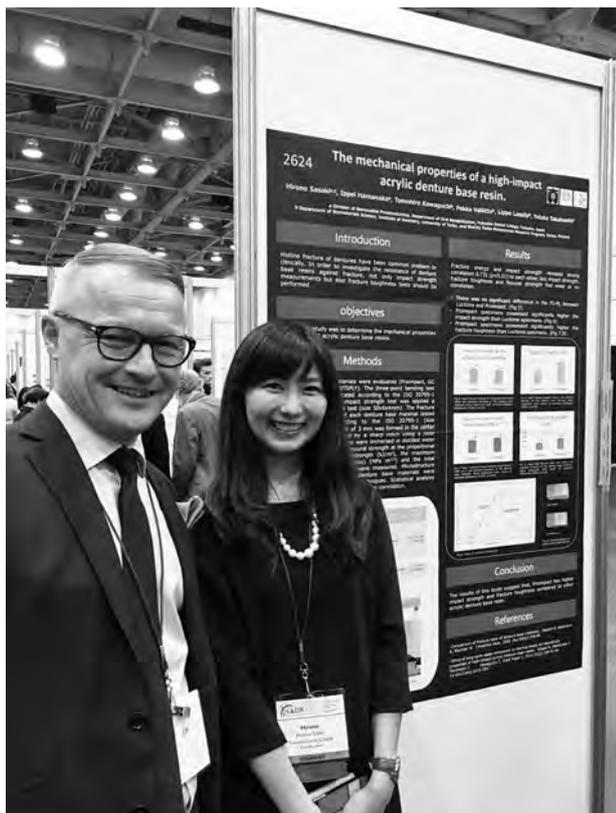


冬のサウナ

ある Lippo Lassila 先生のお二人のもとで一年間学んできました。

この TCBC には過去に講座の先輩が二人留学しており、トゥルクや研究室の雰囲気など前情報は豊富にありましたが、それでも着いて早々たくさんのトラブルに見舞われました。まずはできるだけ早く生活環境を整えてから研究に集中しようと考えていましたが、お二人のところに初めて挨拶に行ったとき、「9月にヨーロッパ補綴学会があるのでそこで発表しなさい。抄録の提出締め切りが5月末だから、研究頑張っってね！」と笑顔で言われ、これからの生活を想像して絶望しました。

TCBC では私の研究テーマである義歯床用材料について様々な研究をしました。当時 TCBC には留学生含め13人の研究者がいましたが、チーム全体で研究を進めていくのではなく、個人がそれぞれの研究をしていました。ラボスペースの掃除が徹底されており、みんなマニュアル通り綺麗に使うのでいつもきれいな研究室でした。見たこともない機械が



IADRにて、Pekka 教授と

多く、しかし都度 Lippo 先生が使い方を教えてくださったのでいろんな種類の実験を行うことができました。一年を通して義歯床用材料の機械的性質（主に、fracture toughness, hardness, nano-indentation など）について、色々な材料で調べました。TCBC のメンバーともたくさんの意見交換が毎日行われ、驚くほどたくさんの知識、考え方を吸収することができました。

8月の夏休み期間に Biomaterials のサマースクールというものが行われました。トゥルクから2時間ほど離れた島に、世界各国の研究室から参加者を募り、2泊3日の勉強合宿をするというものです。日本からも何人かいらっしやっていました。総勢30~40名程でしたが、昼間はみっちり講義を受けた後、夜はサウナに入ったりと、なかなかフィンランドらしい夏を共に過ごせたと思います。同年代の研究者の先生もたくさんいて、いい刺激になりました。

フィンランドにいた一年の間に、9月にドイツで

行われた EPA (European Prosthodontic Association) と、3月にサンフランシスコで行われた IADR (International Association for Dental Research) の二つで発表しました。IADRではサマースクールで出会ったたくさんの先生方と再会することができました。お互いの発表を聞きあったり、質問をしたりされたり、大変有意義なものとなりました。特にこういった世界的に大きな学会に行くことと似たような研究をしている方にもたくさん出会えますし、研究活動が続けると、こういった繋がりがどんどん増えていくんだなということをととても実感しました。

フィンランドは緯度が高いため年間を通して寒く、夏は白夜、冬は極夜という環境です。サウナが有名で、研究が終わった後や休日にたくさん連れて行ってもらいました。夏に全然日が沈まない中、時間の感覚も忘れサウナつきのコテージでのんびり過ごす夜はととても最高でした。冬は九州から出たことのない私には想像もつかないくらい寒かったですが、北極圏の方でオーロラを見ることができました。フィンランド人は一見寡黙ですが心優しい人ばかりで、なんとなく日本人に似た性質を持っているような気がしました。

全く環境の違う異国で一年間生活し、辛いこともたくさんありましたが温かい人たちに囲まれ、励まされ、乗り越え、こうして無事帰ってこれたことはとても幸せなことです。

最後になりましたが、留学に際し助けていただいたたくさんの方々に深く御礼申し上げます。この経験を活かし精進してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

同窓会学術振興事業

## Academy of Osseointegration Annual Meeting 2017



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
口腔インプラント学分野  
大学院 安松香奈江(34期)

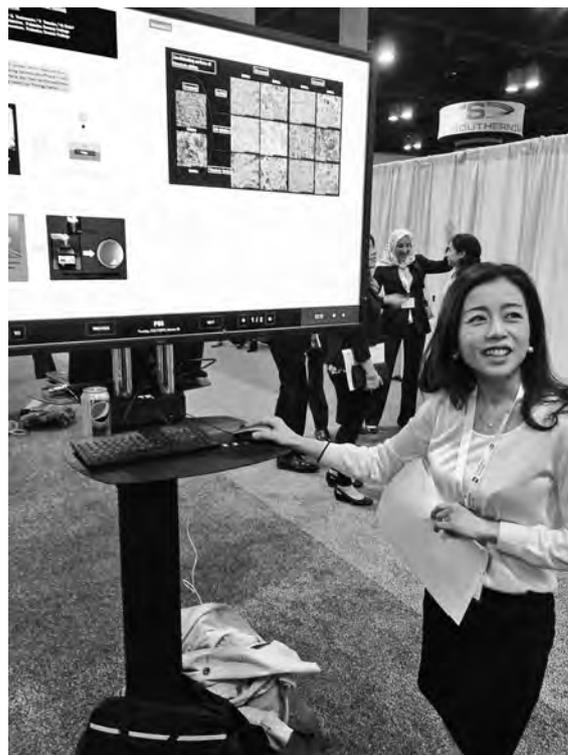
私は、平成24年3月に福岡歯科大学を卒業し、現在は咬合修復学講座口腔インプラント学分野に在籍しております。研修医過程を経て、専攻生として2年間インプラント科で臨床を学び、その後大学院へと進学しました。現在は機能生物化学講座感染生物学分野にて研究を行っております。

今回、平成29年3月15日から19日までの5日間、アメリカ合衆国フロリダ州オーランドで開催されたAcademy of Osseointegration Annual Meeting 2017に同窓会学術振興事業制度の援助をいただき、ポスター発表を行って参りました。貴重な経験となりましたので、ご報告させていただきます。

オーランドは全米屈指の観光・保養都市として知られ、市近郊にはウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート、ユニバーサル・オーランド・リゾート、シーワールドなど幾つものテーマパーク・遊園地を有しています。年間を通して温暖な気候に恵ま



会食にて



ポスター発表会場にて

れており、手つかずの自然も多く残り、自然保護区が多数指定されています。デイトナビーチなど近郊の海岸にはビーチリゾートが発展しており、世界中から多くの観光客が訪れることで有名です。

今回参加させていただいたAO (Academy of Osseointegration) は、1982年に北アメリカにおいて、「Osseointegration in Clinical Dentistry」コースに参加したドクターが「骨結合」の研究と情報を共有するためスタディグループを発足させ、これを継続的に行う必要があると、組織を設立しました。「患者様のケアや研究、教育を高水準にすることに専念する」という方針に賛同した約70カ国以上の会員から成り、約5,000名の会員を擁する世界最大級のインプラント学会です。各国から著名な臨床家が参加しており、学会期間中は活発なセミナーやセッションが数多く行われていました。

今回は、「An in vitro study of implant decontamination methods using periodontopathic bacteria.」という演題でポスター発表を行いました。インプラント治療は予知性の高い欠損補綴の手段として確立



ポスター発表質疑応答中

され、長期的に高い成功率が報告されています。一方で、比較的高いインプラント周囲炎の罹患率が報告されており、近年、世界中で大きな問題となっています。そこで、今回の研究では、培養した歯周病原細菌を付着させた Ti および ZrO<sub>2</sub> プレートを作製し、そのプレート表面に対して、実際の臨床で使用頻度の高い、エアアブレーション、Er-YAG レーザー照射、チタンブラシによる刷掃を行い、除染効果と除染時間について検討を行いました。ポスター発表では E-Poster といって、あらかじめ PDF にしたデータをモニターに映し出すという完全ペーパーフリーな環境で行います。与えられた時間内に発表し、ジャッジから質疑を受けます。研究内容については、基礎研究におけるより専門性の高い質問を受けました。質の高さに圧倒され、的確な返答が出来なかったことが非常に悔やまれました。インプラント周囲炎に関してはポスターやシンポジウム、講演でも多く取り上げられており、世界のトップレベルの研究者や歯科医師がどのような治療や研究を

行っているか学ぶことが出来、大変勉強になりました。また、臨床系のセッションが多い中、Oral Scientific Research Presentations という基礎研究がテーマのセッションも非常に興味深かったです。光機能化で有名な UCLA の小川先生のラボが行っている研究や、各国の同世代の先生方が素晴らしい発表を行っていて、大変刺激を受けました。最先端の情報を得ることが出来、今後の自身の研究に役立てていきたいと思います。

最後に、発表の機会を与えてくださった城戸寛史教授、日頃から親身にご指導していただいている機能生物化学講座感染生物学分野の田中芳彦教授をはじめとする、長環准教授と講師の先生方、この研究立ち上げ当初からサポートしてくださった大多和昌人先生、医局の先生方に心より感謝申し上げます。また、同窓会学術振興事業制度の援助によりこのような貴重な経験が出来ましたことを厚く御礼申し上げます。



学会後ケネディ宇宙センターにて

### 国際歯科研究学会での発表



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
冠橋義歯学分野  
大学院 宮園 祥爾 (37期)

私は平成27年3月に福岡歯科大学を卒業し現在は冠橋義歯学分野に大学院として在籍させて頂いております。今回、平成29年度3月22日～3月25日までの4日間、アメリカ合衆国のサンフランシスコで開催された国際歯科研究学会（IADR）に参加し、ポスター発表に挑戦いたしました。初めて伝統的な国際歯科研究学会に参加することができ、私にとっても貴重な経験となりましたので、その経験と感想をご報告させていただきます。

サンフランシスコ市郡はアメリカ合衆国西海岸にあるカリフォルニア州の北部に位置する都市であり、アメリカ西海岸を代表する世界都市の1つです。昼間はカラッと晴れ、とても過ごしやすい地域でした。サンフランシスコは丘が多いことで有名で急な坂をケーブルカーが走っている景色が不思議な光景であり、夜になると丘の上から中心部市部の展



会場への入り口

望が魅力的でした。

学会会場は中心地であるユニオン・スクエアで開催されました。今回、私はポスター発表で「Using a digital evaluation software for students' tooth preparation skill」という演題で発表させて頂きました。

ハードウェアの CEREC Sirona とソフトウェアの Prepcheck を併用した光学印象は、臨床上では被覆冠などの適切な削除量・アンダーカットを確認にも活躍し機能面に優れたものです。

このシステムを応用し、教育の現場にも活かさないのかと考え、現在の歯学部学生実習における問題点である識別能力の違いにより評価者間の点数が異なる点と、識別能力の一定水準に達している人員不足の2つを改善する目的で調査を行いました。今回当大学にて歯学部学生が模型上で形成した支台歯を従来通り教官が主観的に評価を行った場合と、デジタル技術を応用して客観的に評価を行った場合での比較・検討し、結果を発表いたしました。



サンフランシスコ街並みの風景



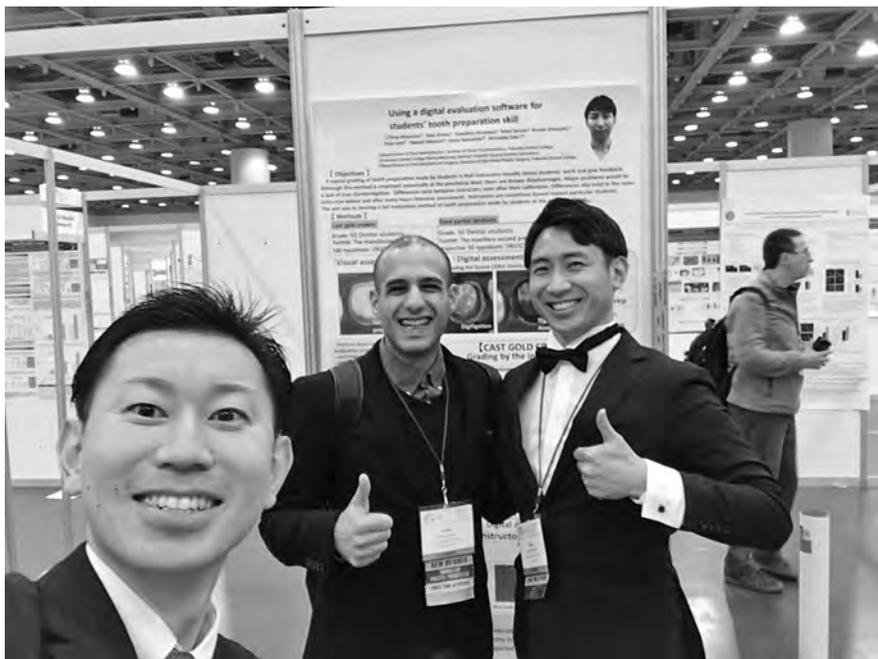
ポスター会場内

発表に対する質疑応答は予想以上に多く、撮影の許可も求められ注目を集めました。ポスター会場には、世界各国からの発表者が集い、活発に討論していました。この学会では様々な研究分野の発表が1つの会場で行われているので、展示ポスターがあまりに多く、すべてを見る時間がありませんでした。

けれど、世界各国の研究を見ることができ、その中でも莫大なデータ量や研究の目的に対する考え方が興味深いなど刺激を受けました。立派な歯科医師を目指すために日々臨床に対する技術・診断と研究に対する知識と資料作成の技術を磨いております。まだ現段階の自分の研究は満足していません。これからデータだけで満足するだけでなく結果に向き合いながら研究を進めていきたいと思えます。

最後になりましたが、この臨床ポスター発表を行うにあたり何度も添削して下さいました教授、ポスター作成中すべてにおいて助言頂きました准教授をはじめとする医局の先生方、渡米に際し御援助頂きました宮口巖同窓会会長をはじめとする福岡歯科大学同窓会に心から御礼申し上げます。

今回のこの貴重な経験は、周囲の方々の支えと御援助があってこそのものだと深く感謝し、今後の臨床・研究の場面において、より一層励んでいきたいと思えます。



自分のポスター前にて

宮崎県

会長就任にあたって



宮崎県同窓会  
会長 黒木 康夫 (6期)

この度、宮崎県福岡歯科大学同窓会会長を拝命いたしました。

九州内の他県と比較すると小規模の同窓会ですが、それでも医療機関数65件、同窓会会員74名の組織となり、宮崎県内では九州歯科大学同窓会に次ぐ規模の同窓会であります。

1期卒の先輩方から引き継いできた伝統を守り、次の世代の後輩たちに団結力のある、頼りがいのある同窓会をバトンリレーしていきたいと思っております。

現在、宮崎県歯科医師会専務理事を務めています。が、会務を遂行するにあたって、宮崎県内各郡市歯科医師会では、日向市東白杵郡歯科医師会が1期田村俊二先生、小林えびの歯科医師会が3期水流裕二郎先生、日南歯科医師会が4期河野恭明先生、都城歯科医師会が5期永井省二先生が各郡市会長の要職を務められ、これ以上心強い応援団はいないと感謝しております。

同窓会員の御子息が、福岡歯科大学を卒業し国家試験を乗り越え、宮崎県内で歯科医師として診療されています。

30歳も若い歯科医師ですが、彼らの未来のためにも信頼される同窓会を目標に運営していこうと考えています。

- 会 長・黒木 康夫 (6期)
- 副 会 長・陶山 隆 (6期)
- 副 会 長・崎山 長司 (7期)
- 専務理事・小田 瑞恵 (12期)
- 会計理事・西園 和浩 (19期)
- 学術理事・菰渕 洋 (30期)
- 学術理事・恒吉 隆奥 (27期)
- 厚生理事・江藤ゆかり (12期)
- 厚生理事・金田 由美 (24期)
- 地区理事・伊藤 雅樹 (19期)
- 地区理事・長谷川泰子 (16期)
- 地区理事・三股美美子 (29期)
- 地区理事・川越 慈 (31期)
- 監 事・水流裕二郎 (3期)
- 監 事・山田 俊介 (4期)

(敬称略)

宮崎県福岡歯科大学同窓会夏季学会の報告

平成29年8月に行われました夏季学会は、本部役員として岩本副会長に同席いただき、宮崎県福岡歯科大学同窓会、林升先生(1期)が部長を務められる県立宮崎病院歯科口腔外科(宮崎歯科口腔外科学研究会)、宮崎大学医学部顎顔面口腔外科(山下善弘教授)の3団体共催の学術講演会が実現いたしました。福岡歯科大学同窓会からは、城戸寛史教授にご講演をいただき、福岡歯科大学の存在感を十分にアピール出来たと思っております。

講演1

座長 県立宮崎病院歯科口腔外科部長  
林 升先生  
演題 「インプラント治療におけるデジタル技術導入によるリスク回避」  
福岡歯科大学口腔インプラント学分野教授  
城戸 寛史先生

講演2

座長 宮崎大学医学部顎顔面口腔外科学分野教授  
山下 善弘先生  
演題 「トラブルを起こさないためのインプラント骨造成の基本手技」  
東北大学歯学部  
顎顔面・口腔外科学分野教授  
高橋 哲先生

林升部長、城戸寛史教授、山下善弘教授によるディスカッションにて学会を締めくくりました。



夏季合同学会



新執行部

## 広島県

## 同窓会会長就任のご挨拶



広島県同窓会  
会長 村上 誠一（7期）

平成29年6月に開催されました平成29年度定期総会におきまして広島県同窓会会長を拝命いたしました7期の村上誠一と申します。

3期6年という長きにわたり会長を務め多くの実績を積み重ねられた今井正人前会長の後任ということで私にこの大役ができるのか不安と緊張でいっぱいですが、とりあえず任期の2年間精一杯務めさせていただきます所存です。

昭和60年に福岡歯科大学を卒業し、すぐに広島に帰って大学病院、関連病院に勤務後、開業しましたが、そのうちの多くを同窓会役員として過ごしてきました。学生時代も県人会で世話役をしていましたので卒業当初は先輩も後輩もほとんど顔見知りで、兄弟のように盛り上げられる年2回の広島県同窓会を楽しみにしておりました。30数年時が経ち、同窓会も様変わりしました。白髪や頭皮が目につくようになり、上から下まで年齢差40歳以上、女性も増えました。夫婦会員、親子会員、隣に並ぶとおじいちゃんと孫のような場合もあります。同窓会を退会したいと言ってくる人まで出てきました。私は同窓会の主な仕事は懇親、学術、慶弔だと思っていますが、同窓会に参加するメリットはと聞かれても、同窓会に参加できて先輩後輩に会えることと気軽に質問できることくらいしか思いつきません。しかしながら、本当に同窓会が必要になってくるのは歯科医師をリタイヤして一人になった時だと思います。いつでもそこに帰ると歓迎してくれる故郷ふるさとのような同窓会を目指します。

同窓会会長に就任後、日々次の事業のことばかり



考えていますが、時々寂しさがやってきます。それは会長職を受けるということは同窓会執行部をリタイヤする日が近いということになります。支えてくれる皆様にメールしたり電話する毎日があと数年で終わり、会合にも呼ばれなくなるのはすぐそこまで来ています。まあ、しかたないですね。

今年、広島県は大変盛り上がりました。広島東洋カープがセ・リーグを連覇しました。残念ながら下位チームにまさかの下剋上を許し福岡には行けませんでした。来年も連覇し、また、私の第2の故郷のソフトバンクホークスにも連覇していただき、福岡歯科大学広島県同窓会にとって絶好の日本シリーズが実現することを期待しています。

最後になりましたが広島県同窓会をこれまで支えてくださった多くの皆様に感謝いたします。また、浅学菲才の身ではございますが、今井前会長の功績を無にしないよう、また本会が益々発展できるよう努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



広島県同窓会新執行部

岡山県

会長就任ご挨拶



岡山県同窓会  
会長 石川 拓志 (6期)

平成29年7月より、福岡歯科大学岡山県同窓会に就任しました6期の石川拓志です。岡山県同窓会は現在、連絡が取れる会員は36名ですが、まだ把握できていない同窓生もいるとのことでした。

執行部では1人でも多くの先生に参加していただき、同窓会を盛り上げていけたらと思っています。主な行事としては、総会、九州歯科大学同窓会との1泊2日のサマーセミナー、新年会等を予定しています。

私の卒業当時は同窓会というものがなく、発足に向けて諸先輩の先生方が頑張っておられる時でした。同窓会が発足してからは行事には当然の様に参加させていただき、診療の相談、遊びのこととかいろいろと勉強になり、楽しかったと記憶しております。最近、特に思うのですが、私どもが住んでいる地域で、人と人の繋がりが希薄になってきていると感じます。30年前の開業当時は、町内にまとめ役の様な方がいらっしゃり、野球やバレーの試合、河川敷での飲み会など度々計画されていました。お祭

りの後は、必ず酔いつぶれるまで飲ませていただき、そういう付き合いをしていたおかげで、何でも話せる濃い近所付き合いができています。最近はそういう催しが減り、近所の方にも知らない方が増えてきた様で、とても残念に思います。岡山県同窓会も例外ではなく、名前と顔が一致しない先生も多くいらっしゃいます。その辺も他の同窓会の先生方のアドバイス等参考に努力していこうと思います。その1つとして九州歯科大学同窓会との交流、サマーセミナーです。少しのセミナー後、メインの宴会、麻雀、カラオケ、翌日はゴルフ、テニス等のイベントがあります。会長に就任して特に思います。このセミナーで以前から知り合うことができた九州歯科大学同窓会の先生がとても頼りになっています。他大学の同窓会会長を紹介していただいたり、2次会に誘っていただいたり、やはり人と人との繋がり、その時はそれ程何も思っていなくても後にそれが大きな繋がりになり、自分の助けになる事を。前会長の平先生から「自分流で楽しくできたらいいネ」と言っていただきました。まだまだそんな風になるには至りませんが、そうなれる様に最初の一步を踏み出していきたいと思っています。

最後に私事ではありますが、娘が本学に昨年入学致しました。今回、会長をお受けしたことや、野球部のOB会などで福岡に行く回数も増え、楽しみが増えました。福岡、大好きです。

これからも、人と人の繋がりを大切にして福岡歯科大学同窓会の為に、微力ながら頑張っていきたいと思っています。御指導御鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 京都府

## 京都・滋賀地区同窓会合併について



京都府同窓会  
会長 葉山 義則（6期）

皆さん、お元気でしょうか？ 福岡歯科大学京都府同窓会6期生の葉山です。

光陰矢の如しと申しまして、私が福岡歯科大学に入学したのが、1978年で今からちょうど40年前ということになります。つまり、あと数年経つと大学創立50周年ということです。

当時は、新設大学ということもあり、学生の数も多く、学年によっては、200名近くも在籍していました。したがって、学生の出身地も九州地区からだけでなく、西日本地区、遠くは関東、東北地方からの学生もいました。その中でも特に関西出身者が多く、「関西会」として大学内でも一目おかれる存在でした。今から思えば、学生時代の6年間は関西弁

で過ごすことができたのも領けます。

しかしながら、現在の大学の状況を見ると、定員は100名前後で、国家試験合格率も低レベルという中で、関西から福岡歯科大学へ入学するのは、様々な面においてハードルが高い様に思われます。現に、京都府において、ここ20年の間で、福岡歯科大学の卒業生で、京都府歯科医師会に入会したのは、1名だけです。

このような状況の中で、京都府同窓会としては、日頃から何かと交流があり、隣接する県である滋賀県との合併を考えております。

そのことで、まず組織力としての同窓会会員の増加が見込まれます。そして、会則の施行により、会費の徴収、学術活動等、同窓会としての活動の幅が広がると考えます。しかし、あくまでも福岡歯科大学同窓会近畿ブロックの下部組織であることは、ご理解いただきたいと思っております。

最後になりましたが、福岡歯科大学同窓会ならびに都道府県の同窓会には、何かとご迷惑をおかけすることになりますが、何卒、ご理解の上、ご指導賜りますように、お願い申し上げます。

## 広報からのご案内

広報委員会では次回30年度同窓会誌『背振37号』に向けて企画中です。

つきましては、下記の通り募集しています。自薦他薦は問いませんので、是非ご一報下さい。

**1. 学位取得者** 今まで取得された先生で、会誌に掲載されていない方、本学以外で取得された方等。

お知らせ頂きたい内容は下記の通りです。

①学位論文題目 ②取得年月日 ③学位専攻（所属・取得校）④学位番号（甲・乙別）⑤顔写真1枚

**2. 巻頭フォト募集** 表紙の写真を募集しています。風景・植物・動物・抽象的な物、感動した物など何でも結構です。尚、その写真のコメントも一言お書き添え下さい。

**3. 原稿募集** トーク、支部報告、OB会、個人の趣味・近況・旅行等、学会報告、結婚報告、開業報告等、何でも結構です。また、その原稿に因んだスナップ写真等も同封して頂ければ幸いです。

どしどしご応募下さい。（最後尾の原稿用紙をご利用下さい。）

※お送り頂いた写真はお返し致します。

連絡先 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学同窓会事務局まで

TEL/092-863-2966 FAX/092-863-2967 E-mail : dousoukai@cillege.fdcnet.ac.jp

熊本県

熊本県同窓会「大阿蘇会」会長就任挨拶



熊本県同窓会  
会長 伊藤 明彦 (5期)

まず、昨年発生しました熊本地震の際、同窓の先生方に人的支援・義援金などたくさんのご厚情をいただきましたことに対しまして、この場をお借りし改めまして御礼申し上げます。地震発生から1年半程経ち、被害を受けた熊本県の会員も平静を取り戻しつつありますことをご報告申し上げます。

さて平成29年7月29日(土)、熊本県同窓会定時総会が開催され、会長を拝命しました5期生の伊藤明彦です。会員の先生方に承認していただき身の引き締まる思いでいっぱいです。初代会長西本信也先生をはじめとする帰熊された先輩方が、福岡歯科大学の同窓生で研修及び懇親を行っていく「大阿蘇会」を立ち上げられました。これにより卒業生が帰熊した際、勤務場所・開業・卒後研修などいろいろな相談に乗っていただける体制をしっかりと作り上げられることとなりましたが、設立にあたっては大変なご苦勞があったことと思います。第二代会長の吉田公典先生は、熊本県歯科医師会の要職を歴任されながら会員数の増強を考えられ、地域世話人を作り総会・懇親会へ会員が参加しやすくなるようにいろいろな改革をされました。第三代会長の川寄俊明先生は、若手の入会を促進すること、若手会員の役員としての育成、学生との交流をより深めること、他大学との交流などにより更なる組織力強化を図られました。この三代の会長のご尽力の結果、熊本県において、「大阿蘇会」は一目置かれる組織となり、受け継いだ「大阿蘇会」を発展させていくため、今後さらに女性歯科医師および新卒の卒業生の動向の把握を行い、会員の輪を広げ充実していくことが必要

だと考えております。

そのため今回女性会員担当常務理事、若手会員担当常務理事の役を新たに置き、フレッシュな先生方にも役員として執行部に多数入っていただきました。卒業生の縦横の繋がりを今後ますます強化し、何かあるときには一致団結して行動し、わが母校福岡歯科大学へも貢献ができるように熊本県支部一丸となって活動してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

〈新役員〉

役職	氏名	期	役職	氏名	期
会長	伊藤 明彦	5	理事	國廣眞佐子	5
副会長	渡辺 猛士	5	〃	山本 資晴	7
〃	武藤 健史	6	〃	席谷 真	8
〃	梶原 武彦	11	〃	渡辺 洋	9
〃	椿 誠	16	〃	井手 裕二	10
専務理事	宇治 寿隆	7	〃	深浦 武志	12
庶務常務理事	椿 賢	18	〃	清藤 寿晃	17
学術常務理事	井上 裕邦	15	〃	出口 諭	18
広報常務理事	太田 文隆	16	〃	山本 朋子	21
厚生常務理事	豊田 正仰	26	〃	五島 嘉人	23
会計常務理事	林 昭宏	12	〃	近藤 俊輔	26
女性会員担当常務理事	古屋敷有子	15	〃	河端 憲彦	27
若手会員担当常務理事	志方 圭介	28	〃	平島 将臣	28
監事	井尾 治雄	5	〃	名和 佳宣	29
〃	河合 隆一	5	〃	狭間謙一郎	34
			〃	中原亜由美	37
			顧問	川寄 俊明	1
			〃	中嶋 隆志	1
			〃	安田 光則	1
			〃	宮坂 圭太	1
			〃	大森 秀則	2
			〃	吉永 修	4

第70回九州歯科医学大会（大分県）

福岡県地区会・九州地区会  
合同会議および懇親会福岡歯科大学同窓会  
懇親会実行委員会

委員長 山田 道男（6期）

平成29年10月14日(土)に、大分市の iichiko 総合文化センター『音の泉ホール』に於いて第70回九州歯科医学大会が開催されました。

「豊かな口から健康長寿～誰もが受けられる歯科医療を目指して～」を大会のメインテーマに掲げ、堀憲郎日本歯科医師会会長による「超高齢社会における歯科医療」という演題の基調講演、続いてパラリンピック3大会連続出場中の大分県在住の陸上アスリート中西麻耶さんによる「あきらめないところ東京パラリンピックへ」という演題の特別講演がありました。両講演の前のアトラクションでは、1979年に大分県津久見市が青少年健全育成を目的として結成した『津久見 檜の実少年少女合唱団』による素晴らしい合唱に感動されておられた方も多かったようです。

午後5時よりレンブラントホテル大分の「久住の間」に於いて「福岡歯科大学同窓会福岡県地区会・九州地区会合同会議」が開催されました。本部より



ご来賓の方々



演武を披露する大野ひかるさん

宮口会長・岩本副会長・武井副会長・高嶺副会長・持山専務理事・吉永理事、学内からは高橋教授・尾崎教授・玉置教授そして九州各地区会の会長をはじめ役員の方々の出席をいただき、同窓会や大学の現状についてお話がありました。会議は、「学生や卒業直後の卒業生そして女性会員へのアプローチについて」・「会員が喜ぶ事業や企画について」協議がなされ、最近頻発している地震・豪雨・台風などによる被害状況の確認と被災会員への援助や寄付など、どうあるべきかなどが話し合われました。

会場を「二豊の間」に移し、午後6時定刻、場内が暗転すると、空手の歴史そして世界で活躍する大分県在住の女性空手家の大野ひかるさんの紹介VTRが流れた直後、ご本人が登場し空手の型の演武を披露しました。小さな体から繰り出される技と小気味のよい音に場内静まり返り、皆さん息をのんで見入っていました。演舞終了後、懇親会の司会を務めていただいたFM大分のパーソナリティ DJ、NAVEさんによる東京オリンピック出場へ向けての意気込みなどを訊ねるインタビューが行われました。

その後、水田福岡学園理事長、石川福岡歯科大学学長、宮口長崎県歯科医師会会長、神田福岡市歯科医師会会長、九地連会長の熊澤福岡県歯科医師会会長に来賓挨拶をいただき、池邊福岡歯科大学医科歯科総合病院院長の乾杯のご発声により宴は始まりました。

続いて、ミスターシュガーさんによる中国四川伝

## 九地連・九州地区会議

統芸能の変面ショーが行われ場内を驚きと感動の渦に巻き込んでいました。

ホストとして超多忙な長尾博通大分県歯科医師会会長が各大学の同窓会を回る分刻みのスケジュールの中、懇親会会場に駆けつけ、挨拶をしてくださいました。

終盤には、原田大分県同窓会会員の渾身の作、「ラグビーワールドカップ2019 PR ビデオ」が放映され、大分県での開催試合に是非とも観戦に来ていただくようPRがありました。

続いて次期開催県の浦佐賀県同窓会会長が出席いただいた18名の佐賀県同窓会会員と壇上に上がり「来年の佐賀大会でまた会いましょう」と挨拶があり、高橋教授の万歳三唱によりお開きとなりました。

た。

今回は県外から98名もの出席をいただき盛大な会となり、大分名物の「リュウキュウ丼」・「だんご汁」・「とり天」などに舌鼓を打ちながら、あちらこちらで旧交を温めておられる光景が繰り広げられており、改めて同窓会会員の絆が深まったように思えます。まだまだ大分の夜を楽しもうという飲み助達は2次会へと繰り出して行かれたようです。

最後になりましたが、私どもの不手際により、いろいろとご迷惑をおかけしましたこと衷心よりお詫び申し上げます。

今回は遠いところ本当にありがとうございました、大分県同窓会会員一同、心より感謝しております。来年は佐賀の地にて、またお会いしましょう。



水田理事長を囲んで

## スキー部（同好会）OB 会報告



スキー部 OB 会  
会長 粉 浩一（3期）

平成29年5月13日(土)、中洲の博多石焼大阪屋にて福岡歯科大学スキー部（同好会）のOB会を顧問でありました機能生物化学講座感染生物学分野前教授の上西秀則先生をお迎えして行いました。

福岡歯科大学スキー部（同好会）は1期生の木村進、柴田誠一、田中秀章、故多賀一仁、故辻順一、山田文隆先生が顧問に、そして当時、細菌学教室の助手をされていた上西秀則先生になっていただき発足しました。

大学が出来た時、すべてのクラブが同好会からスタートし部へと昇格しましたが、スキー同好会はオールデンタルに出場していませんでしたので同好会のままで24期生が入部した頃に残念ですが閉部しました。しかし、OB数は50名ほどおり、OB会は2～3年おきに行い、20名ほどは出席して現在まで続いております。

今は福岡から広島方面へのスキーバスもありスキーをする人も多くいますが、私が入学した昭和50年頃は福岡でスキーをする人はほとんどいなく、大学にスキー部（同好会）があるのに驚きました。スキーは今しないと一生する事がないと思い入部しました。最初の頃の部員は関西出身者が多く、岐阜や山口、広島等スキーを少しはした事がある人が多くいましたが、次第に九州出身で私みたいにスキーをした事がない部員も増えていきました。

部活はランニングや筋トレ等の陸上トレーニングを行って、合宿は年2回冬休みと、春休みに行っていました。冬の合宿は年末年始、兵庫県と鳥取県の県境にあるハチ北高原スキー場で行っていました。ハチ北高原には朝早い新幹線で博多を出て姫路駅で関西の部員と合流し、午後1時頃にはスキー場に到着する立地の良さはありましたが、この季節は十分な雪がなかったのが難点でした。春の合宿は3月に長野県のスキー場で行っていました。ベストシーズンは2月ですが、試験の関係で3月になっておりました。3月になりますと雪の量も減ってますし、雪質もベタ雪で良くなり苦勞して練習しておりました。

オールデンタルのスキー競技は一般の大学の大会と同じようなコースで回転、大回転、滑降等があり、どの程度のレベルかは分かりませんが、冬5日間、春7日間程度の練習で参加出来る大会ではありませんでした。しかし福岡歯科大学が最初にオールデンタルを主幹した時は、私は卒業していましたが、後輩たちがしっかり大会を運営し競技にも出場したと聞いて感謝しております。

スキー部（同好会）は今大学にありませんが、先輩、後輩の絆は強く、今もOB会活動は活発に行っております。

最後にスキー部の基礎を作ってくれました1期生の多賀一仁先生が昨年お亡くなりになり残念です。今年のOB会で献杯を行いました。

ご冥福をお祈り申し上げます。



## 宮口 巖先生長崎県歯科医師会 神田晋爾先生福岡市歯科医師会 会長就任祝賀会



福岡歯科大学同窓会  
副会長 野口 芳彰 (13期)

平成29年7月2日(日)、西鉄グランドホテルに於いて、宮口 巖先生、神田晋爾先生の会長就任祝賀会が行われました。周知のとおり宮口先生は福岡歯科大学同窓会の会長、また、神田先生も同窓会副会長を務められている中で、夫々の歯科医師会会長就任と言う我々同窓生にとっても大変喜ばしい祝賀会となりました。

祝賀会は勝俣副会長の開会の辞で始まり、高嶺副会長による発起人代表挨拶ののち、多くの来賓の中から学校法人福岡学園理事長の水田祥代先生、大阪府歯科医師会会長の太田謙司先生、衆議院議員で環境大臣政務官の比嘉なつみ先生、佐賀県歯科医師会会長の寺尾隆治先生、大分県歯科医師会会長の長尾博通先生の5名に温かいご祝辞を頂きました。つづいて宮口、神田両先生に綺麗な花束が贈呈され、両先生より夫々のお人柄が垣間見える謝辞が述べられ



ました。つづいて元日本歯科医師会専務理事の村上恵一先生のご乾杯のご発声にて盛大な開宴となりました。

宮口先生、神田先生は各テーブルを廻りご参加頂いた皆様とご挨拶を交わしたり、談笑をしたり楽しい時間を過ごされた様に見受けられました。

楽しい時間は過ぎるのが早いもので参加者全員による福岡歯科大学校歌を斉唱し、千原副会長による万歳三唱ののち、山村副会長の閉会の辞により終宴となりました。

福岡歯科大学も40周年を過ぎ、4,000人超の卒業生が各地でご活躍される中、九州地区では3県の同窓会会長が誕生し、またその他にも主要な部署でたくさんの同窓生が活躍されている事を実感し、母校の発展が頼もしく思える一日でした。



## 玉置幸雄先生教授就任祝賀会



福岡歯科大学  
歯科矯正学教室同門会会長  
医) あらかわ歯科・矯正歯科クリニック

荒川 周幸 (14期)

平成29年9月16日(土)、西鉄グランドホテルにおいて、福岡歯科大学口腔歯学部門成長発達歯学講座矯正歯科学分野教授に就任された玉置幸雄先生の教授就任祝賀会が行われました。今回、この慶事に際し、福岡歯科大学歯科矯正学教室同門会および福岡歯科大学同窓会の有志が発起人となり、福岡歯科大学、日本矯正歯科学会、九州矯正歯科学会、福岡大学医学部形成外科、日本歯科矯正器材協会など、日頃よりお世話になっている皆様にご案内申し上げ祝賀会を執り行う運びとなりました。

玉置幸雄先生は平成3年に福岡歯科大学に入学され、卒業後は成長発達歯学講座矯正歯科学分野に入学、同大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程に進学されました。平成14年に同課程を修了、翌年には福岡歯科大学成長発達歯学講座矯正歯科学分野助手、平成18年に講師を経て、この度、教授に就任されました。また、日本矯正歯科学会認定医委員会審査委員、九州矯正歯科学会評議員・編集委員・IT委員会副委員長、第11回大会事務局長を務められるなど矯正歯科学会でも数多くの仕事をされています。

祝賀会当日は台風が九州地方へ接近するあいにくの天気でしたが、予定通り午後5時10分より写真撮影が行われました。撮影終了後、会場には140名を超える皆様のご列席をいただき、和やかな雰囲気の中で、祝賀会が開宴致しました。

まず、ご来賓を代表して、学校法人福岡学園理事長の水田祥代先生、福岡歯科大学学長の石川博之先生よりご祝辞を賜りました。つづいて、日本私立歯

科大学協会会長、岩手医科大学副学長・歯学部部長の三浦廣行先生、日本矯正歯科学会理事長、日本大学歯学部歯科矯正学講座教授の清水典佳先生よりご祝辞を賜りました。

次に、福岡歯科大学矯正歯科学分野の医局員より、玉置幸雄先生ご夫妻に花束の贈呈が行われました。花束贈呈の後、玉置先生よりご挨拶が行われ、悪天候の中ご列席いただいた皆様へのお礼、大学院から指導を受けて17年間、厳しくも温かいご指導を賜った最大の恩師である石川博之学長への謝辞が述べられました。また、水田祥代理事長よりいただいたATM（明るく・楽しく・前向きに）というお言葉を念頭に教育・研究・臨床をバランス良く行い、大学の発展のため努力していきたいと、今後の仕事への意気込みを重ねて述べられました。

次に福岡歯科大学同窓会副会長の高嶺明彦先生のご発声で乾杯が行われ、和やかな歓談の中、玉置先生は積極的に各テーブルを回られ、写真撮影など皆様と楽しく過ごされておりました。

最後に矯正歯科学分野准教授の梶井貴史先生による閉宴のことばを経て、盛会裏に祝賀会を終えることができました。

この度の祝賀会に際し、多大なるご協力をいただきました福岡歯科大学同窓会ならびに福岡歯科大学矯正歯科学分野の先生方に感謝申し上げます。

### 授 就 任 祝 賀



に、ご列席いただきました多数のご来賓ならびに所縁の皆様へ発起人を代表し心よりお礼申し上げます。



福岡歯科大学長長發達歯学講座矯正歯科学分野 玉置幸雄教授就任祝賀会 平成29年9月16日 於 西鉄グランドホテル

## 「感謝」お世話になりました

石川 博文 (7期)

今春、長女が本学を卒業し、また、無事に国家試験にも合格できました。この場をお借りしこれまでお世話になった先生方、また、大学関係者の方々にお礼申し上げたいと思います。ありがとう御座いました。

ところで私は、7期生で昭和60年に卒業し、早や30年以上年月を経ました。卒業後、勤務医を経験、その後僻地の歯科医師（高千穂町岩戸）、そして、郷里である大阪に帰らず熊本で開業しました。開業してもう26年になります。しかし相変わらず日々の診療に追われて忙しい毎日をご過ごしています。いつまでこの生活が続くのかと…。

しかしここ数年前から、農業に目覚め畑仕事を始めました。特に有機肥料と無農薬にこだわり、今ではトラクターを2台所有し頑張っています。仕事とは別に趣味を持つことは大切だと感じる日々であります。

皆様方におかれましては、これからも健康に留意し頑張ってください。

石川 翔子 (39期)

今春、先生方や友人、家族に支えられ福岡歯科大学を卒業し、無事に歯科医師となることが出来ました。

学生時代には、部活動の主将、学園祭実行委員そして文化部長を務めさせて頂き、カナダのプリティッシュコロンビア大学への研修にも参加させて頂きました。とても貴重で勉強になる経験をさせて頂きました。

私は現在、東京歯科大学にて臨床研修医をしております。知らない地での研修ですので、大学時代のこ

とを思い出し、大学時代での経験を基に日々勉強し、とても充実した日々を送っております。

最後に、今までお世話になった先生方や先輩、後輩、同期の皆様へ感謝の気持ちを忘れず、立派な歯科医師になるため日々精進して参ります。



## 「少しほっと、感謝」

中村 重雄 (4期)

皆様「こんにちは」4期生の中村です。今年、6月に還暦を迎えました。まだまだ仕事を頑張っています。

息子が入学し、まず驚いたのは、田んぼがなくなり大学周辺が街となっています。息子が在学中の4年間、学生後援会役員として大学へ会議など出席の機会も多くありました。学内には、15万冊所蔵の図書館、22時まで学生が自由に自習し講義録画を見れるラーニング・コモンズ、患者型ロボットで緊急時対応実習やCBT試験や模試が行われる情報処理実習室など勉学に励む環境が整っており、その環境で学んだ息子が歯科医師としてスタートを切りました。多くの先生方、先輩に御指導を頂き臨床経験を積み、患者さんの気持ちに立って診療出来る人間に成長する喜びを感じ、ビールや焼酎を酌み交わし、仕事の話などを楽しむ毎日です。

これからも患者さんが「ありがとうございます」と言ってくれる歯科医師として、健康に気をくばりながら、皆様、元気に楽しくお仕事、頑張りましょう。

中村 淳平 (39期)

皆様こんにちは。39期卒の中村です。早いもので、なんとか国家試験に合格し歯科研修医となってから半年が経とうとしています。

現在は、院外研修として、東区の白本歯科医院にて院長である白本先生のもと、スタッフの皆様にも支えられ日々研修させていただいております。実際の診療を行うにあたって、どのように行えばよいのか、特に気をつける点などにはじまり、患者さんへの心配りや、様々な工夫など、数多くのことを学ばせていただいております。

夜、自宅へ帰れば歯科医師でもある父がいますので、父にもよく話を聞き、相談にのってもらっています。

いずれは父の歯科医院を継ぐため、無事に存続させていけるだけの技術やノウハウを身につけ、実家へ帰りたいと考えてはいますが、その前に、父には1ヶ月でも1日でも長く働いていただき、その間に自分はたくさんのお話を吸収していくべく、先輩方の御指導を仰ぎ、日々努力を重ねていきたい所存です。



# 福岡学園はいま

福岡歯科大学同窓生の皆様如何お過ごしでしょうか。日頃より福岡学園には変わらぬご支援、ご協力を賜りまして感謝申し上げます。

以下、この一年間の学園の主なトピックスをご紹介します。

平成29年10月  
福岡学園 企画課

## ○学園役員改選

任期満了に伴う学校法人福岡学園の理事・監事・評議員の改選が、平成29年7月18日および8月3日に開催された理事会、評議員会で行われ、理事12名、監事2名、評議員27名が決まりました。また、



水田祥代理事長

理事長に水田祥代氏が、常務理事に北村憲司氏が再任されました。

なお、新たに理事として熊澤榮三氏、評議員として神田晋爾氏、田口智章氏、樗木晶子氏が選任されました。

## ○学校法人福岡学園第三次中期構想を策定

学校法人福岡学園の第三次中期構想が、平成29年3月24日に開催された第158回評議員会にて承認され、第508回理事会にて可決されました。

この度の構想では、教育、研究、学生支援等、社会連携・貢献、組織運営、財務・施設の6つの項目を柱として、基本となる構想とその具体的な目標を掲げており、2017年4月1日から2023年3月31日までの6年間で取り組んでまいります。

### 「第三次中期構想」の策定目的

口腔医学の理念の下に、日本の社会基盤を支える高度の専門的能力および倫理観を備え、高い教養に育まれた豊かな人間性を有する歯科医師、看護師、

保健師、歯科衛生士、介護福祉士を養成するとともに、教育研究・医療・保健・福祉・健康活動を強化し、広く地域・社会に貢献する。

このため、次に掲げる目標の実現を目指す。

### 「第三次中期構想」の基本構想

- ①知識基盤社会の進展の中で、医療・保健・福祉分野における豊かな人間性を備えた実践の高度専門職業人を育成するとともに、超高齢社会において口腔の健康から全身の健康を守る医療・介護の普及のため口腔医学教育を推進する。
- ②口腔医学を基盤とする研究レベルの向上を図るとともに、全学的独自色を打ち出す研究事業を通じて先進的学術成果を社会へ発信する。
- ③医療人を志向する意欲のある学生を受け入れるとともに、主体的学習の支援体制や修学環境の整備・充実を図る。
- ④地方自治体や職能団体等との医療・保健・介護・福祉における連携を拡充して地域包括ケアシステムの形成に貢献するとともに、教育・研究のための国際連携の強化に努める。
- ⑤予測困難な社会経済状況の変化や科学技術の急速な進歩に対応するため、法人の下に大学・短期大学・医療施設・福祉施設が有機的に連携した運営組織を構築し、学園組織の最適化を図る。
- ⑥安定的な組織運営を継続するため、収入基盤の確立および効率的な組織運営による財務構造の改善を図り、病院棟・教育棟・講堂等の施設の計画的な改新築によって、教育研究診療施設の充実を図り、学園・地域の安全を確保する。

## ○福岡歯科大学・福岡歯科大学大学院・福岡医療短期大学 3つのポリシーを改訂

平成29年4月1日施行の学校教育法施行規則改正により、全ての大学等において、相互の一貫性・整合性および具体性を持つ3ポリシーの策定・公表が求められました。

そこで、福岡歯科大学の教育にアウトカム基盤型教育の考え方（学生に何を教えたかではなく、学生

が卒業時に何ができるようになっているかを明示し、それを達成できるカリキュラムを構築する)を導入する目的で建学の精神、現行の3ポリシーとともに歯学教育モデルコアカリキュラム・歯科医師国家試験出題基準等を踏まえ、これらの内容を網羅するよう改訂を行いました。

また、福岡歯科大学大学院、福岡医療短期大学は、文部科学省中央教育審議会ガイドライン、同会大学院部会の答申、歯科衛生学教育コア・カリキュラム、介護福祉士養成カリキュラム等を踏まえ、改訂を行いました。

「ディプロマ」、「カリキュラム」、「アドミッション」の3ポリシーを基に、各大学長のリーダーシップの下、教職員一丸となって学生の学びをサポートしてまいります。

### ○福岡看護大学開学、ぺんぎん保育園開園

学校法人福岡学園が地域医療の質向上と健康長寿社会実現へのさらなる貢献を果たすことを目的に建設中だった福岡看護大学が完成し、平成29年2月2日に竣工式が、4月1日には開学記念式典が行われました。同式典には大曲昭恵福岡県副知事、荒瀬泰子福岡市副市長をはじめ、自治体・臨地実習病院の関係者らが列席し、水田理事長は、同大学が無事開学したことを祝い、「設置認可を受けるまでの間、紆余曲折ございましたが、福岡県および福岡市の行政機関や福岡県・福岡市医師会、看護協会をはじめ、実習生を受け入れていただく多くの病院、施設の皆様のご理解とご支援に支えられ、今日の日を迎えることができました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。」と協力いただいた方々に感謝の意を述べました。

また、同学園が、事業所内保育を軸に、女性の就業環境の改善等を目的として平成28年度企業主導型保育事業を活用して建設していた「ぺんぎん保育園」が7月24日に竣工・完成し、8月1日に開園式が行われました。

開園式には、入園した児童やその保護者等が列席し、水田理事長は、「働く女性のお子さんが保育所

に入れず、仕事を辞めてしまうことが多いのを残念に思い、このぺんぎん保育園を作りました。子ども達がすくすく育ち、ぺんぎん保育園に通って良かったと思ってもらえるような園にしていきます。」と述べました。



福岡看護大学



ぺんぎん保育園

### ○福岡歯科大学医科歯科総合病院建替え委員会が発足

福岡歯科大学医科歯科総合病院の老朽化に伴い、同病院の建替えにかかる基本構想策定、設計、施工等の整備計画を円滑に推進するために、福岡歯科大学医科歯科総合病院建替え委員会(委員長=水田祥代理事長)を発足いたしました。今後、目指すべき診療機能のあり方や整備の基本的な方向性等をまとめ、2020年10月の移転・開院を目指します。

### ○「50周年」に向け準備委員会が発足

2022年に学校法人福岡学園・福岡歯科大学は創立50周年を迎えます。記念すべき創立50周年記念事業を行う準備組織として、学校法人福岡学園・福岡歯

科大学創立50周年記念事業準備委員会（委員長＝水田祥代理事長）が、理事長をはじめ教職員および同窓会役員からなる12名の構成員によって発足しました。今後、記念式典・祝宴、周年誌編纂、学生・同窓生イベント、募金・施設整備等、創立50周年を盛り上げていくことを目的に、さまざまな事業を企画・運営してまいりますので、ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

### ○平成29年九州北部豪雨被災地での歯科医療支援活動に参加

平成29年7月19日から23日までの5日間、福岡学園教職員（歯科医師5名、歯科衛生士5名）が交代で福岡県朝倉地域へ赴き、被災地での歯科医療救護活動にあたりました。これは、福岡県歯科医師会の要請により、九州大学、九州歯科大学と共に派遣されたものです。派遣された教職員らは、避難施設や介護老人保健施設を訪問し、避難所・施設利用者の口腔内診査、避難所に設置された口腔ケア用品の使用説明会を行うなど医療救護活動にあたりました。



### ○学校法人福岡学園開学記念式典を挙行

平成29年7月27日、福岡歯科大学本館9階講堂において、学校法人福岡学園開学記念式典が執り行われました。

式典には、水田理事長、北村常務理事、石川福岡歯科大学長、窪田福岡看護大学長をはじめ、学内外の関係者約210名が出席し、理事長挨拶の後、名誉教授称号授与や永年勤続者表彰、福岡歯科大学・福岡医療短期大学最優秀教育改善賞表彰、福岡歯科大学・福岡看護大学特待生表彰、福岡医療短期大学特別奨学生表彰、研究優秀賞表彰が行われました。

記念講演では、同学園理事で元福岡県副知事の海老井悦子氏に「日本再生のキーワード 子どもの貧困について」と題して、過去・現代における子どもを取りまく貧困の実態、子どもを貧困から救う支援活動等についてお話いただきました。





開学記念式典

### ○福岡学園紹介VTRが完成

福岡学園の紹介VTR「福岡学園で夢を叶えよう！～医療・保健・福祉の総合学園で学ぶ～」が完成し、ホームページで公開しています。福岡歯科大学、福岡看護大学、福岡医療短期大学の学生たちが、福岡学園のイチオシを紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



<http://www.fdcnet.ac.jp/fdc/movie.html>

## ◆福岡歯科大学◆

### ○福岡歯科大学学生研究支援プログラム リサーチ・スチューデント辞令交付式

平成29年5月25日、福岡歯科大学本館2階学長室において、福岡歯科大学学生研究支援プログラムにおけるリサーチ・スチューデントの辞令交付式が執り行われました。第1期生には8名の口腔歯学部生が採用され、石川学長より辞令が手交されました。

リサーチ・スチューデントは、普段の講義・実習の先にある「研究」に関心をもっている学生を支援するものです。リサーチ・スチューデントが行う研究活動には、研究指導を行う分野に対して1件あたり20万円を上限として支援金が交付され、充実した研究活動を行うことができます。

大学院入学を待たずに歯科医師の卵である学部生の頃から実験・研究活動に携わることにより高い研究マインドを有する人材の育成が期待されます。



### ○国際交流

#### ●リバプール大学歯学部

平成29年3月17日から27日まで、イギリスのリバプール大学歯学部を福岡歯科大学教員1名、学生4名が訪問しました。この交流は、平成28年10月にリバプール大学歯学部との間に結んだ学術交流協定に基づき初めて実施されたもので、参加した学生は、施設見学をはじめ現地の学生達と共に実習やグループディスカッションを行い、交流を深めました。今後も両大学間での教職員や学生の訪問、教育・学術

研究活動における情報交換など、各方面における活  
 発な交流が期待されます。



リバプール大学訪問の様子

●ブリティッシュコロンビア大学

平成29年4月16日から30日まで、カナダのブリ  
 ティッシュコロンビア大学を福岡歯科大学教員2  
 名、学生4名が訪問しました。この交流は、平成22  
 年2月にブリティッシュコロンビア大学との間に結  
 んだ提携に関する協定に基づき実施されているもの  
 で、今回で7回目となります。参加した学生から  
 は、「何事にも自ら行動を起こしていくことが大切  
 だと感じた」との感想が寄せられました。



ブリティッシュコロンビア大学訪問の様子

●上海交通大学口腔医学院

福岡歯科大学と上海交通大学口腔医学院との学生  
 交流は、平成18年から行われ、今回で12年目にな  
 ります。

昨年、平成28年11月13日から18日まで上海交通大  
 学口腔医学院から訪問団が福岡歯科大学を訪れ、平  
 成29年3月26日から4月1日まで、上海交通大学口  
 腔医学院を福岡歯科大学教員2名、学生4名が訪問  
 しました。

このような定期的な国際交流がもたらす輪は、両  
 国の学生にとって豊かな国際感覚を養う貴重な機会  
 となっています。



上海交通大学訪問の様子

●中国医科大学口腔医学院

平成29年3月26日から4月1日まで、中国医科大  
 学口腔医学院を福岡歯科大学教員2名と学生4名が  
 訪問し、同年10月8日から15日まで、中国医科大  
 学口腔医学院より学生訪問団が福岡歯科大学を訪れ  
 ました。

今回が5回目となる中国医科大学口腔医学院との  
 学生交流は、平成25年3月に結ばれた姉妹校協定に  
 基づいて行われました。両校の学生にとって国際交  
 流は大変有意義なものであり、今後更なる交流の発  
 展が期待されます。



中国医科大学訪問の様子

●慶熙大学校歯科大学

平成29年2月5日から11日まで、韓国の慶熙大学校歯科大学より学生訪問団が福岡歯科大学を訪れ、同年3月12日から18日まで、慶熙大学校歯科大学を福岡歯科大学教員2名、学生4名が訪問しました。

慶熙大学校歯科大学との学生交流は平成19年から行われ、平成25年より毎年行われるようになりました。双方の学生が自国以外の歯学や生活について直接意見交換ができる、貴重な学びの機会となっています。



からだの科学展



慶熙大学校歯科大学訪問の様子



地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム

○地域連携

平成29年度「健康まるごと福岡学園」を開催

平成29年10月21日、22日の両日、福岡学園にて平成29年度「健康まるごと福岡学園」を開催しました。初日は天候に恵まれましたが、2日目は台風21号の接近に伴い、屋外会場で行っていた田の歯科祭のプログラムを変更し、恒例のビンゴ大会は、会場を福岡歯科大学本館9階講堂に移し行いました。その他、からだの科学展・地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム等の様々な催しが行われ、1,700名を超える地域住民の方にご参加いただきました。



田の歯科祭

○第110回歯科医師国家試験

平成29年3月18日、厚生労働省から第110回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,049名中、合格者は1,983名、合格率は65.0%でした。福岡歯科大学からは今春卒業した59名および既卒者73名、計132名が受験し、50名が合格しました。合格率は37.8%でした。

福岡歯科大学の過去の合格率  
(順位は私立歯科大学17校中)

平成10年	(第91回)	95.0%	1位
平成11年	(第92回)	86.8%	3位
平成12年	(第93回)	81.1%	2位
平成13年	(第94回)	92.4%	4位
平成14年	(第95回)	87.0%	5位
平成15年	(第96回)	98.3%	2位
平成16年	(第97回)	87.0%	3位

平成17年（第98回）	63.9%	13位
平成18年（第99回）	76.4%	11位
平成19年（第100回）	70.7%	10位
平成20年（第101回）	62.9%	9位
平成21年（第102回）	76.0%	5位
平成22年（第103回）	80.5%	2位
平成23年（第104回）	67.2%	7位
平成24年（第105回）	66.9%	8位
平成25年（第106回）	69.5%	8位
平成26年（第107回）	59.3%	9位
平成27年（第108回）	57.0%	11位
平成28年（第109回）	46.1%	13位
平成29年（第110回）	37.9%	16位

### ○生涯研修の充実

福岡歯科大学では平成23年12月に開院した口腔医療センターを生涯研修の中核施設として、歯科医師等の資質の保持・向上に向けた研修を積極的に開催しています。平成28年度は、「口腔インプラント初級講習会」、「在宅歯科医療に役立つ知識」、「福岡歯科大学 生涯研修セミナー」、「すぐに役立つ最新のNiTi Fileを用いた根管形成法の実践」、「歯周検査・スケーリングと歯周外科手術の基本と応用」、「歯科衛生士スキルアップセミナー」の6つのプログラムを実施し、延べ63名の方が参加されました。

平成29年度は、「訪問歯科と嚙下りハに役立つ知識」、「審美歯科の最前線」を実施しております。今後も、様々な生涯研修を開催しますので、是非ご参加ください。



生涯研修

## ◆医科歯科総合病院◆

### ○地域連携

平成29年6月4日、福岡県歯科医師会館において、「第42回福岡市民の健康を歯と口から守る集い」（福岡市歯科医師会等と共催）が開催されました。福岡歯科大学医科歯科総合病院からは、口腔外科、小児歯科、禁煙相談、口臭予防等の相談コーナー等を開設し、多くの方にご利用いただきました。

今後も、同病院の理念である安全で質の高い、思いやりのある医療を提供するとともに、豊かな人間性を備えた有能な医療人の育成に努め、地域の患者様に満足されるよう、病院機能の維持と向上にさらに努力して参ります。



福岡市民の健康を歯と口から守る集い

### ○医科歯科総合病院でのお薬の受渡し方法が変更

福岡歯科大学医科歯科総合病院では、平成29年6月1日より患者の皆様のお薬は、院外の保険調剤薬局でお受け取りいただくことになりました。

厚生労働省では、病院やクリニックで処方箋を出す医師と、お薬を調剤する薬剤師との役割分担を明確化する“医薬分業”の推進に力を注いでおり、同病院におきましても、医薬分業を実施することになりました。お薬を受け取る薬局については、患者の皆様が自由に選べ、患者の皆様が便利な薬局をどこか1ヶ所に決めて「かかりつけ薬局」として利用されますと、「かかりつけ薬局」では薬歴管理をしていますので、複数の医療機関から処方されたお薬の重複投与の防止や飲み合わせのチェック等が可能と

なります。

なお、同病院入口東側にクオール薬局が開局いたしました。



病院入口東側に開局した院外薬局

### ○医科歯科総合病院に訪問歯科センターを開設

福岡歯科大学医科歯科総合病院では、医科と歯科の総合医療センターとして地域医療に貢献することを目指しており、その一環として、平成29年10月1日、新たに訪問歯科センターを開設しました。同センターでは、身体的理由により通院が不可能な方で、同病院近郊（距離16km以内、車で片道30分程度）にお住まいの方に対して、診療器材を持参して歯科治療や口腔ケアなどの口腔管理を行います。往診は予約制になっており、上記の対象に当てはまらない方についても、相談を受けます。

## ◆福岡医療短期大学◆

### ○第26回歯科衛生士国家試験

平成29年3月28日、厚生労働省から第26回歯科衛生士国家試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生94名（既卒者2名）が受験し、合格者は94名、合格率は100%でした。なお全国の合格率は93.3%でした。

今回も昨年同様、国家試験対策として国試問題集の出題範囲を限定した演習試験を実施し、各回の成績不振者に対して、放課後と土曜日に補習を行いました。また、演習ならびに模擬試験の成績不振者には冬期休暇中はもとより、国家試験直前まで特訓補

習を実施しました。

## ◆受賞◆

### ○石川博之大学長が日本矯正歯科学会賞を受賞

石川博之福岡歯科大学長が、公益社団法人日本矯正歯科学会から、わが国における歯科矯正学の教育・研究の進歩発展、あるいは矯正歯科医療の充実に優れた功績が認められた者に授与される日本矯正歯科学会賞を受賞しました。

同賞は、90年の歴史がある矯正歯科学会でも受賞された方は石川大学長を含め11名と少なく、大変名誉ある賞です。

石川大学長は平成28年2月まで日本矯正歯科学会理事長を務められ、在任中に研究倫理規定や矯正歯科臨床にかかわる倫理規定の整備、卒後研修カリキュラムの整備に尽力し、また、2020年に日本で行われる第9回国際矯正歯科学会大会に向けての海外学会との折衝等の功績が認められ、この度の受賞となりました。

平成28年11月7日～9日に徳島市で開催された第75回日本矯正歯科学会大会の表彰式で、同賞の贈呈が行われました。



第75回日本矯正歯科学会大会の表彰式

◆人 事◆

(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

■福岡医療短期大学長に北村憲司常務理事が就任



北村憲司  
福岡医療短期大学長

平成29年3月29日に開催された第507回理事会において、福岡医療短期大学の新学長に北村憲司氏が選任され、4月1日付で就任しました。任期は平成29年4月1日から3年間です。

〈略歴〉

昭和50年に九州大学歯学部卒、昭和55年に歯学博士号を取得。九州大学歯学部助手、同大学医学部助手、講師、福岡歯科大学教授（分子機能制御学）、福岡歯科大学情報図書館長、福岡歯科大学学生部長を経て、平成21年2月に福岡歯科大学長に就任。平成27年2月より学校法人福岡学園常務理事。学校法人福岡学園（旧福岡歯科学園）理事・評議員などを歴任。福岡歯科大学名誉教授。

〈抱負〉

栢前短大学長のご勇退を受け、4月より短大学長に就くことになりました。本学の置かれている環境は徐々に厳しさを増していますが、幸い教職員の意欲は極めて高く、教職員一同、一致団結して難局を切り抜きたいと考えています。皆様におかれましては今後共ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

■福岡看護大学長に窪田恵子氏が就任



窪田恵子  
福岡看護大学長

平成29年4月1日、福岡看護大学の開学に伴い、窪田恵子氏が初代学長に就任しました。

〈略歴〉

国立久留米病院附属高等看護学院卒、看護研究研修センター厚生省幹部看護教員養成課程卒、九州芸術工科大学芸術工学研究科芸術工学専攻修了「博士

(芸術工学)」。福岡大学病院看護師長、西南女学院大学保健福祉学部看護学科教授、福岡女学院看護大学看護学部看護学科教授、福岡看護大学設置準備室長、福岡歯科大学客員教授を経て平成29年4月1日、福岡看護大学学長就任。

〈抱負〉

福岡看護大学の学長を拝命しました窪田恵子でございます。職責の重圧を強く感じておりますが、教職員が一丸となって、福岡看護大学の発展に向けて努力いたします。今後ともご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

■新役員・役職教員等紹介

●監事



藤田 和子 監事

平成29年3月24日に開催された第507回理事会において新監事に藤田和子氏が選任されました。

〈略歴〉

九州大学経済学部経営学科卒。黒川公認会計士事務所、監査法人中央会計事務所、中央新光監査法人、監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）を経て、藤田公認会計士事務所を開設し、現在に至る。

●学事顧問



松本 裕子 学事顧問

平成29年3月24日に開催された第507回理事会において学事顧問に松本裕子氏が選任されました。

〈略歴〉

九州大学医療技術短期大学部看護学科、九州産業大学経済学部（夜間主コース）卒。同大学大学院経営学研究科経営専攻修士課程修了。九州大学病院看護師長、同大学病院感染対策担当看護師長、同大学

病院副看護部長等を歴任。

### ●福岡歯科大学 新役職教員等決定

平成29年2月21日に開催された第506回理事会において、大学運営の中核を担う役職教員等が次のとおり決定しました。任期は、平成29年4月1日から2年間です。



- ・ 病院長  
池邊 哲郎〔福歯大・口腔外科学分野 教授〕
- ・ 学生部長  
岡部 幸司〔福歯大・細胞生理学分野 教授〕
- ・ 情報図書館長  
廣藤 卓雄〔福歯大・総合歯科学分野 教授〕
- ・ 口腔・歯学部門長  
坂上 竜資〔福歯大・歯周病学分野 教授〕
- ・ 全身管理・医歯学部門長  
湯浅 賢治〔画像診断学分野 教授〕
- ・ 社会医歯学部門長  
埴岡 隆〔口腔健康科学分野 教授〕
- ・ 基礎医歯学部門長  
山崎 純〔分子機能制御学分野・教授〕
- ・ 学生部次長  
稲井哲一郎〔機能構造学分野・教授〕
- ・ 学生研修センター主事  
永嶋 哲也〔医療倫理学分野・教授〕

### ●医科歯科総合病院 副病院長



#### 樋口 勝規 副病院長

平成29年3月24日に開催された第507回理事会において樋口勝規客員教授が診療支援部門総括、医療安全・危機管理等担当の副病院長に選任されました。

任期は平成29年4月1日から1年間です。

〈略歴〉

九州大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科修了。九州大学病院口腔総合診療科教授、同大学病院副病院長等を経て、平成27年、福岡歯科大学客員教授に着任。平成28年4月より医科歯科総合病院病院長補佐、同年7月より学校法人福岡学園評議員。

### ●口腔医療センター長



#### 佐藤 博信

#### 口腔医療センター長

佐藤博信 福岡歯科大学冠橋義歯学分野前教授が、平成29年4月1日付で福岡歯科大学口腔医療センター長に就任しました。

任期は平成29年4月1日から1年間です。

### ■医科歯科総合病院

#### 訪問歯科センター長・副センター長を選任



森田 浩光 病院教授  
訪問歯科センター長



牧野 路子 講師  
訪問歯科センター  
副センター長

平成29年10月1日、福岡歯科大学医科歯科総合病院に開設された訪問歯科センターのセンター長に森田浩光病院教授（総合歯科）が選任されました。また、同センター副センター長に牧野路子講師（高齢

者歯科学分野) が選任されました。

## ■福岡医療短期大学歯科衛生学科長を選任



堀部 晴美  
歯科衛生学科長

福岡医療短期大学歯科衛生学科長に、堀部晴美教授が選任されました。任期は平成29年4月1日から3年間です。

## ■教授紹介

【平成29年6月1日付】



たまおき さちお  
**玉置 幸雄 教授**

(矯正歯科学分野)

〈略歴〉

福岡歯科大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了。同大学矯正歯科学

分野助手、同分野講師を経て、平成29年6月1日、同分野教授に昇任。博士(歯学)。

〈抱負〉

入学以来これまでに様々な事を勉強させて頂いた福岡歯科大学で、矯正歯科に関する教育・研究・臨床に深く携わる機会が与えられたことに心から感謝致します。今後、学生教育や教室運営などを通して、優秀な歯科医師および認定医の輩出に努め、良質な矯正歯科治療を提供し、大学や社会に広く貢献できるように精進する所存です。

【平成29年6月1日付】



とりす ひろゆき  
**鳥巢 浩幸 教授**

(小児科学分野)

〈略歴〉

東京大学理学部、九州大学医学部卒。同大学医学部附属病院、福岡市立こども病院・感染

症センター勤務、鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設教務員、九州大学病院診療講師、福岡歯科大学小児科学分野准教授を経て、平成29年6月1日、同分野教授に昇任。博士(医学)。

〈抱負〉

真心を持って、最新の医学知識に基づいた、「子どもを守り、子どもを育てる」包括的な医療を実践します。本学学生が、医療のプロフェッショナルになれるよう、小児科医の立場から尽力します。

【平成29年7月1日付】



つる かんじ  
**都留 寛治 教授**

(生体工学分野)

〈略歴〉

岡山大学工学部卒。同大学大学院工学研究科生体機能応用工学専攻、自然科学研究科物質科

学専攻修了。同大学助手、文部省在外研究員(短期)(ペイラー医科大学)、日本学術振興会特定国(英国)派遣研究者在外研究者(ケンブリッジ大学およびアバディーン大学)、岡山大学大学院自然科学研究科助教、九州大学大学院歯学研究院准教授を経て、平成29年7月1日、福岡歯科大学生体工学分野教授に就任。博士(工学)。

〈抱負〉

学生が学びやすい歯科理工学教育および社会に貢献する生体材料学研究を実践します。

【平成29年10月1日付】



はたけやま ゆうじ  
**畠山 雄次 教授**

(機能構造学分野)

〈略歴〉

東北大学歯学部卒業、東北大学大学院歯学研究科修了。東北大学小児歯科学講座助手、東北

大学大学院小児発達歯科学分野助教、福岡歯科大学機能構造学分野助教、同分野専任講師、同分野准教授等を経て、平成29年10月1日、同分野教授に昇任。博士(歯学)。

〈抱負〉

人体の複雑な構造の素晴らしさを伝えるとともに、明快簡潔な講義、実習を通して、学生が得た知識を統合体系化し主体的に学習できることを目指しています。また基礎的研究により歯科臨床の発展に貢献してまいります。

### ■採用

【平成29年4月1日付】

藤田 和子〔福岡学園監事〕  
松本 裕子〔福岡学園学事顧問〕  
窪田 恵子〔福岡看護大学長〕  
大久保つや子〔看護大・基礎・専門基礎分野・教授〕  
岡田 賢司〔看護大・基礎・専門基礎分野・教授〕  
嶋田 香〔看護大・基礎・専門基礎分野・教授〕  
岩本 利恵〔看護大・成人看護学分野・教授〕  
内田 莊平〔看護大・成人看護学分野・教授〕  
梶原 恭子〔看護大・母性看護学分野・教授〕  
飯野 英親〔看護大・小児看護学分野・教授〕  
角森 輝美〔看護大・地域・在宅看護部門・教授〕  
晴佐久 悟〔看護大・基礎・専門基礎分野・准教授〕  
青木 久恵〔看護大・基礎看護学分野・准教授〕  
中島富有子〔看護大・精神看護学分野・准教授〕  
森中 恵子〔看護大・地域・在宅看護部門・准教授〕  
梶原 江美〔看護大・基礎看護学分野・講師〕  
末永 陽子〔看護大・成人看護学分野・講師〕  
中村加奈子〔看護大・小児看護学分野・講師〕

【平成29年5月1日】

島津 篤〔福歯大・口腔健康科学分野・准教授〕

【平成29年7月1日付】

都留 寛治〔福歯大・生体工学分野・教授〕

### ■任命

【平成29年4月1日付】

・福岡看護大学 学部長  
飯野 英親〔看護大・小児看護学分野・教授〕  
・福岡看護大学 学生部長  
大久保つや子〔看護大・基礎・専門基礎分野・教授〕

・福岡看護大学 情報図書館長  
岡田 賢司〔看護大・基礎・専門基礎分野・教授〕  
・福岡看護大学 基礎・基礎看護部門長  
嶋田 香〔看護大・基礎・専門基礎分野・教授〕  
・福岡看護大学 健康支援看護部門長  
岩本 利恵〔看護大・成人看護学分野・教授〕  
・福岡看護大学 地域・在宅看護部門長  
角森 輝美〔看護大・公衆衛生看護学分野・教授〕

【平成29年8月1日付】

・福岡歯科大学医科歯科総合病院  
予防接種センター長  
岡田 賢司〔看護大・基礎・専門基礎分野・教授〕

【平成29年10月1日付】

・福岡歯科大学医科歯科総合病院  
訪問歯科センター長  
森田 浩光  
〔福歯大・総合歯科学分野・准教授、  
医科歯科総合病院総合歯科・病院教授〕  
・福岡歯科大学医科歯科総合病院  
訪問歯科センター副センター長  
牧野 路子〔福歯大・高齢者歯科学分野・講師〕

### ■昇任

【平成29年4月1日付】

力丸 哲也〔短大・歯科衛生学科・教授〕  
石井 綾子〔短大・歯科衛生学科・講師〕

【平成29年6月1日付】

玉置 幸雄〔福歯大・矯正歯科学分野・教授〕  
鳥巢 浩幸〔福歯大・小児科学分野・教授〕

【平成29年10月1日付】

畠山 雄次〔福歯大・機能構造学分野・教授〕

### ■福岡歯科大学新任客員教員

【平成29年4月1日付】

佐藤 博信〔客員教授〕  
平田 雅人〔客員教授〕

山本 卓明〔客員教授〕  
 續 輝久〔客員教授〕  
 岡 素雅子〔客員准教授〕

## ■福岡歯科大学新任臨床教員

【平成29年4月1日付】

榮田 太郎〔臨床准教授〕

## ■福岡歯科大学配置換

【平成29年4月1日付】

山下 潤朗〔福歯大・冠橋義歯学分野・定員外教授〕  
 萩家 康弘〔福歯大・皮膚科学分野・准教授〕

## ○栢豪洋福岡医療短期大学長がご退任、 福岡歯科大学名誉教授に



栢 豪洋  
 前福岡医療短期  
 大学長

栢豪洋福岡医療短期大学長が平成29年3月31日付けで退任されました。

栢前短大学長は、昭和51年4月に福岡歯科大学助教授に着任、昭和53年教授に昇任し、学生部長等を歴任。平成10年4月から学校法人福岡学園理事、平成14年より福岡医療短期大学長

を務められ、約41年間、学園の発展に尽力されました。

平成29年7月27日に執り行われた学校法人福岡学園開学記念式典において、栢 前短大学長に福岡歯科大学名誉教授の称号が授与されました。

〈メッセージ〉

三宅芳郎元理事長、田中健藏前理事長、水田祥代理事長はじめ、教職員の皆様から、ご指導とご支援を頂き、大変ありがとうございました。特に、第26回歯科衛生士国家試験100%合格の為、土曜日や毎日21時まで補習をしてくださった短大教員の先生は本当にご苦勞様でございました。今後の福岡学園の更なる発展を祈っております。

## ○藤野正春監事がご退任



藤野正春 前監事

藤野正春監事が平成29年3月31日付けで退任されました。藤野氏は、平成25年8月から学校法人福岡学園監事を務められ、学園の発展に尽力されました。

## ■定年退職

【平成29年3月31日付】

佐藤 博信〔福歯大・冠橋義歯学分野・教授〕  
 松家 茂樹〔福歯大・生体工学分野・教授〕  
 町田 弘幸〔福歯大・口腔健康科学分野・准教授〕  
 井上 勇介〔短大・歯科衛生学科・教授〕  
 島松 武芳〔介護老人保健施設事務課・課長〕

## ■退職（任期満了含）

【平成29年3月31日付】

栢 豪洋〔福岡医療短期大学長〕  
 藤野 正春〔福岡学園監事〕  
 利谷 幸治〔福歯大・口腔外科学分野・講師〕  
 齊藤 信明〔福歯大・外科学分野・講師〕

【平成29年6月30日付】

沢 禎彦〔福歯大・機能構造学分野・教授〕

【平成29年8月31日付】

鈴木 司〔福歯大・学務課・課長（嘱託）〕

## 「健康まるごと福岡学園」 第43回田の歯科祭を終えて



福岡歯科大学  
学園祭実行委員会  
委員長 川越 智洋 (4年)

はじめに、今年度の「田の歯科祭」は天候に恵まれなかったにも関わらず、福岡歯科大学同窓会のみなさまをはじめとする様々な方面からのご支援により、大変賑やかなものとなりましたことを厚く御礼申し上げます。

私は大学1年の時から4年間、田の歯科祭実行委員としてステージ企画や運営を行ってきましたが、今年は今まで見えなかったものが見える1年となりました。模擬店を運営する上で必要な保健所や消防局への申請やパンフレットの作成など歴代の実行委員長も大変ご苦労されたことと思います。さらに、学園の会議に出席し先生方や学園職員の方と接する機会が多くなり、「組織」というものを意識するきっかけとなりました。物事を進める上で、組織の中での自分の立ち位置を理解し行動することができる大人でありたいと思いました。

さて、今年度は例年がないイレギュラーな、台風の影響によるスケジュールの変更を行いました。事



前に台風の影響があった場合の対応を話し合っていました。2日目の日曜日の模擬店及びステージ企画を予定より早めて終了するという変更でした。1日目は途中でパラパラと小雨が降ることはありましたが、傘を差すほどではありませんでした。夕方になると空は赤く、虹がかかるような空でしたが七色の希望の光は見えることはありませんでした。その日の終了後、学園側から2日目の変更の提案がありました。翌日の田の歯科祭実行委員のメンバーの対応力は素晴らしいものだったと自負しております。模擬店やステージに関わる地域の方々との連絡や、変更に伴う準備、時間の調整、ビンゴ大会の会場変更など、私も目が回るなかひとつの文句も口にせず仕事をこなした実行委員のメンバーに感謝してもしきれません。今年度のメンバーは対応ができましたが、今後このようなイレギュラーな場合を想定した対策が必要だと感じました。いつ、どの段階でどのような対応をとるのかの基準を予め決めておき、共有することを次の実行委員に伝えていきたいと思っています。

私が次の実行委員に伝えたい事は他にもあります。「田の歯科祭」は「健康まるごと福岡学園」の構成要素であり、やれる事、できる事に制限があると感じています。また、地域の方々以外にも一般の方々や受験を考えている高校生のご来場ももっと増やせるはず。そのための広報活動や外に開けた学園祭づくりをして欲しいと思っています。制限がある中でも厚みを増した内容とするのはこの1年だ



けではあまりに足りません。第44回、45回……と回数を重ねることにより厚みを増した「田の歯科祭」になることを願っております。

今回の「田の歯科祭」は前期のうちからメンバーを集め、仲を深めて来ました。さらにはTwitterの公式アカウントを開設し、実行委員による広報活動など、例年とは違う色を出せたのではないかと思います。

います。様々な事が重なり、苦労もありながら楽しみ、自分の成長へとつながる大きな経験ができたことに感謝しております。この経験が私の将来にプラスになることは間違いありません。実行委員のメンバー、学園教職員、地域のみなさま、ご来場のみなさま、ありがとうございました。



学園祭実行委員会

本学学位取得者（甲）



福岡歯科大学  
口腔・顎顔面外科学講座  
口腔外科学分野  
永 蔭 勝 之 (34期)

博士（歯学）（甲第281号）  
平成29年 3月11日  
学位論文題名  
Nutrient-induced FNIP degradation by SCF<sup>β-TRCP</sup> regulates FLCN complex localization and promotes renal cancer progression  
（栄養状態依存的な SCF<sup>β-TRCP</sup>による FNIP の分解は、FLCN 複合体の局在を変化させることで腎臓腫瘍を進展させる）



福岡歯科大学  
口腔・顎顔面外科学講座  
口腔腫瘍学分野  
勝 俣 由 里 (30期)

博士（歯学）（甲第282号）  
平成29年 3月11日  
学位論文題名  
A salmon DNA scaffold promotes osteogenesis through activation of sodium-dependent phosphate cotransporters  
（サケ DNA スカフォールドはリン酸輸送体の活性を介して骨形成を促進する）



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
冠橋義歯学分野  
瀬 尾 皓 (34期)

博士（歯学）（甲第283号）  
平成29年 3月11日  
学位論文題名  
Formation of keratinocyte multilayers on filters under air-lifted or submerged culture conditions in medium containing calcium, ascorbic acid, and keratinocyte growth factor.



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
口腔インプラント学分野  
大多和 昌 人 (34期)

博士（歯学）（甲第285号）  
平成29年 3月11日  
学位論文題名  
Intermittent Administration of Parathyroid  
Hormone Ameliorates Periapical Lesions in  
Mice  
（副甲状腺ホルモンの間欠投与と根尖性歯周炎）



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
口腔インプラント学分野  
佐 藤 絢 子 (34期)

博士（歯学）（甲第287号）  
平成29年 3月11日  
学位論文題名  
Salmon DNA Accelerates Bone Regeneration  
by Inducing Osteoblast Migration  
（サケ由来 DNA は骨芽細胞の遊走性を誘導し  
て骨再生を促進する）

# 本部会務報告

## 平成28年度福岡歯科大学同窓会 定時評議員会・総会・特別講演会

平成29年5月27日土曜日、ホテル日航福岡において第29回福岡歯科大学同窓会定時評議員会・総会・特別講演会が開催された。評議員会開催の前に第4回福岡歯科大学同窓会地区会長会議が行われ、各地区の現況と本部同窓会並びに大学の現況等の情報共有や意見交換がなされた。



その後、神田副会長の開会により評議員会が開会され、鹿児島県同窓会要評議員が議長へ、学内同窓会玉置評議員が副議長に選出された。水谷常務理事より物故会員に対する黙祷が厳かに行われ、宮口会長より挨拶の後、会務報告に続き議事へと進んだ。今回、評議員会への提出議案は6議案ですべての議案が可決承認された。続いて協議事項へと進み、今田副会長の閉会の辞により評議員会が閉会した。

休憩を挟み、高嶺副会長の開会の辞により、定時総会が開会された。議長に学内同窓会都築先生、副議長に福岡西同窓会花田先生が選出され、評議員会審議報告を要評議員会議長により報告された。議事に入りすべての議案が可決承認され、勝俣副会長の閉会の辞により定時総会が終了した。

総会終了後、佐賀県歯科医師

会会長寺尾隆治先生による『県歯会長の独り言（虚言）』という演題で特別講演が行われた。寺尾会長は、佐賀県歯科医師会会長としての活動を通して、日本歯科医師会、歯科医師連盟でのご活躍と歯科医療を取り巻く環境とエピソードについてお話をされた。寺尾会長のお人柄が垣間見えるユーモアあふれるお話を聞かせて頂いた。



その後懇親会に移り、勝俣副会長の開会の辞により懇親会が開会された。宮口会長による挨拶の後、来賓の学校法人福岡学園理事長水田祥代先生、福岡歯科大学学長石川博之先生よりご祝辞を頂き、福岡歯科大学医科歯科総合病院長池邊哲郎先生の乾杯の御発声により開宴となった。

あちらこちらで久々に顔を合わせる同級生や先輩、後輩との談笑が聞こえ、同窓生ならではの暖かい雰囲気の中、時間が過ぎた。今年より福岡歯科大学矯正歯科学分野教授に就任された19期卒業の玉置幸雄先生の指揮の下、出席者全員で校歌斉唱行われすべての日程が終了した。（専務理事 持山達郎）



## 福岡看護大学 開学記念式典・祝賀会

建設中でありました福岡看護大学（窪田恵子学長）は、平成29年2月2日に竣工式を終え、4月1日には、開学記念式典・祝賀会が行われました。

同大学は、口腔機能と全身の健康との関連をしっかりと理解した上で、一人一人の尊厳を保ち、安心して、快適に、その人らしい幸せな暮らしを支える（well-being）看護専門職を育てることを目的に、設立されました。

式典は、大曲昭恵福岡県副知事、荒瀬泰子福岡市副市長をはじめ、多くの行政機関や、福岡県・市医師会、歯科医師会の関係者が参加され、次第に則り、滞りなく終了いたしました。その後の祝賀会も、盛会のうちに和気藹々と進行いたしました。



特筆すべきは、同大学の正面玄関ホールです。3階までの吹き抜け大天井と、木の香もかぐわしい大階段が目飛び込んできます。その先には、水田祥代理事長の想いのこもった、ナイチンゲールの見事なスタンドグラスが施された大きな窓から、日の光が燦々と差し込んできます。そして、その左手に、ひときわ光を放つ漆黒のグランドピアノが見えてきます。本同窓会が、開学のお祝いに寄贈をさせていただいた自動演奏も可能なピアノです。今後とも、このピアノが同大学の学生、教職員のみならず、訪れるすべての皆様の心を癒やしてくれるように願っています。

同窓の先生方も、是非とも一度は訪れて、その雰囲気をご堪能ください。（副会長 高嶺明彦）



## 福岡看護大学開学記念に グランドピアノを寄贈

学校法人 福岡学園は、福岡歯科大学をはじめ、福岡歯科大学医科歯科総合病院、福岡歯科大学口腔医療センター、福岡医療短期大学を設置し、キャンパス内には介護老人保健施設、特別養護老人ホームを擁する医療・保健・福祉の総合学園です。2017年（平成29年）4月、地域医療の質向上と健康長寿社会の実現へのさらなる貢献を果たすため、地域の医療・介護ニーズに的確に対応できる看護専門職を育成する新しい教育機関として「福岡看護大学」を開学されました。

福岡看護大学開学記念式典が平成29年4月1日（土）に行われました。これを祝して福岡歯科大学同窓会よりグランドピアノ（190万円、自動演奏付）を寄贈しましたのでご報告します。グランドピアノは、看護大学エントランス正面大階段を上った2階の学生ホール、ナイチンゲールスタンドグラスの横に設置されています。近くにお寄りの際は是非ご覧ください。同窓会は学園発展のため今後も協力を惜しみ

ません。皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（副会長 馬場篤子）



## 平成28年度九州5大学 歯学部同窓会連絡協議会

平成29年3月11日(土)の16時より、長崎県歯科医師会館において、平成28年度九州5大学歯学部同窓会連絡協議会が行われた。福岡歯科大学同窓会から、宮口会長、小川長崎県同窓会会長、持山専務理事、小柳常務理事の4名が参加した。

本年は、「同窓会が卒前・卒後歯学生にどのように関わっていくか」をテーマに、協議が行われた。

協議に先立ち、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科総合歯科臨床教育学講座の角 忠輝教授の講演が行われた。講演は、「今ドキの歯学生と歯学臨床教育」と題し、歯学教育、国家試験、卒後研修の変遷と現状についてご講演された。

次に協議に入り、「歯科医師の就職および求人に対する活動」について、①歯学部学生、研修医、大学院生、大学勤務医などで就職活動を行う先生に対するアプローチ、②求人を行っている開業同窓生に対するアプローチ、③就職希望者と求人とのマッチングについての事前アンケートに伴う各大学同窓会の回答が行われ、質疑応答となった。

各大学の回答は以下の通りであった。

### 【九州歯科大学】

アンケートについては、九歯大にはMS（マッチングシステム）というのがある。

要は、需要（代診がほしい。医院がほしい。）と供給（代診がしたい。医院を貸したい、売りたい。）を結びつける場を提供するシステムである。



当人同士の契約が基本で、本部に連絡する義務はないので、どのくらいの成約があるかはわからない。

### 【九州大学】

① 本会同窓会 HP を通じて求職者に OB の求人情報を提供している。

同窓会福岡支部では、忘年会の時に大学在籍中の研修医に参加を呼び掛け、代診を探している OB との交流の機会を作っている。

② HP に会員限定での求人を掲載できるので、同窓会報で利用を呼びかけている。

現在の HP は昨年稼働し始めたばかりであり、掲載している求人情報もまだ少なく、要請があれば順次掲載を行う。

③ 同窓会による求職者と求人とのマッチングなどは行っていない。

### 【福岡歯科大学】

① 福岡歯科大学同窓会では、学生、研修医、大学院生、大学勤務医などの就職活動をする先生に対してのアプローチを行っていない。なぜなら、大学が学生支援推進プログラムを構築している。このプログラムは、在学中から免許取得後の進路を考えるプログラムとなっており、その中に就職情報システムもある。就職情報システムでは、就職先のニーズと、個々の学生、先生が描く将来像や能力とのマッチングの向上を図られている。

② 上記の就職情報システムに登録頂くことによ

り、学生、先生とのマッチングが行えるようになってきている。

- ③ マッチングは、上記システムによって行われる。

#### 【鹿児島大学】

本同窓会では、歯学部と非常勤歯科医師派遣に関する情報交換を行うために、会報誌に「非常勤歯科医師募集情報登録票」を入れて、Faxにて求人募集を行っている。

これは、できれば大学院生のバイト先確保の目的が大きい。報酬などの具体的な条件などに関しては、同窓会は一切関与していない。

また、求人情報に関しましては会員をはじめ国公立大学歯学部ネットワークに上がってきた情報をメルマガに掲載し、同窓会員からの情報は同窓会ホームページにも掲載しているが、条件面などについて、同窓会からの関与は一切行っていない。

アンケートの質問からは少し外れるかもしれないが、5年生と研修医を対象に同窓会主催の進路相談会を年1回行っている。内容は「研修医制度について」や、大学院生の生活についてなどの説明、また、開業医会員（女性会員も含めて）による講演とディスカッションである。



#### 【長崎大学】

- ① 従来、5年生と研修医を対象にそれぞれ年1回懇話会と懇親会を行っており、本部同窓会役員や長崎県内開業医との相談・助言を行う会としてきた。
- ② ホームページ上での求人情報を提供している。
- ③ 同窓会支部からの要望で、懇親会の参加希望があったため、全国の支部に懇親会参加案内をだし

たところ、相当数の希望があり、急遽就職説明懇親会となった。

各支部では同窓卒業生の所在を把握することが困難で、求人を行っても就職希望者にたどり着かない現状があった。（常務理事 小柳進祐）

## 第64回全国歯科大学 同窓・校友会懇話会

第64回全国歯科大学同窓・校友会懇話会が10月21日、岡山市のANAクラウンプラザホテル岡山で開催されました。本会からは、野口芳彰副会長、持山達郎専務、岡山県同窓会石川拓志会長と私の4名で参加いたしました。

テーマは、「地域包括ケアシステムにおける歯科の立ち位置」と題して、兵庫県立大学大学院経営研究科の筒井孝子教授、日本歯科医師会の小玉剛常務理事による講演が行われました。

当番校を代表して、岡山大学歯学部同窓会の千原敏裕会長は、「地域包括ケアシステムにおける、歯科の重要性、存在意義を確認しておきたい」旨の挨拶を述べられました。

来賓として、日本歯科医師会の牧野利彦副会長、日本歯科医師連盟の渡辺正臣副会長、岡山県の荒木裕人保健福祉部長、岡山県歯科医師会の酒井昭則会長、岡山大学の浅海淳一歯学部長が、挨拶されました。

講演の中で筒井教授は、「地域包括ケアシステムにおける医療、介護、生活支援連携の在り方－歯科関連専門職の役割と課題－」と題して、地域包括ケアシステムの構築については、「医療・介護の連携が重要であり、医療・介護給付の抑制に効果的なセルフマネジメント支援や、領域横断化をキーテーマとして取り組みを進める必要がある。」と述べられました。また次期、医療・介護同時改定への対応については、「解散総選挙等により、意見を言える時期は、あと1か月しかない。歯科医師会としてのビジョンを示し、制度への組み込みと、発言をしっかりと、やっていただきたい。」と訴えました。

続いて「地域包括ケアシステムにおける歯科の立



ち位置－多職種協働による歯科保健医療の展開－」と題して、小玉日本歯科医師会常務理事による講演が行われました。多職種連携の具体的な取り組み事例を示しながら、医科歯科連携の重要性を話されました。

その後、各同窓会からの周年行事等のお礼、報告があり、協議では次々期当番校に長崎大学歯学部同窓会が決定しました。最後に次期当番校である徳島大学歯学部同窓会薦田淳司会長より、次回開催の案内と挨拶がなされ閉会となりました。

続いて懇親会に移り、岡山大学歯学部同窓会千原会長が会長挨拶をされた後、日本歯科医師会小玉常務理事、日本歯科医師連盟川野敏樹副会長が祝辞を述べられました。徳島大学歯学部同窓会の薦田会長による乾杯の後、祝宴が幕を開けました。アトラクションは、「晴れの国」岡山県の「オリオン座流星群の秋の天体ショー」をホテルから鑑賞する予定でしたが、残念ながら、あいにくの雨で中止となりました。全国各地から集まった地酒が振る舞われ、地元の美味しい料理に舌鼓を打ちながら、和やかな雰囲気の中に懇親会は、お開きとなりました。懇話会、懇親会共に盛会裡に終了しました。

千原敏裕会長をはじめ、当番校の岡山大学歯学部同窓会の先生方には、大変お世話になり、ありがとうございました。この誌面を借りまして、厚く御礼申し上げます。  
(副会長 高嶺明彦)

## 男女共同参画推進事業シンポジウム 「女性歯科医師がより輝く未来へ」へ参加

平成29年11月3日（金・祝）、内閣府、男女共同参画推進連携会議、日本歯科医師会の主催により『女性歯科医師がより輝く未来へ』と題したシンポジウムが日本歯科医師会館（東京都千代田区）にて開催されました。

第1部は、基調講演として元厚生労働副大臣（現・公明党副代表）の古屋範子先生が「女性の活躍加速のために～女性が能力を発揮できる環境の整備～」と題して講演されました。古屋先生はご自身も息子さんを育てられ、お孫さんがいらっしゃる女性として、今の現状は女性の就業率が66%で過去最高である反面、第一子の出産を期に退職する女性が約5割に上ることに触れられ、女性が安心して子供を産み、育てられる環境を作ることが政治における重要なテーマだと話されました。育児・介護休業法の概要、妊娠・出産・育児期・介護期の両立支援制度、出産に関する給付等、子育て支援について、待機児童の解消に向けた取り組みの状況について、産前・産後サポート事業、子育て中の女性のためのリカレント教育など女性に関する現在の国の働きを丁寧に解説されました。

その後、「私の日々の活動～キャリア形成・向上に向けて～」というテーマで3名の女性歯科医師の先生方が講演されました。一人目は滋賀県でご開業の上原美華先生。先生は「笑顔あふれる輝く未来へ～先輩からのメッセージ～」と題して開業医の立場





から、家庭と仕事を両立させるコツを歯科医師歴20年の経験を元にお話しされました。子育ては大変だが、将来の自分をイメージし、疲れた時は休みながら仕事を続けてこられたとお話しされました。また、女性歯科医師は勤務医としてのニーズも多いので今を楽しむことも大切と話されました。二人目は東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科総合診療部助教の則武加奈子先生で、「大学での日々の活動」と題してご講演されました。則武先生は教育、研究、臨床に携わりながら厚労省歯科保健科での仕事もこなされていて、出産を機に9ヶ月の産前産後休暇、育児休暇を取得して今年復職されたそうです。東京医科歯科大学の学生・女性支援センター（男女共同参画支援室・哺育支援室）を活用し、育児と仕事の両立ができたことを大学人としての立場からお話しされました。最後に、東京都福祉保健局・東京都南多摩保健所歯科保健担当課長の白井淳子先生が「公衆衛生歯科医師としての歩み〜心が躍る、多種多様



な仕事、人の出会い〜」と題してご講演されました。小児歯科の専攻生として勤務した後、東京都の公衆衛生歯科医師として入都する道を選ばれた白井先生は、現在管理職として在宅療養や自殺対策、健康づくり等の仕事をされています。人間としての力、コミュニケーション力、公務員として組織が求める力を持ち、最後に専門性が求められるのが公衆衛生歯科医師の仕事だと話されました。また、公務員であるので65歳で定年を迎えるが、歯科医師というライセンスが定年後も生きてくるでしょうとも話されました。

第2部は、日本歯科医師会理事の有松美紀子先生をコーディネーターに、パネルディスカッションが行われました。会場には、将来歯科医師を目指そうかと思案中の女子高校生や、歯科医師になるために猛勉強中の歯学部生も参加されていて、今回の講演会を聴講して女性が仕事と家庭・育児、介護が両立できるように国や歯科医師会がサポートしていることが分かり安心していた様子でした。また、岩手県開業の女性歯科医師の先生は、突然休業せざるを得ないような時にお互いが助け合えるように、同窓会の女性歯科医師750人以上にアンケートをとって歯科医師のヘルプ名簿を作っていて、その他長期休養の復職支援も考えて活動を行っていると話されていました。最後に有松先生が「女性歯科医師の仕事は誇りと責任を持てる素晴らしい仕事です。女性の特徴と経験を生かすことができ、きめ細やかさや専門性をもって多種多様に働けるのが女性歯科医師だと思います。一方で出産や育児で仕事を辞める方が多いのが現実ですが、その時は、家族や周囲の方たち、国や職場の支援を利用して無理せず続けていていただきたいと思います。若い女性歯科医師が多く誕生し、まだ存在する課題に対して男性の力も借りて女性が輝いていくことによって歯科界の発展につながると思っています。」と締められ、盛会裏に終了しました。

出産前後や育児、介護、病気療養等により歯科医療から一旦離職し、復職を希望する方、さらなる研鑽を目指す方は、日本歯科医師会ホームページより「歯科医師のみなさま」→「女性歯科医師」→「女

性歯科医師がいきいきと輝くために」をクリック。  
どうぞ覗いてみてください。（副会長 馬場篤子）

## 学術事業報告

### ●第33回全国歯科大学同窓会・ 校友会学術担当者連絡会

平成29年8月26日(土)、27日(日)、九州歯科大学、九州大学歯学部、福岡歯科大学同窓会の3大学合同で主管し、第33回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会を福岡県歯科医師会館で開催した。参加校は21校で91名の参加であった。

基調講演として「学術連絡会の過去・現在・未来」をテーマに東京歯科大学学術顧問の宮地建夫先生の講演があり、学術連絡会がどの様に発足したのか等興味深い話があった。

今回の学術連絡会はワークショップを行い、1つのテーマにつき2グループでディスカッションしその違い等で興味深い結果が得られる事を期待し、参加者をA・B・C・D・E・Fの6グループに分けて行った。

A・Bグループは「歯科の未来展望とその対応」



(歯科技術革新による歯科界の変貌、高齢化が進む患者層の変化等様々な側面からみたこれからの講演会テーマの在り方について)、C・Dグループは「地方支部への配慮、活性化のための取り組み」、E・Fグループは「講師選抜の基準、ならびに講師育成の取り組み」について行い、その結果発表が各グループから行われた。

その後、「稚加榮」にて懇親会が行われ各校同窓会の親睦を深めた。

翌日の27日は「セミナーの講師の選定と育成について」をテーマに九州大学歯学部同窓会副会長の水上哲也先生による講演が行われ、本学常務理事の葛西秀夫先生による前日のワークショップの総括が行われた。2つのグループに分けた事で意見が一致す



第33回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会  
主管の九州歯科大学・九州大学歯学部・福岡歯科大学同窓会の担当者



る所や、一致しない所があり、また他のグループの先生からも意見を求め、これからの学術事業を行う上で大いに参考になる学術連絡会になりました。

今回3大学で主管し、九州歯科大学、九州大学歯学部の学術担当者と準備のために会合を重ね親睦が深められた事は、これからの学術事業を行う上で非常に有意義でした。（学術常務理事 枡 浩一）

### ●第34回臨床セミナー・第30回学術講演会・2017年度臨床スキルアップセミナー

第34回臨床セミナーは平成29年2月5日(日)、福岡歯科大学医科歯科総合病院臨床CAD/CAM 実習室にて、「デジタルデンティストリーの今と未来を体験する」というテーマで行われました。福岡歯科大学咬合修復学講座臨床教授松永興昌先生には「補綴臨床におけるデジタルデンティストリーの現状とキーポイント」福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野助教濱中一平先生には「部分床義歯におけるデジタルデンティストリーの現状と今後の方向性」福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室歯科



第34回臨床セミナー

技工士一志恒太先生には「歯科技工からみたデジタルデンティストリーと歯科医師との連携」と題して開業医、大学教員、技工士のそれぞれの立場からデジタルデンティストリーの現状と今後の展望をお話ししていただき、日本最先端のCAD/CAM 機器を使用したハンズオンでは口腔内スキャナーに実際に触れて補綴物の制作過程を見学してもらいデジタルデンティストリーを身近に感じて理解を深めていただきました。

第30回学術講演会は、平成29年3月5日(日)、福岡県歯科医師会館大ホールにて「天然歯保存の可能性を探る—歯周病治療最前線—」をメインテーマに開催いたしました。近年、天然歯の抜歯の基準を見直し、まずは保存を試みるといった考えがひろがりつつある中、今回の講演会では日常臨床における天然歯の保存の可能性と限界にこだわり、福岡歯科大学口腔治療学講座歯周病学分野教授の坂上竜資先生に「歯周組織の炎症と咬合性外傷のコントロールは天然歯保存の第一歩」と題して、そして福岡県中間市開業、ももぞの歯科クリニックの桃園貴功先生に「天然歯保存を目指した歯周組織改善へのアプローチ」福岡県北九州市開業、福岡歯科大学総合歯科学講座臨床准教授 なかしま歯科クリニック中島稔博先生に「天然歯保存を考慮した歯周治療のストラテジー」、福岡県福津市開業、九州大学歯学部臨床教授 水上哲也先生に「重度に進行した歯周病罹患歯に対する歯周組織再生療法の実際」と題して、それぞれの立場からご講演頂きました。器材展示業者を合わせ130名の参加となり、質疑応答も定刻を過ぎ



第30回学術講演会ディスカッション

でも行われ、盛會に終わり大変有意義な講演會となりました。

2013年度より、日常臨床で重要なテーマについて福岡歯科大学講座、同窓開業医、他大学開業医の先生から最新の情報を提供していただき、皆様の臨床に役立つ内容の「臨床スキルアップセミナー」を新しく企画し4年目になりました。



スキルアップセミナー「外科」  
左から、金成・泉・平木先生

2017年度、第1回セミナーは、平成28年6月22日(木)「外科」をテーマに開催いたしました。講師陣は、福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座口腔腫瘍学分野教授平木昭光先生に「歯科医院でできる口腔外科手術—基礎から応用まで—」福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座口腔腫瘍学分野講師泉喜和子先生に「顎骨外科における判断の目」～自分でできること～口腔外科医へ依頼すること～、山口県開業クリスタル歯科院長金成雅彦先生に「日常臨床におけるピエゾ機器の応用」について開業医の立場から講演頂きました。口腔外科治療の基本的事項からアドバンスまで講演して頂き解りやすく大変好評でした。第2回セミナーは、平成29年8月24日(木)「審美」をテーマに福岡歯科大学口腔治療学講座歯周病学分野准教授の吉永泰周先生に「根面被覆の文献によるコンセンサスとその実際」陶山歯科医院副院長陶山新吾先生に「審美修復治療におけるダイレクトボンディングの可能性」優・井上歯科クリニック院長井上優先生に「MI 審美修復」について臨床応用



スキルアップセミナー「審美」  
左から、井上・陶山・吉永先生

を講演頂き審美と機能の調和の重用性を再認識させられた明日からの臨床に役立つ素晴らしい内容でした。第3回セミナーは平成29年10月26日(木)「義歯」をテーマに篠栗病院歯科勤務鈴木宏樹先生に「オーラルフレイルと義歯～超高齢社会の中で～」土屋デンタルクリニック大分オフィス院長、福岡歯科大学臨床教授土屋嘉都彦先生に「インプラントオーバーデンチャーを考察する」吉松歯科医院院長吉松繁人先生に「総義歯治療の勘所～診断と治療戦略～」を講演していただき超高齢社会での義歯治療についてどう向き合い貢献できるかを考察した素晴らしい内容でした。

来年、2018年度の臨床スキルアップセミナーは6月、8月、10月第4木曜日、6月28日(木)、8月23日(木)、10月25日(木)の19:30～21:45、会場を福岡県歯科医師会館5F視聴覚室にて予定いたしております。また、2018年度、新企画として福岡医療短期大



スキルアップセミナー「義歯」  
左から、鈴木・土屋・吉松先生

学とのコラボでの臨床スキルアップセミナーも検討しております。今後も「臨床スキルアップセミナー」を通じて皆様に更なる充実した臨床セミナーを企画して参りますので、より多くのご参加をお願い申し上げます。学術委員一同、時代の変遷に適応し進化をしながら、母校と共に同窓会も成熟して、皆様にさらなる充実した魅力ある同窓会づくりに貢献出来たら幸いです。今後とも同窓各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。

(学術常務理事 葛西秀夫)

## ご逝去のお知らせ

「大学関係」

山本 萬和先生（数学） 平成28年12月5日

「同窓生」

永末 哲也先生（9期、福岡東）平成29年10月15日

## 福岡歯科大学学内同窓会・学術振興事業の実施について

本事業は、福岡歯科大学学内同窓会に属する正会員、準会員を対象とする学術および研究活動を支援するものです。同窓会年会費を滞りなく納めている者が対象です。

対象項目

- 1) 研究助成金（学内同窓会正会員の研究を対象とする）
- 2) 研究奨励賞（学内同窓会正会員の論文を対象とする）
- 3) 旅費援助金（国内外で開催される国際学会の発表に対する旅費の援助）
- 4) 留学援助金（外国・国内留学への援助金）

この4つの事業により成り立っており、同窓会特別委員会により管理運営されています。平成28年1月から援助金の見直しを行い、海外留学に対して増額いたしました。同窓会で集められた大切なお金が、留学・国際学会での発表のために使われた事は、大変名誉な事です。これも一重に、同窓会員の皆様のご理解と宮口同窓会長の采配の賜物と感謝しております。これからも、本事業にご理解の上、ご支援をお願い致します。本事業の申請については、同窓会本部事務局へお尋ね下さい。

### 福岡歯科大学同窓会・学術振興事業内訳

事業名	対象者	金額	申請書類	備考
研究助成金	同窓会学内支部に属する正会員	50万円を上限とする。	様式1、様式2 推薦状	大学経理、推薦者を経て、申請者の研究費となる。
研究奨励賞	同窓会学内支部に属する正会員	3万円	様式1、様式3 推薦状、別刷2部	本賞金は同窓会総会等において同窓会長が賞状と共に授与し、2名を限度とする。
旅費援助金	同窓会学内支部に属する正会員、準会員	正会員 国内 5万円 海外 10万円 準会員 国内 3万円 海外 5万円 を上限とする。	様式1、様式4 発表演題の受領を証明する書類を添付	国際学会を対象とし、原則として正規の旅費以内で援助限度額以内とする。
留学援助金	同窓会学内支部に属する正会員	国内 10万円 海外 30万円	様式1、様式5 留学先の受け入れを証明する書類を添付	

\*平成28年1月1日より施行する。

# 福岡歯科大学同窓会本部役員

平成28年4月1日～平成30年3月31日

役 職	氏 名 E-Mail アドレス	期	地 区	勤 務 先	郵便番号・住 所	tel	fax
会 長	宮 口 巖 miyaguchi1953@hotmail.co.jp	1	長 崎	宮 口 歯 科 医 院	852-8154 長崎県長崎市住吉町11-20	095-849-2238	095-849-2389
副 会 長 (総合対策)	寺 尾 隆 治 t9154@bronze.ocn.ne.jp	1	佐 賀	寺 尾 歯 科 医 院	849-1411 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲50-3	0954-66-2142	0954-66-5422
副 会 長 (総合対策)	長 尾 博 通 h1127naga@ybb.ne.jp	1	大 分	長 尾 歯 科 医 院	879-4403 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足279	0973-72-7122	0973-72-3613
副 会 長 (総合対策)	勝 俣 辰 也 can92320@pop02.odn.ne.jp	1	福 岡 西	かつまた歯科小児歯科医院	813-0041 福岡県福岡市東区水谷1-6-15	092-683-1011	092-683-1112
副 会 長 (総合対策)	高 嶺 明 彦 akihiko@takaminedc.jp	6	沖 縄	たかみね歯科クリニック	900-0032 沖縄県那覇市松山1-9-2	098-866-0648	098-860-2666
副 会 長 (広 報)	武 井 俊 哉 takeid.c.2009@gol.com	2	福 岡 西	武 井 歯 科 医 院	813-0012 福岡県福岡市東区香椎駅東4-26-10	092-662-7132	092-683-1486
副 会 長 (学 術)	岩 本 憲 明 izakidc7@chive.ocn.ne.jp	2	福 岡 西	医) 社団プラタナス会 いざき歯科医院	810-0067 福岡県福岡市中央区伊崎3-13	092-725-2626	092-725-3287
副 会 長 (福祉厚生)	神 田 晋 爾 ksinj58119@car.ocn.ne.jp	4	福 岡 西	神 田 歯 科 医 院	819-0006 福岡県福岡市西区姪浜駅南1-6-22	092-882-5255	092-882-7059
副 会 長 (会 計)	馬 場 篤 子 babaatsu@college.fdcnet.ac.jp	12	学 内 (福岡西)	福岡歯科大学 成長発達歯学 講座 成育小児歯科学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-0692
副 会 長 (組 織)	野 口 芳 彰	13	香 川	野 口 歯 科 医 院	768-0040 香川県観音寺市柞田町乙1947-1	0875-25-3900	0875-25-1888
副 会 長 (関 東)	千 原 眞 治 info@chihara-shika.net	1	関 東	ち は ら 歯 科 医 院	181-0001 東京都三鷹市井ノ頭2-7-8 三鷹プラザ202号	0422-49-2753	0422-46-9454
副 会 長 (近 畿)	山 村 哲 也 yamamurashika@mochoa.ocn.ne.jp tetsuya.yama@docomo.ne.jp	6	大 阪	医) 純歯会 山村歯科医院	559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中2-1-99	06-6613-2020	06-6613-0123
副 会 長 (中 国)	西 谷 展 nob-nish@bd6.so-net.ne.jp	9	広 島	に し や 歯 科 医 院	720-0056 広島県福山市本町1-10	084-928-4545	084-928-4891
副 会 長 (九 州)	松 島 一 夫 dent0240@aol.com	8	沖 縄	まつしま歯科医院	904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-1-10	098-936-0648	098-936-0011
副 会 長 (福岡東)	今 田 圭 二 imada_dental_office_buzen@yahoo.co.jp	21	福 岡 東	歯 科 今 田 医 院	828-0021 福岡県豊前市八屋2010-1	0979-82-5041	0979-82-5518
副 会 長 (福岡西)	中 四 良 s-nakadc@jf7.so-net.ne.jp	5	福 岡 西	医) 中 歯 科 医 院	814-0022 福岡県福岡市早良区原8-17-3	092-866-0418	092-866-0417
副 会 長 (福岡南)	岡 浩 司 okadentalclinic@topaz.plala.or.jp	7	福 岡 南	岡 歯 科 医 院	830-0013 福岡県久留米市櫛原町124-8	0942-35-1184	0942-35-1190
副 会 長 (福岡北)	浅 尾 武 tekeado@yahoo.co.jp	10	福 岡 北	浅 尾 歯 科 医 院	803-0831 福岡県北九州市小倉北区日明2-15-7	093-561-3169	093-561-3169
専 務 理 事	持 山 達 郎 mochitatsu@coffee.ocn.ne.jp	13	福 岡 西	持 山 歯 科 医 院	810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-3-3	092-712-3900	092-716-0389
常 務 理 事 (総 務)	石 本 圭 keishika2001@kif.biglobe.ne.jp	16	福 岡 北	医) RINKY いしもと圭歯科医院	807-0856 福岡県北九州市八幡西区八枝4-3-7	093-602-6480	093-602-6481
常 務 理 事 (総 務)	稲 井 哲 郎 inaidental.171@up.bbq.jp	16	福 岡 西	稲 井 歯 科 医 院	819-1123 福岡県糸島市神在489-76	092-322-9771	092-322-9772
常 務 理 事 (福祉厚生)	水 谷 匡 秀 mizutani.m6480@spice.ocn.ne.jp	6	福 岡 西	みずたに歯科医院	819-1314 福岡県糸島市志摩師吉131-43	092-327-2342	
常 務 理 事 (組 織)	高 山 義 之 yoshi3287@yahoo.co.jp	15	福 岡 西	アイランドシティ デンタルクリニック	813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉3-2-5-2F	092-662-4618	092-662-4613
常 務 理 事 (広 報)	白 本 光 七 shiromoto1953@ybb.ne.jp	2	福 岡 西	医) 光仁会 白本歯科医院	811-0204 福岡県福岡市東区奈多3-3-37	092-607-7554	092-607-7554
常 務 理 事 (広 報)	劉 中 憲 ryuchuken@yahoo.co.jp	14	福 岡 西	ハンダ小児歯科医院	813-0001 福岡県福岡市東区唐原7-1-3 エスプランサ1F	092-673-1180	092-403-6300
常 務 理 事 (学 術)	粉 浩 一 hegi@drive.ocn.ne.jp	3	福 岡 西	へ ぎ 歯 科 医 院	810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-14-16 三栄ビル6F	092-741-8212	092-741-8212
常 務 理 事 (学 術)	葛 西 秀 夫 info@kasai-dental.com	6	福 岡 西	医) かさい歯科医院	816-0082 福岡県福岡市博多区麦野1-29-8	092-581-0796	092-573-6111
常 務 理 事 (企画・情報)	小 柳 進 祐 skoyana@cableone.ne.jp	12	佐 賀	小 柳 歯 科 医 院	849-0503 佐賀県杵島郡江北町惣領分1898	0952-86-2574	0952-86-2574
常 務 理 事 (会 計)	西 原 義 一 y-3185@fa2.so-net.ne.jp	3	福 岡 西	西 原 歯 科 医 院	819-1139 福岡県糸島市前原南1丁目14-3	092-323-5600	092-324-6326
理 事 (総 務)	芝 池 覚 dpfiif300@ezweb.ne.jp	4	大 阪	芝 池 歯 科 医 院	583-0886 大阪府羽曳野市恵我之荘1-2-2	072-955-8815	072-955-8815
理 事 (総 務)	吉 永 修 osamu@yoshinagashika.com	4	熊 本	医) 徳治会 吉永歯科医院	869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内824-8	0964-32-5801	0964-32-3571
理 事 (総 務)	秋 山 達 也 dental-a@vega.ocn.ne.jp	7	福 岡 南	秋 山 歯 科 医 院	834-0034 福岡県八女市大字高塚151-5	0943-22-7711	0943-22-7741
理 事 (総 務)	石 田 哲 也 idc4180@nike.eonet.ne.jp	9	大 阪	石 田 歯 科 医 院	583-0991 大阪府南河内郡太子町大字春日1726-1	0721-98-4180	0721-98-4401
理 事 (総 務)	浦 嘉 訓 urayoshi@po.saganet.ne.jp	12	佐 賀	浦 歯 科 医 院	849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南4-1-29	0952-28-7070	0952-28-7078
理 事 (福祉厚生)	泉 幸 三	2	福 岡 西	泉 歯 科 医 院	814-0123 福岡県福岡市城南区長尾3-1-29 ファイン・ビュー泉2F	092-552-6333	092-552-6348
理 事 (福祉厚生)	佐々木 次 郎 sasakidc1721@k8.dion.ne.jp	2	長 崎	佐 々 木 歯 科 医 院	851-3101 長崎県長崎市西海町1755-260	095-884-1721	095-884-1731

役 職	氏 名 E-Mail アドレス	期	地区	勤 務 先	郵便番号・住 所	tel	fax
理事 (福祉厚生)	高 森 晴 己	2	福岡北	高 森 歯 科 医 院	803-0846 福岡県北九州市小倉北区下津1-3-7	093-581-9152	093-581-9152
理事 (福祉厚生)	白 本 光 鶴 qq266ym9@beach.ocn.ne.jp	3	福岡南	し ろ も と 歯 科 小児歯科クリニック	837-0917 福岡県大牟田市草木1033-2	0944-52-6480	0944-53-2418
理事 (福祉厚生)	新 郷 陽 二 op2914@m8.gyao.ne.jp	4	福岡西	し ん ご う 歯 科 医 院	814-0103 福岡県福岡市城南区鳥飼5-6-3	092-822-8811	092-822-8811
理事 (福祉厚生)	安 倍 敬 治 keijiabe@ae.auone-net.jp	4	福岡北	安 倍 歯 科	805-0017 福岡県北九州市八幡東区山王1-15-10	093-671-3946	093-671-4000
理事 (福祉厚生)	中 山 敬 介 gori8021@gmail.com	20	学 内 (佐賀)	福 岡 歯 科 大 学 口 腔 医 療 セ ン タ ー	812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1	092-409-1050	092-409-1051
理事 (福祉厚生)	小 篠 政 之 hksxm9432000@yahoo.co.jp	29	福岡西	お ざ さ デ ン タ ル ク リ ニ ッ ク	813-0002 福岡県福岡市東区下原1-14-3	092-663-5252	092-663-5355
理事 (組 織)	山 本 順 一 yamajun11@gmail.com	10	福岡西	医) 山 本 歯 科 医 院	811-1302 福岡県福岡市南区井尻4-3-37	092-581-4397	092-581-4441
理事 (組 織)	八 重 岡 由 実	13	福岡西	第 2 空 港 口 歯 科	812-0066 福岡県福岡市東区二又瀬14-7 コンフォート二又瀬1 F	092-623-4658	
理事 (組 織)	原 精 一 郎 doctor@hara-dental.net	21	長 崎	は ら 歯 科 医 院	852-8117 長崎県長崎市平野町23-1 2F	095-842-6622	095-842-6623
理事 (組 織)	手 島 将 将 info@tesima-clinic.com	22	福岡東	て し ま 歯 科 ク リ ニ ッ ク	820-0203 福岡県嘉麻市平1433-1	0948-42-6623	0948-42-6635
理事 (組 織)	泉 喜 和 子 kiwachan@college.fdcnet.ac.jp	22	学 内 (福岡西)	福岡歯科大学 口腔・顎顔面 外科学講座 口腔外科学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-1288
理事 (組 織)	烏 尾 直 弘	23	福岡北	と り お 歯 科 ク リ ニ ッ ク	820-0074 福岡県飯塚市築市241-2	0948-23-1184	0948-23-1191
理事 (組 織)	杉 本 大 輔 dsGEDOKU@nifty.com	24	福岡西	杉 本 歯 科 医 院	815-0081 福岡県福岡市南区那の川1-7-14	092-531-6480	092-531-6580
理事 (広 報)	佐 藤 毅 tuyoshi@viola.ocn.ne.jp	3	長 崎	佐 藤 歯 科 診 療 所	852-8107 長崎県長崎市浜口町11-14	095-844-5477	095-847-6568
理事 (広 報)	廣 瀬 武 尚 thirose145@gmail.com	4	福岡西	く わ の 歯 科 ク リ ニ ッ ク	810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2-7-14	092-734-2147	092-734-3147
理事 (広 報)	三 箇 正 賢 rmjir906@yahoo.co.jp	18	福岡北	三 箇 歯 科 医 院	806-0055 福岡県北九州市八幡西区幸神4-7-10	093-641-3641	093-641-3631
理事 (広 報)	後 藤 加 寿 子 kazuko@college.fdcnet.ac.jp	21	学 内	福 岡 医 療 短 期 大 学 歯 科 衛 生 学 科	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0439	092-801-4473
理事 (広 報)	重 富 澄 保 shigetomi-dc@eos.ocn.ne.jp	24	福岡西	重 富 歯 科 医 院	811-1355 福岡県福岡市南区松原5-10-32	092-567-6633	092-567-6622
理事 (広 報)	廣 松 亮 hiromatsu@college.fdcnet.ac.jp	32	学 内 (福岡南)	福岡歯科大学 口腔治療 学講座 歯周病学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
理事 (広 報)	熊 谷 徹 弥 VERYROLL@vodafone.ne.jp	36	福岡西	福岡歯科大学 成長発達歯学 講座 成育小児歯科学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-0692
理事 (学 術)	江 崎 和 久 kazu1239@me.com	8	福岡南	睡 眠 科 学 研 究 所 江 崎 歯 科 内 科 医 院	834-0052 福岡県八女市新庄1266-1	0943-22-5809	0943-22-2632
理事 (学 術)	重 松 久 幹 shigematu_hisa@jcom.home.ne.jp	8	福岡西	重 松 歯 科 医 院	814-0022 福岡県福岡市早良区原6-29-2	092-847-7755	092-847-7744
理事 (学 術)	香 川 豊 宏 kagawat1@college.fdcnet.ac.jp	15	学 内 (香川)	福岡歯科大学 診断・全身管理 学講座 画像診断学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
理事 (学 術)	椿 誠 tbkdc@hf.rim.or.jp	16	熊 本	椿 歯 科 ク リ ニ ッ ク	862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目15-20	096-381-6561	096-381-6664
理事 (学 術)	松 永 興 昌 nylic99@yahoo.co.jp	16	福岡西	松 永 歯 科 ク リ ニ ッ ク	810-0022 福岡県福岡市中央区薬院3-3-5-2F	092-401-4618	092-401-8148
理事 (学 術)	飯 田 聖 子 maebarudc@gmail.com	17	福岡西	ま え ば る 歯 科 医 院	819-1117 福岡県糸島市前原西1丁目8-27	092-324-6615	092-324-6615
理事 (学 術)	松 尾 康 平 mdc@feel.ocn.ne.jp	18	福岡西	MATSUO DENTAL CLINIC	812-0895 福岡県福岡市博多区竹下4-14-12	092-436-8497	092-436-8558
理事 (学 術)	野 上 堅 太 郎 nogamk@college.fdcnet.ac.jp	22	学 内 (福岡西)	福岡歯科大学 診断・全身管理 学講座 麻酔管理学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
理事 (学 術)	山 本 勝 己 katsuki@college.fdcnet.ac.jp	22	学 内 (福岡西)	福岡歯科大学 咬合修復学 講座 口腔インプラント学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
理事 (学 術)	古 賀 め ぐ み megumi19770401@hotmail.co.jp	23	福岡西	こ が 歯 科 ク リ ニ ッ ク	814-0171 福岡県福岡市早良区野芥3-4-23	092-863-8868	092-863-8111
理事 (学 術)	津 江 文 武 roquecain@college.fdcnet.ac.jp	25	学 内 (福岡南)	福 岡 歯 科 大 学 口 腔 医 療 セ ン タ ー	812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1	092-409-1050	092-409-1051
理事 (学 術)	葉 山 揚 介 hayama-shika@opal.ocn.ne.jp	26	福岡東	は や ま 歯 科 医 院	820-0067 福岡県飯塚市川津370-4	0948-26-8148	0948-21-0002
理事 (学 術)	花 水 麻 美 www.asami.com@hotmail.co.jp	30	福岡西	一 徳 会 DENTAL CLINIC 桜 坂	810-0033 福岡県福岡市中央区小笹5丁目5-21	092-525-4618	092-525-4619
理事 (学 術)	立 岡 迪 子 kira30@college.fdcnet.ac.jp	31	学 内 (熊本)	福岡歯科大学 成長発達歯学 講座 成育小児歯科学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-0692
理事 (学 術)	柳 本 慎 太 朗 ichiryukai.kumamoto@gmail.com	34	福岡西	藤 崎 駅 商 店 街 通 り 歯 科 ク リ ニ ッ ク	814-0011 福岡県福岡市早良区高取1-2-21	092-843-7611	
理事 (学 術)	安 里 啓 nankulu.nankuru.1.2.3@gmail.com	36	福岡東	は や ま 歯 科 医 院	820-0067 福岡県飯塚市川津370-4	0948-26-8148	0948-21-0002
理事 (企画・情報)	田 中 靖 彦 toystory@camel.plala.or.jp	12	長 崎	医) 恵 和 会 タナカ・デンタル・クリニック	850-0851 長崎県長崎市古川町6-35 タナカ・ビル3F	095-824-3281	095-822-4699
理事 (企画・情報)	荒 瀬 陽 一 arase@araseshika.com	12	熊 本	荒 瀬 歯 科 医 院	861-0000 熊本県熊本市東区上南部2-2-2 ゆめタウンサンピアン3F	096-349-7342	096-649-7343

役 職	氏 名 E-Mail アドレス	期	地区	勤 務 先	郵便番号・住 所	tel	fax
理事 (企画・情報)	吉岡和彦 mappun0@gmail.com	25	福岡西	よしおか歯科こども歯科	810-0014 福岡県福岡市中央区平尾3丁目6-8 武石ビル2F	092-521-6007	092-521-6007
理事 (企画・情報)	田代剛 tassy0_0@mac.com	26	佐賀	田代歯科医院	849-3201 佐賀県唐津市相知町相知1940	0955-62-2217	0955-62-3595
理事 (会計)	北村勝文 kitamurado@yahoo.co.jp	9	福岡西	きたむら歯科医院	819-1138 福岡県糸島市前原駅南2丁目12-1	092-322-3588	092-322-3588
理事 (会計)	東義隆 east28dental@yahoo.co.jp	21	長崎	東歯科医院	852-8134 長崎県長崎市大橋町23-1	095-844-1443	095-844-1443
理事 (会計)	橘一史 mibusidenn1976@yahoo.co.jp	27	長崎	たちばな歯科	850-0874 長崎県長崎市魚の町3-12-2F	095-823-5363	095-826-4087
顧問	升井一朗 ichirom@college.fdcnet.ac.jp	1	学内 (福岡西)	福岡医療短期大学 歯科衛生学科	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0439	092-801-4473
顧問	梶谷剛 yoshiy-1952-0109@docomo.ne.jp	1	福岡西	はるデンタルクリニック	818-0005 福岡県筑紫野市原407-1	092-918-6480	092-918-6481
顧問	永尾禮二 qqw92hwd@arrow.ocn.ne.jp	1	福岡南	永尾禮二歯科医院	830-0072 福岡県久留米市安武町安武本1598-7	0942-26-4180	0942-27-2522
顧問	友添秀樹 tomozoe_@yahoo.co.jp	2	福岡南	友添歯科医院	839-0863 福岡県久留米市国分町1176-8	0942-22-4618	0942-21-0324
顧問	斉藤武史	2	福岡東	新飯塚歯科医院	820-0005 福岡県飯塚市新飯塚13-27	0948-22-7273	0948-22-7783
顧問	尾崎正雄 mozaki@college.fdcnet.ac.jp	3	学内 (福岡西)	福岡歯科大学 成長発達歯学 講座 成育小児歯科学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-0692
顧問	木村孝一	3	大阪	木村歯科医院	572-0063 大阪府寝屋川市春日町19-23	072-826-8838	072-826-8839
顧問	深井修一	3	山口	深井歯科医院	747-0835 山口県防府市西浦2066-6	0835-29-1807	0835-29-0875
顧問	高橋裕 ytakaha@college.fdcnet.ac.jp	3	学内 (福岡北)	福岡歯科大学 咬合修復学 講座 有床義歯学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	
顧問	藤田勝也 fujitak@orange.ocn.ne.jp	3	福岡東	フジタ歯科医院	822-0032 福岡県直方市新入624-4	0949-28-3636	0949-28-3636
顧問	佐伯和道 kazu_s1201@ezweb.ne.jp	4	福岡北	佐伯歯科医院	802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町1-2-17	093-531-4955	093-531-4957
顧問	矢野尚一 show@light.ne.jp	4	福岡北	矢野歯科医院	806-0028 福岡県北九州市八幡西区熊手2-4-25 かまやビル2F	093-631-2402	093-622-4062
顧問	山田俊介 ydc2007@redbay-dc.jp	4	宮崎	山田歯科医院	880-0912 宮崎県宮崎市大字赤江414-3	0985-54-7272	0985-54-7273
顧問	城戸寛史 hkido@college.fdcnet.ac.jp	6	学内 (福岡北)	福岡歯科大学 咬合修復学 講座 口腔インプラント学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	
顧問	比嘉奈津美	8	沖縄		904-0021 沖縄県沖縄市胡屋1-18-17	098-937-9011	098-937-9011
顧問	原田孝昭	12	福岡北	原田歯科医院	806-0021 福岡県北九州市八幡西区黒崎2-9-18 2F	093-621-7407	093-621-7407
監事	臼杵辰雄	1	福岡南	臼杵歯科医院	838-0065 福岡県朝倉市一木95-4	0946-24-3691	0946-22-1982
監事	原文夫	2	福岡西	アンプル歯科	811-1346 福岡県福岡市南区老司1-17-34	092-565-8148	092-565-8239

## 地区会会長

地区会	府県	役職	氏名 E-Mail アドレス	期	勤 務 先	郵便番号・住 所	tel	fax
学 内		学内会長	香川豊宏 kagawat1@college.fdcnet.ac.jp	15	福岡歯科大学 診断・全身 管理学講座画像診断学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
福岡県	福岡西	福岡県地区会会長	中四良 s-nakado@jf7.so-net.ne.jp	5	(医)中歯科医院	814-0022 福岡県福岡市早良区原8-17-3	092-866-0418	092-866-0417
九州	沖縄	九州地区会会長	松島一夫 dent0240@aol.com	8	まつしま歯科医院	904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-1-10	098-936-0648	098-936-0011
中国	広島	中国地区会会長	西谷展 nob-nish@bd6.so-net.ne.jp	9	にしや歯科医院	720-0056 広島県福山市本町1-10	084-928-4545	084-928-4891
近畿	兵庫	近畿地区会会長	八木隆史	1	八木歯科医院	673-0552 兵庫県三木市志染町中自由ヶ丘2-411	0794-85-0882	0794-85-0882
中部	中部	中部地区会会長	伊藤恒一 daiichi-shika@hb.tp1.jp	2	中津第一歯科医院	508-0032 岐阜県中津川市栄町4-26	0573-66-1577	0573-66-1578
関東	関東	関東地区会会長	中野裕次 yujj_0603@nifty.com	6	なかの歯科医院	130-0011 東京都墨田区石原2-15-9 交楽堂ビル2F	03-3829-0008	03-3829-0008

## 学内・府県同窓会会長・評議員

地区会	府県	役 職	氏 名 E-Mail アドレス	期	勤 務 先	郵便番号・住 所	tel	fax
学 内		地区会会長・府県会長 (本部理事)	香 川 豊 宏 kagawat1@college.fdcnet.ac.jp	15	診断・全身管理学講座 画像診断学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
		評 議 員	都 築 尊 tsuzuki@college.fdcnet.ac.jp	18	咬合修復学講座 有床義歯学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	
		評 議 員	玉 置 幸 雄 tama@college.fdcnet.ac.jp	19	成長発達歯学講座 矯正歯科学分野	814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	
福 岡 県	福岡東	府 県 会 長 (本部副会長)	今 田 圭 二 imada_dental_office_buzen@yahoo.co.jp	21	歯科今田医院	828-0021 福岡県豊前市八屋2010-1	0979-82-5041	0979-82-5518
		評 議 員	中 尾 浩 子	5	中尾歯科医院	828-0021 福岡県豊前市八屋1677	0979-82-1828	0979-82-1828
		評 議 員	赤 川 大 五 郎	19	赤川歯科医院	824-0033 福岡県行橋市北泉5-10-2	0930-26-6480	0930-26-6555
	福岡西	地区会会長・府県 会長(本部副会長)	中 四 良 s-nakado@jf7.so-net.ne.jp	5	医)中歯科医院	814-0022 福岡県福岡市早良区原8-17-3	092-866-0418	092-866-0417
		評 議 員	日 高 英 治 mthidaka@io.ocn.ne.jp	5	日高歯科医院	811-3101 福岡県古賀市天神5-3-2	092-944-4156	092-944-4176
		評 議 員	西 原 浩 平	10	西原歯科医院	816-0832 福岡県春日市紅葉ヶ丘西3-32	092-582-2700	092-582-2700
		評 議 員	出 光 裕 紀	10	出光歯科クリニック	811-4146 福岡県宗像市赤間5-1-27	0940-35-6565	0940-35-6576
		評 議 員	粉 泰 生 hegishika@bridge.ocn.ne.jp	11	粉歯科医院	815-0041 福岡県福岡市南区野間1-9-26	092-541-0987	092-541-0987
		評 議 員	花 田 道 人	23	志摩歯科クリニック	819-1302 福岡県糸島市志摩町吉田23-1	092-327-5225	092-327-5226
	福岡南	府 県 会 長 (本部副会長)	岡 浩 司 okadentalclinic@topaz.plala.or.jp	7	岡歯科医院	830-0013 福岡県久留米市櫛原町124-8	0942-35-1184	0942-35-1190
		評 議 員	吉 田 亨 yoshida-agree@tau.bbiq.jp	11	医) Agree Dental office よしだ歯科	837-0906 福岡県大牟田市倉永35-3 西鉄倉永駅前	0944-58-4618	0944-58-4630
		評 議 員	野 田 慎 一 朗 nodadental1010@yahoo.co.jp	21	のた歯科・小児歯科	830-0422 福岡県三潴郡大木町高橋533-1	0944-75-9700	0944-75-9701
	福岡北	府 県 会 長 (本部副会長)	浅 尾 武 tekeado@yahoo.co.jp	10	浅尾歯科医院	803-0831 福岡県北九州市小倉北区日明2-15-7	093-561-3169	093-561-3169
		評 議 員	坂 口 佳 代 子 mckysk0503@yahoo.co.jp	14	坂口歯科医院	802-0038 福岡県北九州市小倉北区神幸町10-3	093-531-2660	093-531-2166
		評 議 員	安 本 勝 観 hibikino.dental@roval.ocn.ne.jp	17	ひびきのデンタルクリ ニック	808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの1-3	093-695-3168	093-695-3168
	佐 賀	府 県 会 長 (本部理事)	浦 嘉 訓 urayoshi@po.saganet.ne.jp	12	浦歯科医院	849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南4-1-29	0952-28-7070	0952-28-7078
		評 議 員	山 口 倫 仁 ryama@po.saganet.ne.jp	7	やまぐち歯科医院	840-0202 佐賀県佐賀市大和町久池井931-8	0952-62-4848	0952-62-3892
		評 議 員	田 邊 隆 tanabedc@festa.ocn.ne.jp	10	たなべ歯科医院	847-0056 佐賀県唐津市坊主町436-1	0955-73-7183	0955-75-2334
評 議 員		酒 井 正 男 ms-dental@b3.bunbun.ne.jp	14	酒井歯科医院	840-0811 佐賀県佐賀市大財5-11-30	0952-23-8417	0952-22-7938	
長 崎	府県会長・評議員	小 川 豊 久 toyohisa@ngs2.cncm.ne.jp	5	小川歯科医院	852-8061 長崎県長崎市滑石3-1-8-101	095-857-8010	095-855-3845	
	評 議 員	寺 崎 宏 terasaki@ngs2.cncm.ne.jp	5	寺崎歯科医院	852-8125 長崎県長崎市小峰町3-31	095-847-9232	095-844-9737	
	評 議 員	渡 邊 知 英 tomosika@ngs2.cncm.ne.jp	13	わたなべ TOMO 歯科医院	850-0832 長崎県長崎市油屋町1-2 MOTO ビル2F	095-820-8030	095-820-8030	
熊 本	府県会長・評議員	伊 藤 明 彦 akkunito@sa2.gyao.ne.jp	5	伊藤歯科医院	861-1112 熊本県合志市幾久富建山1909-1206	096-248-5688	096-274-5688	
	評 議 員	川 崙 俊 明 kawasaki@kd5.so-net.ne.jp	1	川崎歯科医院	860-0801 熊本県熊本市中央区安政町2-26	096-352-8008	096-352-8012	
	評 議 員	宇 治 寿 隆 uji-taka@helen.ocn.ne.jp	7	宇治歯科医院	862-0971 熊本県熊本市中央区大江4-2-65 グランパレット熊本1F	096-363-0145	096-364-5534	
	評 議 員	椿 賢 johzhan.tdc@festa.ocn.ne.jp	18	城山椿歯科クリニック	860-0068 熊本県熊本市西区上代4-11-10	096-312-5711	096-312-5712	
大 分	府県会長・評議員	長 尾 威	4	ながお歯科	870-0921 大分県大分市萩原3-1-15	097-556-8575	097-556-8575	
	評 議 員	上 田 源 smiley@hop.ocn.ne.jp	5	医)ウエダ歯科	874-0848 大分県別府市大畑6-1	0977-21-8855	0977-21-8820	
宮 崎	府県会長・評議員	黒 木 康 夫 yasuonet@iris.ocn.ne.jp	6	黒木康夫歯科医院	889-1201 宮崎県児湯郡都農町川北5351-2	0983-25-2021	0983-25-2024	
	評 議 員	陶 山 隆 suyama527@beach.ocn.ne.jp	6	陶山歯科医院	880-0023 宮崎県宮崎市和知川原2-6-1	0985-24-7774	0985-24-7825	

地区会	府県	役職	氏名 E-Mail アドレス	期	勤務先	郵便番号・住所	tel	fax
九州	鹿児島	府県会長・評議員	要 光 kaname55@jb3.so-net.ne.jp	11	かなめ歯科医院	890-0045 鹿児島県鹿児島市武1-43-12	099-252-9667	099-252-9557
		評議員	山之内 伸	1	山之内歯科医院	898-0015 鹿児島県枕崎市西本町58	0993-72-0477	0993-72-1198
九州	沖縄	地区会会長・府県会長 (本部副会長)	松 島 一 夫 dent0240@aol.com	8	まつしま歯科医院	904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-1-10	098-936-0648	098-936-0011
		評議員	城 間 吉 弘 shiroma@shiomashika.com	4	しろま歯科医院	901-2127 沖縄県浦添市屋富祖1-3-6	098-878-6121	098-873-1471
		評議員	幸 地 克 kouchi.katsu@amber.plala.or.jp	5	こうち歯科医院	904-0003 沖縄県沖縄市住吉1-2-26 2F	098-939-3454	098-939-3454
中国	山口	府県会長・評議員	佐々木 猛 dentsasaki@mx52.tiki.ne.jp	1	佐々木歯科医院	759-5331 山口県下関市豊北町神田1222-1	083-786-1818	083-786-1855
		評議員	児 玉 昭 彦 akodama@modha.ocn.ne.jp	5	児玉歯科	753-0011 山口県山口市宮野下3106-1	083-932-7800	083-932-7877
中国	広島	府県会長・評議員	村 上 誠 一 tomoaya525@gmail.com	7	村上歯科クリニック	739-0424 広島県廿日市市前空5丁目2-5	0829-50-6500	0829-50-6480
		評議員	今 井 正 人 imaide@imai-dental.com	6	いまい歯科医院	730-0043 広島県広島市中区富士見町12-7	082-241-6480	082-241-6480
中国	島根	府県会長・評議員	青 笹 之 夫 bluesasa@mx.miracle.ne.jp	2	青笹歯科医院	697-0033 島根県浜田市朝日町7-12	0855-23-0641	0855-23-0859
中国	岡山	府 県 会 長	石 川 拓 志 tomokun.suzu@n.vodafone.ne.jp	6	いしかわ歯科医院	709-3143 岡山県岡山市建部町宮地31-1	0867-22-2003	0867-22-2003
		評議員	平 滋 之 sanabomo@tv.ne.jp	4	ひら歯科医院	708-0884 岡山県津山市津山北378-4	0868-23-1212	0868-23-1213
四国	愛媛	府 県 会 長	窪 田 将 臣 masami@sky.plala.or.jp	1	窪田歯科医院	799-0101 愛媛県四国中央市川之江町2537-1	0896-58-2114	0896-58-2115
	高知	府 県 会 長	苧 坂 幸 一 ozaka@ninus.ocn.ne.jp	3	オザカ歯科診療所	781-0270 高知県高知市長浜5199-3	088-841-5340	088-841-5347
	香川	府 県 会 長	吉 田 良 二 yosi222@violin.ocn.ne.jp	5	吉田歯科医院	762-0023 香川県坂出市加茂町620-21	0877-48-3355	0877-48-3225
		評議員	平 田 昌 邦 dental-hirata.m@dune.ocn.ne.jp	14	平田歯科医院	763-0043 香川県丸亀市通町174-1	0877-22-2758	0877-22-1561
徳島	府 県 会 長	笠 井 真 一 kdc.2010@nifty.com	24	かさいデンタルクリニック	761-1701 香川県高松市香川町大野149-3	087-813-8217	087-813-8218	
近畿	大阪	府 県 会 長 (本部理事)	石 田 哲 也 idc4180@nike.eonet.ne.jp	9	石田歯科医院	583-0991 大阪府南河内郡太子町大字春日1726-1	0721-98-4180	0721-98-4401
		評議員	中 岡 俊 智 nakaoka@maido.zaq.jp	12	医) 謙信会 あおぞら歯科クリニック	572-0084 大阪府寝屋川市香里南之町27-30	072-835-2233	072-835-1414
	京都	府 県 会 長	葉 山 義 則 hayama-peace-2003.1.27@08.dion.ne.jp	6	葉山歯科医院	606-0852 京都府京都市左京区下鴨東梅ノ木町41-2	075-702-8788	075-702-8788
	兵庫	府 県 会 長	藤 田 忠 篤	2	フジタ歯科医院	651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通7-1-1 日本生命三宮駅前ビル4F	078-291-8855	078-291-8856
		地区会会長・ 評議員	八 木 隆 史	1	八木歯科医院	673-0552 兵庫県三木市志染町中自由ヶ丘2-411	0794-85-0882	0794-85-0882
	和歌山	府県会長・評議員	藤 田 知 則 t.fujita@viola.ocn.ne.jp	8	藤田歯科診療所	644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部835-4	0738-24-3948	0738-24-3948
	奈良	府 県 会 長	堀 内 志 厚	1	堀内歯科医院	632-0094 奈良県天理市前裁町119-21	0743-62-4836	0734-71-8718
	滋賀	府 県 会 長	野 村 信 人 nomura-shika@ric.hi-ho.ne.jp	5	野村歯科医院	522-0023 滋賀県彦根市原町180-28	0749-26-5183	0749-26-5183
中部	中部	地区会会長・ 府県会長・評議員	伊 藤 恒 一 daiichi-shika@hb.tp1.jp	2	中津第一歯科医院	508-0032 岐阜県中津川市栄町4-26	0573-66-1577	0573-66-1578
関東	関東	地区会会長・ 府県会長・評議員	中 野 裕 次 yuji_0603@nifty.com	6	なかの歯科医院	130-0011 東京都墨田区石原2-15-9 交楽堂ビル2F	03-3829-0008	03-3829-0008

# 会 務 報 告

自 平成28年 4月 1日  
至 平成29年 3月 31日

月日	曜日	詳 細	出 席 者	場 所
4/2	土	佐賀県同窓会総会	宮口会長	唐津市「綿屋」
4/7	木	平成27年度監査	白杵・原監事、馬場副会長、 持山専務、西原常務	同窓会事務局
4/8	金	入学式	宮口会長	本学園
4/16	土	福岡県北同窓会総会懇親会	武井・神田副会長	ホテルクラウンパレス北九州
4/19	火	法人理事会	宮口会長	本学園
5/7	土	平成28年度長崎県同窓会総会・学術講演会・懇親会	持山専務	ホテル JAL シティー長崎
5/8	日	12校会議	千原副会長	ホテルグランドパレス
5/15	日	平成28年度第1回理事会/学術委員会	本部役員	電気ビル「共創館」
5/21	土	アンチエイジングアワード授賞式・学会懇親会	枋常務理事	ホテルニューオータニ博多
5/25	水	法人理事・評議員・理事会/ガーデン研修会	宮口会長、武井・高嶺副会長、 高橋顧問	本学園
5/28	土	大阪府同窓会平成28年度定例総会	山村副会長	サウナニュージャパン
〃	〃	鹿児島県同窓会平成28年度福岡会総会・学術講演会	小柳常務	鹿児島県歯科医師会館/うおとり天文館
6/11	土	平成27年度地区会長会・定時評議員会・総会・特別講演会	本部役員/地区会長/評議員	ホテルガーデンパレス福岡
〃	〃	大分県同窓会総会	武井副会長	トキハ会館
6/12	日	同窓生対象オープンキャンパス	宮口会長、高嶺・馬場副会長、 劉常務、佐藤理事	本学園
〃	〃	西村まさみ時局講演会	宮口会長、高嶺副会長	日本歯科大学
6/18	土	関東同窓会総会・学術講演会	武井副会長	東武ホテルレバント東京
〃	〃	沖縄県同窓会総会	高嶺副会長	ザ・ナハテラス
6/23	木	法人理事会	宮口会長	本学園
〃	〃	2016年度臨床スキルアップセミナー「エンドアラカルト」	学術委員会	福岡県歯科医師会館
6/25	土	福岡県西同窓会総会	高嶺副会長	西鉄グランドホテル
6/28	火	第6学年激励会	小柳常務	本学園
7/2	土	第63回全国歯科大学同窓・校友会懇話会	宮口先生、高嶺副会長、 持山専務、要鹿児島県同窓会長	鹿児島県観光ホテル
7/9	土	山口県同窓会長州歯会総会・学術講演会	岩本副会長	セントコア山口
〃	〃	福岡県南同窓会総会・学術講演会	宮口会長	久留米歯科医師会館
7/11	月	第2回学術委員会	学術委員会	福岡市歯科医師会館
7/19	火	法人理事会	宮口会長	本学園
7/27	水	本学園開学記念式典・記念講演	宮口会長、井手・武井副会長	本学園
8/20	土	第32回全国歯科大学同窓・校友会学術担当者連絡会	岩本副会長、枋・葛西常務	ホテルラングウッド新潟

8/21	日	広島県同窓会学術講演会		ホテルグランピア広島
8/25	木	2016年度臨床スキルアップセミナー「CAD/CAM」	学術委員会	福岡県歯科医師会館
8/27	土	第18回四国地区同窓会総会・懇親会	宮口会長、持山専務	ホテル日航旭ロイヤル
9/3	土	三大学歯学部同窓会連絡協議会・懇談会	宮口会長、武井・神田副会長、持山専務、石本常務	博多割烹「かじ」
9/10	土	平成28年度宮崎県同窓会総会・学術講演会・懇親会	岩本副会長	宮崎県歯科医師会館
〃	〃	近畿ブロック学術講演会、大阪府同窓会20周年記念学術講演会・懇親会	宮口会長、高嶺・馬場・野口副会長、持山専務	ホテル阪神
〃	〃	ヨット部OB会40周年記念祝賀会	勝俣副会長	西鉄グランドホテル
9/11	日	明海大学歯学部同窓会創立40周年記念事業	千原・武井副会長	グランドプリンス新高輪
9/12	月	第3回学術委員会		福岡市歯科医師会館
9/17	土	佐賀県同窓会学術講演会	小柳常務、浦・田代理事	ホテルニューオータニ佐賀
9/22	木・祝	12校会議並びに時局講演会	宮口会長、持山専務、山下関東同窓会理事・坂口関東同窓会監事	ホテルグランドパレス
9/23	金	法人理事・評議員・理事会	宮口会長、武井・高嶺副会長、高橋顧問	本学園
〃	〃	学内同窓会総会	宮口会長、武井・高嶺副会長、高橋顧問	本学園
9/24	土	九州歯科大学福岡県同窓会福岡支部レクレーション	宮口会長、勝俣・武井副会長、持山専務	グランドハイアット福岡
10/13	木	福岡歯科大学献体者慰霊祭	持山専務	萬行寺
10/20	木	第23回日本歯科医学会総会開会式並びに会頭招宴	宮口会長、高嶺副会長他役員	福岡国際会議場/ホテル日航福岡
10/21	金	第23回日本歯科医学大会総会/第69回九州歯科医学大会	〃	福岡国際会議場、福岡サンパレス
10/22	土	第23回日本歯科医学大会総会/第69回九州歯科医学大会福岡歯科大学懇親会	〃	西鉄グランドホテル
〃	〃	第13期卒業25周年記念同窓会懇親会		
〃	〃	日本歯科大学創立110周年全国校友大会「創立者中原市五郎先生 誕生150年」記念式典・記念講演・記念祝賀会	千原副会長	帝国ホテル
10/27	木	2016年度臨床スキルアップセミナー「低侵襲の歯科治療」	学術委員会	福岡県歯科医師会館
11/5	土	兵庫県同窓会学術講演会		第一楼
11/7	月	第4回学術委員会	学術委員会	福岡市歯科医師会館
11/12	土	徳島大学歯学部創立40周年及び同窓会25周年記念式典・祝賀会	宮口会長、野口副会長、持山専務	ホテルクレメント徳島
11/15	火	法人理事・評議員・理事会	宮口会長、武井・高嶺副会長、高橋顧問	本学園
11/18	金	長崎県人会	宮口会長	西鉄グランドホテル
11/20	日	中国地区学術講演会・懇親会	西谷副会長	リーガロイヤルホテル広島
11/26	土	水田祥代理事長祝賀会	本部役員/地区会長	西鉄グランドホテル
11/27	日	第7回 ICOI Fellowship 養成コース(1)	岩本副会長、枡常務	本学園
11/30	水	第6学年激励会	中副会長	本学園

12/3	土	九州歯科大学福岡県同窓会福岡支部忘年懇親会	勝俣・岩本・中副会長	稚加栄
12/4	日	第4回 JUC 発表会	岩本副会長	電気ビル共創館
12/11	日	第7回 ICOI Fellowship 養成コース(2)	枋常務	本学園
12/18	日	第43回福岡歯科大学学会総会・学術大会	岩本副会長	本学園
12/20	火	法人理事会	宮口会長	本学園
1/14	土	佐賀県同窓会新年会	神田副会長	ホテルマリターレ創世
1/16	月	第5回学術委員会	学術委員会	福岡市歯科医師会
1/19	木	法人理事会	宮口会長	本学園
1/22	日	東京医科歯科大学歯科同窓会新年名刺交換会	武井副会長	ホテルメトロポリタン
1/27	金	学内同窓会新年会	宮口会長、勝俣副会長、持山専務	R-Styl
1/28	土	平成29年大阿蘇会新年会	宮口会長	熊本ホテルキャッスル
〃	〃	福岡県西同窓会支部長会・福岡県地区会並びに神田晋爾先生福岡市歯科医師会会長選事務所開き懇親会	宮口会長、勝俣・武井・岩本・高嶺副会長、持山専務、梶谷顧問	日新ビル
1/29	日	第7回 ICOI Fellowship 養成コース(3)	枋常務	本学園
〃	〃	第33回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会第2回準備会	岩本副会長、枋・葛西常務、重松理事	福岡県歯科医師会館
2/5	日	日本大学松戸歯学部40周年記念式典・記念講演会・祝賀会	宮口会長、持山専務	東京ドームホテル
〃	〃	第34回臨床セミナー「デジタルデンティスとリーと今と未来を体験する」	学術委員会	本学医科歯科総合病院
2/8	水	福岡県北同窓会と慶熙大学学生との親睦会	尾崎顧問	旬工房 くら
2/21	火	法人理事会	宮口会長	
2/25	土	福岡歯科大学12回生同窓会	武井副会長	ANA クラウンプラザ熊本
2/26	日	第7回 ICOI Fellowship 養成コース(4)		口腔医療センター
3/2	木	三大学同窓会との意見交換会	岩本・馬場副会長	福岡県歯科医師会
3/5	日	第30回学術講演会	学術委員会	福岡県歯科医師会館
3/11	土	九州5大学歯学部同窓会連絡協議会・懇親会(長崎大学)	宮口会長、持山専務、小柳常務、小川長崎県同窓会長	長崎県歯科医師会館
〃	〃	第39回卒業式/謝恩会	宮口会長、勝俣副会長	本学園/ホテルニューオータニ博多
3/12	日	第7回 ICOI Fellowship 養成コース(5)	岩本副会長	本学園
3/18	土	中国ブロック会議	西谷副会長	広島グランヴィアホテル
〃	〃	日本歯科大学・大阪歯科大学・福岡歯科大学・九州歯科大学各同窓会懇談会・懇親会	宮口会長、神田・高嶺副会長、持山専務、稲井常務	稚加栄
3/19	日	12校会議	宮口会長、持山専務	ホテルグランドパレス
3/21	火	福岡歯科大医科歯科総合病院臨床研修医修了祝賀会	宮口会長	マリノアシティホテル
3/24	金	法人理事・評議員・理事会/懇親会	宮口会長、武井・高嶺副会長、高橋顧問	本学園

一般会計

平成28年度 福岡歯科大学同窓会会計収支決算書

自 平成28年4月1日  
至 平成29年3月31日

単位：円

収入の部

款	項	科 目	予 算 額	決 算 額	予算との差額	執 行 率	備 考
1		会費・入会金	25,500,000	25,470,000	-30,000	99.9%	
	1	会員	23,000,000	23,820,000	820,000	103.6%	会費及び入会金
	2	準会員	2,500,000	1,650,000	-850,000	66.0%	入会金
2		学術	1,730,000	1,415,000	-315,000	81.8%	
	1	講演会	960,000	825,000	-135,000	85.9%	第30回学術講演会受講料・企業出展料
	2	臨床セミナー	280,000	68,000	-212,000	24.3%	第34回臨床セミナー
	3	スキルアップセミナー	490,000	522,000	32,000	106.5%	2016年度スキルアップセミナー
3		雑収入	1,001,000	1,080,684	79,684	108.0%	
	1	預金利息	1,000	684	-316	68.4%	一般会計分利息
	2	広告料	800,000	820,000	20,000	102.5%	同窓会誌広告
	3	その他	200,000	260,000	60,000	130.0%	祝儀、同封手数料、3大学会費
		小 計	28,231,000	27,965,684	-265,316	99.1%	
4		繰入金収入	0	0	0		
	1	繰入金収入	0	0	0		
5		前年度繰越金	7,205,607	7,205,607	0		
	1	前年度繰越金	7,205,607	7,205,607	0		
		合 計	35,436,607	35,171,291	-265,316	99.3%	

支出の部

款	項	科 目	予 算 額	決 算 額	予算との差額	執 行 率	備 考
1		人件費	3,730,000	3,576,019	153,981	95.9%	
	1	人件費	3,730,000	3,576,019	153,981	95.9%	
2		通信費	910,000	857,505	52,495	94.2%	
	1	通信費	910,000	857,505	52,495	94.2%	
3		事務費	700,000	603,805	96,195	86.3%	
	1	事務費	700,000	603,805	96,195	86.3%	
4		連絡会議費	3,200,000	2,987,936	212,064	93.4%	理事会・評議員会・総会・監査
	1	連絡会議費	3,200,000	2,987,936	212,064	93.4%	
5		広報印刷費	2,070,000	2,105,920	-35,920	101.7%	
	1	広報印刷費	2,070,000	2,105,920	-35,920	101.7%	
6		慶弔費	1,380,000	227,120	1,152,880	16.5%	
	1	慶弔費	1,380,000	227,120	1,152,880	16.5%	
7		学術費	2,350,000	2,282,931	67,069	97.1%	第30回学術講演会、第34回臨床セミナー、スキルアップセミナー
	1	学術費	2,350,000	2,282,931	67,069	97.1%	
8		渉内費	4,800,000	4,041,840	758,160	84.2%	
	1	渉内費	4,800,000	4,041,840	758,160	84.2%	
9		渉外費	5,750,000	5,246,701	503,299	91.2%	
	1	渉外費	5,750,000	5,246,701	503,299	91.2%	
10		雑費	100,000	15,151	84,849	15.2%	
	1	雑費	100,000	15,151	84,849	15.2%	
11		予備費	2,000,000	0	2,000,000	—	
	1	予備費	2,000,000	0	2,000,000	—	
12		積立金	4,500,000	4,500,000	0	100.0%	
	1	名簿積立金	600,000	600,000	0	100.0%	
	2	退職金積立金	200,000	200,000	0	100.0%	
	3	備品積立金	200,000	200,000	0	100.0%	
	4	周年記念準備基金	1,000,000	1,000,000	0	100.0%	同窓会記念事業の積立金
	5	学園改修等協力積立金	2,500,000	2,500,000	0	100.0%	学園施設改修等・事業協力基金
		小 計	31,490,000	26,444,928	5,045,072	84.0%	
13		次年度繰越金	3,946,607	8,726,363	-4,779,756	221.1%	
	1	次年度繰越金	3,946,607	8,726,363	-4,779,756		平成29年度繰越金
		合 計	35,436,607	35,171,291	265,316	99.3%	

## 平成28年度積立金会計収支決算書

自 平成28年4月1日  
至 平成29年3月31日

単位：円

退職金積立金	
過年度積立金	4,549,617
本年度積立金	200,000
利息（西日本シティ/野芥）	88
合 計	4,749,705

名簿積立金	
過年度積立金	1,625,977
本年度積立金	600,000
利息（西日本シティ/原）	32
合 計	2,226,009

周年記念準備基金			
収 入		支 出	
過年度積立金	7,108,175	残高証明書	324
本年度積立金	1,000,000		
利息（西日本シティ/野芥）	129	合 計	324
合 計	8,108,304	次年度繰越金	8,107,980

学園改修等協力金			
過年度積立金	26,255,298	残高証明書・通知票再発行手数料	102
本年度積立金	2,500,000	看護大学開学記念寄贈グランドピアノ	1,900,000
利息（ゆうちょ銀行/通常貯金）	113	郵便振替再発行手数料	514
利息（ゆうちょ銀行/定額貯金）	33,237		
利息（ゆうちょ銀行/定額貯金）	7	合 計	1,900,616
合 計	28,788,655	次年度繰越金	26,888,039

備品積立金			
過年度積立金	1,577,804	冷蔵庫購入	75,384
本年度積立金	200,000	冷蔵庫リサイクル・運搬料	4,752
利息（西日本シティ/野芥）	30	扇風機購入	5,378
		合 計	85,514
合 計	1,777,834	次年度繰越金	1,692,320

基本財産積立金	
過年度積立金	58,887,424
計上利息（普通・定期預金利息90%）	6,156
合 計	58,893,580

特別会計

平成28年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業収支決算

(平成28年度 福岡歯科大学同窓会共催 第7回 ICOI Fellowship 養成コース)

自 平成28年4月1日  
至 平成29年3月31日

単位：円

収入の部

款	項	科 目	予 算 額	決 算 額	予算との差額	備 考
1		参加費	5,000,000	4,000,000	-1,000,000	
	1	参加費	5,000,000	4,000,000		第7回参加費
2		雑収入	1,000	42	-958	
	1	雑収入	1,000	42		預金利息
小 計			5,001,000	4,000,042	-1,000,958	
3		繰入金	1,758,935	1,758,935		前期繰越金
	1	繰入金	1,758,935	1,758,935		
小 計			1,758,935	1,758,935	0	
収入合計			6,759,935	5,758,977	-1,000,958	

支出の部

款	項	科 目	予 算 額	決 算 額	予算との差額	備 考
1		人件費	1,100,000	450,000	-650,000	
	1	人件費	1,100,000	450,000		医局員アシスタント・手伝い
2		通信費	200,000	100,000	-100,000	
	1	通信費	200,000	100,000		郵送料等（一般会計より振替）
3		会場費	50,000	27,000	-23,000	
	1	会場費	50,000	27,000		口腔医療センター
4		講演費	3,600,000	2,732,334	-867,666	
	1	講師料	2,000,000	1,536,400	-463,600	講師・インストラクター礼金、交通費・宿泊代
	2	材料費	1,300,000	971,104	-328,896	材料・機材費
	3	昼食費	200,000	92,494	-107,506	弁当
	4	印刷費	60,000	59,724	-276	案内パンフレット印刷費
	5	その他	40,000	72,612	32,612	患者様礼金・講師との懇親会費等
5		事務費	500,000	0	-500,000	
	1	事務費	500,000	0		ICOI 本部手数料なし
6		会議費	600,000	489,098	-110,902	
	1	会議費	600,000	489,098		ICOI 会議への出張費
7		雑費	50,000	70,507	20,507	
	1	雑費	50,000	70,507		雑貨、消耗品
8		予備費	258,935	0	-258,935	
	1	予備費	258,935	0		
9		学会関連費	0	543,582	543,582	
	1	学会関連費	0	543,582		学会関連関係（他の学会交通費・英文翻訳・校正代など）
10		大学関連費	400,000	37,562	-362,438	
	1	大学関連費	400,000	37,562		大学関係費
小 計			6,758,935	4,450,083	-2,308,852	
9		繰越金	1,000	1,308,894	1,307,894	次年度繰越
	1	繰越金	1,000	1,308,894		
支出合計			6,759,935	5,758,977	-1,000,958	

# 福岡歯科大学同窓会会則

## 第1章 総 則

### 第1条 名 称

本会は、福岡歯科大学同窓会と称する。

### 第2条 組 織

1. 本会は、福岡歯科大学（大学院を含む）を卒業（修了）した者及び福岡歯科大学在校生で組織する。
2. 本会は、各地区、学校法人福岡学園勤務の同窓との連携を計り、会務運営の円滑を期待するために地区会、学内同窓会を置くことができる。
3. 地区会の区割り及び学内同窓会、その他必要な事項については別に規則を定める。

### 第3条 目 的

本会は歯科界、並びに母校の発展に寄与し、併せて会員の福祉及び会員相互の親睦を図ることを目的とする。

### 第4条 事 業

本会は、第1章第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 母校の発展に関すること。
2. 会員の福祉増進及び親睦に関すること。
3. 歯科医学の向上に関すること。
4. その他本会の目的に関すること。

### 第5条 事務局

本会は事務局を福岡市早良区田村2丁目15-1福岡歯科大学内に置く。

## 第2章 会 員

### 第6条 会 員

本会は次の会員を以って組織する。

1. 正会員 福岡歯科大学（大学院を含む）卒業（修了）者で、第2章第7条第1項を満足するものとする。
2. 準会員 福岡歯科大学在校生。

### 第7条 会員の権利と義務

1. 会員は居住、又は就業する地域の地区会都道府県同窓会に所属することを原則とする（但

し、学内同窓会に所属する会員は、この限りではない）。

2. 会員は本会の主催する事業に参加し、本会の発行する機関誌及び印刷物の頒布を受け、若しくは購入することができる。
3. 会員は総会に出席し、意見を述べることができる。
4. 会員は、総会並びに評議員会の決定事項を遵守する義務を有する。
5. 会員は、住所を異動した場合、所属の都道府県同窓会を経由して本会に届け出なければならない。
6. 会員が死亡又は除名されたときは、本会会員の身分を失ったものとする。
7. 会員が本会を退会するときは、その旨を記載した書面を本会に提出しなければならない。
8. 正会員は、総会において議事を審議し、議決権を有する。また役員になることができる。
9. 準会員は、本校在学者とし、正会員としての権能は有しない。

## 第3章 名誉会長・名誉会員・

### 特別会員・臨床研修会員

### 第8条 名誉会長・名誉会員・特別会員・臨床研修会員

本会に名誉会長、名誉会員、特別会員、臨床研修会員を置くことができる。また、前項の会員は、本会の研修会等に出席し学術研究を発表し、あるいは本会の会誌及び刊行物の配布を受けまたは購入することができる。本条の会員は前項のほか、正会員の権利を有しない。但し、本会員の正会員で名誉会員に推薦された者はこの限りではない。

1. 名誉会長は、理事会の議決を経て会長が推薦する。任期は、会長の在任期間とする。
2. 名誉会員は、母校並びに本会に対して特に功労があった者を評議員会の議決を経て会長が推薦する。

3. 特別会員は、退職した母校の教授、または母校並びに本会に対して特に功労があった者を理事会の議決を経て会長が推薦する。
4. 臨床研修会員は、他大学卒業の歯科医師法に定める臨床研修歯科医師で、本学で臨床研修を行っている者を会長が推薦する。また、会員の資格は臨床研修の期間とする。

## 第4章 会費及び負担金

### 第9条 会費及び負担金

1. 会員は本会所定の入会金、会費、及び負担金を本会へ納入しなければならない。
2. 入会金、会費及び負担金の額ならびに支払いの方法は、総会で決める。

### 第10条 会費の減免

本会の会員にして長期疾病及び災害等により本会所定の会費の支払いが極めて困難な者は、支部の申請に基づき理事会の議を経て、復帰するまでの期間を前提として会費を減免、またはその納入を猶予することができる。

### 第11条 会費の返還

本会に納入された入会金、年会費及び負担金はいかなる理由があっても返還しない。

### 第12条 負担金その他

本会は、評議員会、総会の承認を経て負担金を徴収することができる。

## 第5章 役員

### 第13条 役員の種類と定数

本会に次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 若干名
3. 理事 若干名
4. 監事 3名以内

### 第14条 役員を選出

1. 会長、監事は選挙規則に従い、評議員会において正会員の中から選出する。但し、監事は他役員を兼任できない。
2. 副会長、理事、委員は会長が指名する。
3. 理事の内、1名を専務理事、若干名を常務理事とする。

### 第15条 役員の仕事

1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 会長は総会、評議員会、理事会、委員会、地区会長会議を招集する。
3. 会長は、理事会の決議を要する事柄でありながら、緊急必要事項については専決することができる。但し、後日理事会へ報告しなければならない。
4. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時または欠けた時は会長の職務を代行する。
5. 専務理事は、会長の旨を受け会務を掌理し、会長及び副会長共に事故ある時または欠けた時はその職務を代行する。
6. 常務理事は、会長の旨を受けその担当業務を掌理して専務理事を補佐する。
7. 各前号に定める以外の理事は、会長の旨を受けて会務を分掌して会長を補佐する。
8. 監事は本会の業務と会計を監査し、評議員会、総会に報告しなければならない。

### 第16条 役員任期

1. 会長、監事及び役員、委員の任期を2年とする。但し、再任を妨げない。
2. 役員は任期満了後も、後任が選出されるまでは、その職務を行う。

### 第17条 役員補充

副会長、理事の欠員が生じた時は、本会会則5章第14条に従い補充することができる。その任期は前任者の残留任期とする。

### 第18条 顧問

本会は、顧問を置くことができる。顧問は会長が推薦し委嘱する。顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。

## 第6章 評議員

### 第19条 評議員

1. 本会に評議員を置く。
2. 評議員は第13条で規定する役員と兼ねることができない。

### 第20条 選任等

1. 評議員は正会員で地区会、学内同窓会より選出される。

2. 評議員の選任数は、地区会、学内同窓会における1月末日現在の本会会員50名までに対して1名、50名を超える場合は、50名までごとに1名の割合で加えた数の評議員を上限として選出するものとする。
3. 地区会、学内同窓会は評議員に変更がある場合は、速やかに本会に報告しなければならない。
4. 評議員の任期は2年とし、選任された年の4月1日に始まる。

#### 第21条 職務及び権能

1. 評議員は評議員会に出席し、地区会、学内同窓会の同窓会会員の意見を反映させると共に、その決定事項を地区会、学内同窓会の同窓会会員に報告しなければならない。
2. 評議員は、評議員会で会則その他の規定で定められていることを審議し、又は、本会の目的、事業について意見を述べることができる。

#### 第22条 職務代理及び代行

評議員に事故ある時または欠けた時は、当該地区より評議員会の議長宛に委任状を提出するか、または当該地区より代理人は書面をもって指定し届ける事とする。代理人は、評議員と同等の権利と義務を有する。

## 第7章 会 議

#### 第23条 会議の種類

1. 本会の会議は、総会・評議員会・常務理事会・理事会・委員会・地区会会長会議とする。但し、会長は必要に応じ会議を開催することができる。
2. 評議員会を本会の最高議決会議とする。

## 第8章 総 会

#### 第24条 構成・種別及び開催等

1. 総会は正会員を以って構成し、議決、報告及び承認する。
2. 総会は定時総会と臨時総会とする。
3. 定時総会は毎年1回原則として5月に開催する。
4. 臨時総会は、会長が必要と認めた場合に開催

する。

#### 第25条 招 集

1. 評議員の3分の2以上又は監事から、臨時総会の招集の要求があった場合は、会長はできるだけ早く臨時総会を招集しなければならない。
2. 会長は総会を招集しようとする時は、事前に日時、場所及び会議の目的を示した書面を以って会員に知らせなければならない。

#### 第26条 総会の権能

総会では、次の事項を承認又は議決し会員へ報告しなければならない。

1. 評議員会の決議承認事項
2. 会務全般にわたる事項
3. その他、総会において必要と認めた事項

#### 第27条 議長及び副議長

総会の議長及び副議長は出席正会員の中から選出する。

#### 第28条 委任規定

議事規則は、別に定める。

## 第9章 評 議員 会

#### 第29条 構成・種別及び召集

評議員会は評議員を以って構成する決議機関である。

1. 評議員会は定時評議員会と臨時評議員会とする。
2. 定時評議員会は総会開催前に会長が招集する。
3. 臨時評議員会は会長が必要と認めた時、あるいは全評議員の4分の1以上の要求があった時に招集する。
4. 評議員会は、委任状を含む全評議員の3分の2以上の出席で成立する。

#### 第30条 意見陳述

役員は評議員会に出席して意見を述べるができるが、表決に加わることはできない。

#### 第31条 評議員会の権能と総会への上程

評議員会では次の事項を行い承認又は議決を経てこれを総会へ上程する。

1. 会則及び諸規則改正の審議
2. 会長選出

3. 前年度会計報告の審議並びに承認
4. 前年度会務及び事業報告の審議並びに承認
5. 新年度予算案の審議並びに承認
6. 役員の承認
7. 入会金、会費及び負担金の金額並びに徴収方法の決定
8. 本会の目標達成に必要な事業で経費を要するものの承認
9. その他の必要と認める事項

#### 第32条 議長及び副議長

評議員会の議長及び副議長は評議員で互選する。

#### 第33条 委任規定

議事規則は別に定める。

### 第10章 常務理事会

#### 第34条 常務理事会の構成

常務理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事を以って構成し会長が随時必要な場合にこれを招集する。

#### 第35条 権能

常務理事会は、常務会務並びに緊急を要する会務に関することを執行する機関であり、会長がこれを招集する。

1. 常務理事会で処理した事項は、理事会に報告しなければならない。

### 第11章 理事会

#### 第36条 理事会の構成及び招集

1. 理事会は、本会の会務全般を執行する機関であり、会長がこれを招集する。
2. 理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事、理事、委員を以って構成し、会長が随時必要な場合にこれを招集する。

#### 第37条 理事会の権能

理事会は本会の業務に必要な事項の審議を行う。

1. 総会及び評議員会の招集に関する事項とこれに付議する事項
2. 会費の減免に関する事項
3. その他本会の運営業務執行に関する事項

#### 第38条 監事の権能

監事は随時出席して意見を述べることができるが表決に加わることはできない。

### 第12章 委員会

#### 第39条 委員会

1. 会長は、必要に応じて理事会の同意を得て、委員会を置くことができる。
2. 委員会は、理事会の議を経て会長が委嘱した委員で構成する。
3. 委員会の種類、構成、活動は必要に応じ理事会で決定する。
4. 会長は随時必要な場合にこれを招集することができる。

#### 第40条 委員会の事業

委員会は、会務処理の円滑を図るため次の事業部を置き、常務理事が各委員会を統括する。

1. 総務
2. 福祉厚生
3. 組織
4. 広報
5. 学術
6. 企画・情報
7. 会計

#### 第41条 臨時委員会

1. 会長は、特別な行事及び重要な問題が生じた時に理事会の承認を経て臨時委員会を設置することができる。
2. 会長が委員長を指名し、会長及び委員長が必要に応じ委員を選任する。

#### 第42条 特別委員会

1. 会長は、特別な行事及び重要な問題が生じたときに評議員会の承認を経て特別委員会を設置することができる。
2. 会長が委員長を指名し、会長及び委員長が必要に応じ委員を選任する。

### 第13章 地区会会長会議

#### 第43条 地区会会長会議

本会議は、会長が必要と認めたとき随時開催することができる。

## 第14章 選挙管理委員会

### 第44条 選挙管理委員会

1. 本会に選挙管理委員会を置く。
2. 選挙管理委員会は、選挙管理委員をもって組織する。
3. 選挙管理委員会の構成及び任務その他必要なことは、選挙規則で定める。

## 第15章 会計及び財産

### 第45条 会計年度

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### 第46条 財産の構成

本会の財産は、次にあげるものをもって構成する。

1. 入会金
2. 年会費
3. 寄付金
4. 前年度の繰越金
5. その他の収入

### 第47条 財産の管理

本会の財産は、会長が代表としてこれを管理し、毎年その状況を評議員会、総会で報告しなければならない。

### 第48条 経費の支弁

本会の経費は、財産をもって支弁する。

### 第49条 委任規定

本規則に定める以外の財産の管理及び会計に関する規則は別に定める。

## 第16章 賞 罰

### 第50条 表彰

会員で本会に功労のあった者、及び医療界に貢献した者は、評議員会の議決によって表彰することができる。

### 第51条 処罰

会員で本会の目的趣旨に反し、またはその体面を汚したものは総会の議決によって適当な処置を講ずる。

## 第17章 会則の改正

### 第52条 会則の改正

本会則の改正には、評議員会及び総会において出席者の3分の2の賛成を以って議決されることを要する。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成20年5月24日から施行する。
3. この規則は平成23年5月28日から施行する。
4. この規則は平成26年4月1日から施行する。
5. この規則は平成29年5月27日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会地区会設置規則

第1条 本規則は本会会則第1章第2条第3項により定める。

1. 地区会は、地区会会長を選出できる。
2. 地区会に都道府県同窓会を置くことができる。

第2条 地区会の目的

1. 会務運営の円滑を期するため地区会を置く。
2. 地区会は当該地域内の都道府県同窓会、本部同窓会及び母校の発展に関する協議を行う機関とする。

第3条 地区会、都道府県同窓会の設置

各地区においては下記のように7地区（ブロック）に分割し地区の中に都道府県同窓会を置く。但し、福岡県に限っては4分割設置し、関東地区においてはこの限りでない。

福岡県地区会

（福岡県東、福岡県西、福岡県南、福岡県北）  
同窓会

九州地区会

（長崎県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、  
鹿児島県、沖縄県）同窓会

中国地区会

（山口県、広島県、島根県、鳥取県、岡山県）  
同窓会

四国地区会

（愛媛県、高知県、香川県、徳島県）同窓会

近畿地区会

（兵庫県、大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、  
和歌山県）同窓会

中部地区会

（福井県、岐阜県、愛知県、三重県、石川県、  
富山県、長野県、静岡県）同窓会

関東地区会

（関東以北の都道府県を含む）

第4条 地区会の任務

1. 地区会は評議員を選出する。
2. 地区会は次の事項を本会に届けなければならない。

（1）役員の名簿

（2）会員の異動

（3）会員の死亡、若しくは不慮の災害が生じた  
場合

第5条 地区会会長

地区会会長は、地区会から選出し、本部長が指名する。

地区会会長は地区会を代表して次の任務を行う。

1. 地区会会長は地区の同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 地区会会長は本部との連絡を密にし、地区会の決定事項、実施した事項及び本会本部に対する要望事項、その他必要な事項を本部長に報告しなければならない

第6条 都道府県同窓会会長

都道府県同窓会会長は、都道府県同窓会会員から選出し、本部長が指名する。

都道府県同窓会会長は都道府県同窓会を代表して次の任務を行う。

1. 都道府県同窓会会長は都道府県同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 都道府県同窓会会長は地区会、本部との連絡を密にし、都道府県同窓会の決定事項、実施した事項及び地区会、本部に対する要望事項、その他必要な事項を地区会会長に報告しなければならない。

第7条 会議

1. 地区会会長は、必要に応じて会議を開催することができる。
2. 地区会会長は、会議に本部役員の出席が必要な場合、必要な役員を招聘することができる。
3. 近隣の地区会との協議が必要な場合は、合同で開催することができる。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成20年5月24日から施行する。
3. この規則は平成26年4月1日から施行する。
4. この規則は平成28年6月11日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会学内同窓会規則

第1条 本規則は本会会則第1章第2条第3項により定める。

1. 学内同窓会は、学内同窓会会長を選出することができる。

第2条 組織

1. 学内同窓会は、福岡歯科大学（大学院を含む）を卒業（修了）したもの、準会員及び学内勤務会員で組織する。

第3条 学内同窓会の目的

1. 会務運営の円滑を期するため学内同窓会を置く。
2. 学内同窓会は、本部同窓会及び母校の発展に関する協議を行う。

第4条 学内同窓会の任務

1. 学内同窓会は評議員を選出する
2. 学内同窓会は次の事項を本会に届けなければならない。
  - (1) 会員の名簿
  - (2) 会員の異動
  - (3) 会員の死亡、若しくは不慮の災害が生じた場合

第5条 会員

学内同窓会正会員

本会正会員で学校法人福岡学園勤務の者。

準会員

本会の準会員

第6条 学内勤務会員

学校法人福岡学園に5年以上勤務で、学内同窓会会長が推薦し本部理事会の議決を得て、会長が指名した者で、会費は正会員に準ずる。但し、正会員としての権能を有しない。

第7条 学内同窓会会長

学内同窓会会長は、学内同窓会会員から選出し本部の会長が指名する。学内同窓会会長は学内同窓会を代表して次の任務を行う。

1. 学内同窓会会長は学内同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 学内同窓会会長は本部との連絡を密にし、学内同窓会の決定事項、実施した事項及び本会に対する要望事項、その他必要な事項を本部会長に報告しなければならない。

〔附 則〕

1. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会総会議事規則

## 第1章 会議の開閉

第1条 この規則は、本会会則第8章第28条に基づいて定めるものとする。

第2条 議事日程に記載した事項の議事が終わったときは、議長は散会を宣告する。会議を終わらない場合でも、議長は、過半数の賛成を得て延会又は散会をすることができる。

第3条 議長が会議を宣告する前、又は散会若しくは延会を宣告した後は、何人も議事について発言することはできない。

第4条 議事日程には、会議の日時及び会議に付する事項並びにその順序を記載しなければならない。

## 第2章 議 事

### 第1節 審 議

第5条

1. 審議中発言せんとする会員は、手を挙げ議長の許しを得て発言しなければならない。
2. 二人以上発言を求めたときは、議長はその発言の順序を決めることを要する。

第6条 すべての問答は、議長に向かってしなければならない。

第7条 一議案の審議中は、他の議案について発言することはできない。

第8条 発言は、個人の事柄にわたってはならない。

第9条

1. 会員が発議しようとするときは、その理由を付し、建議を添え、5人以上の賛成者とともに連署して会議の2週間前までに会長に提出しなければならない。
2. 動議は、5人以上の賛成者を得て提出することができる。
3. 議長は、第1項・第2項に規定する発議及び動議について議場に諮り、出席者の過半数の賛成を得た場合、これを議題とすることができる。

### 第2節 決 議

第10条 出席者は特別の理由がない限り、可否いずれかの数に加わらなければならない。

第11条 議長表決をとるときは、表決に附する事項を明らかにしなければならない。議長表決に附する事項を宣言した後は、何人も議案について発言することはできない。

第12条 賛否は出席者の過半数で決める。賛否を決める方法は、議長が適宜決める。賛否が同数のときは議長が決める。

第13条 修正案は、原案より先に賛否を決めなければならない。同一の議案について数個の修正案が提出された場合は議長が採決の順序を決める。その順序は、原案に最も遠いものから先に採決する。

第14条 修正案が全部否決されたときは、原案について賛否を決める。

第15条 修正案及び原案が共に過半数の賛成を得なかった場合は、委員会を設置して更に修正案を提出させることができる。

第16条 議決の条項中、字句の整理を議長に委任することができる。

第17条 討論終結及び散会、休憩の合議は、討論を用いなくて議長が決める。

第18条 議長は、議事を妨げると認めるものがあるときは、退場を命ずることができる。

第19条 議長は、議事整理のためやむを得ないときは出席者の発言を止め又は中止することができる。

## 第3章 議 事 録

第20条 議事録には次の事項を記載する。

1. 総会の名称と開会の年月日時
2. 出席者の氏名
3. 会議に附した議案の題目
4. 議題となった動議及び発議者の氏名
5. 議決事項
6. 賛否の数を計算したときはその数
7. 議長において必要と認めた事項

第21条 議事録は、議長の指名した会員2人がこれに署名捺印しこれを本会に保管する。

### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会評議員会議事規則

## 第1章 総 則

### 第1条 趣 旨

この規則は、本会会則第9章第33条に基づいて定めるものとする。

### 第2条 氏名点呼

開議の時刻に至るときは、執行部はその席に着き、出席評議員の氏名を点呼する。

### 第3条 会議の開閉

1. 議長は、前条による氏名点呼の結果、定足数に達していることを確認したときは、開会を宣言する。
2. 会議の閉会は議長が宣言する。

### 第4条 欠席の届出

1. 評議員が欠席しようとするときは、予め議長に委任状と共に届けなければならない。
2. 評議員は、出席できないときは、その職務を代理する代理人を議長に届け出なければならない。

## 第2章 議 事

### 第5条 議題の宣言

議長は、会議に付する案件を議題とするときは、その旨を宣言する。

### 第6条 一括議題

議長は、必要があると認められるときは、2件以上の案件を一括して議題とすることができる。

### 第7条 案件の説明と質問

会議に付する案件は会議において提出者の説明を聞き、質問がある時は質問を行わせ、質問が終わった時は討論に付しその終結の後、表決に付する。

第8条 議決案件の条項、字句及び数字等の整理評議員会は、議決の結果生じた条項、字句、数字、その他の整理については議長に委任することができる。

## 第3章 発 言

### 第9条 発言の許可等

1. 評議員が発言しようとするときは、挙手により議長を呼び自己の地区名と姓名を告げ、議長の許可を得なければならない。
2. 2人以上の挙手により発言を求めたときは、議長は先に挙手をした者と認めた者を指名して発言させる。
3. 評議員の発言は、すべて議長に向かってこれをなさなければならない。

### 第10条 発言内容

1. 発言はすべて簡明を旨とし、重複を避け、議題外にわたり又はその範囲を超えてはならない。
2. 議長は、その発言が前項の規定に反すると認めるときは注意をし、なお従わないときは発言を禁止することができる。
3. 評議員は、議題になっている案件に限り、質問をすることができる。

### 第11条 発言時間

1. 議長は、必要があると認めるときは予め発言時間を定めることができる。
2. 前項により、発言時間の定めをした場合に、評議員の発言がその予定時間を超えたときは、議長は注意し、又は発言の中止を命ずることができる。

### 第12条 議事進行に関する発言

1. 議事進行に関する発言は、議題に直接関係あるものについて、又は議事進行上の問題について、質問し、注意し、又は希望を述べるものでなければならない。
2. 議事進行の発言が、その趣旨に反すると認めるときは、議長は直ちに制止しなければならない。

### 第13条 議長の発言及び討論

1. 議長が討論しようとするときは、案件朗読後評議員席に着き代理者を議長席に着かせなければならない。

2. 議長が討論したときは、その議題の表決が終わるまで議長席に復することができない。

#### 第14条 質疑又は討論の終結

質問又は討論が終わったときは、議長はその終結を宣告する。

1. 発言が尽きないときは、評議員から質疑又は討論終結の動議を提出することができる。
2. 前項の動議が提出されたときは、議長は直ちに表決しなければならない。

### 第4章 議 決

#### 第15条 表決事項の宣告

議長は、議決しようとするときは、議決に付する議案又は動議の内容を宣告しなければならない。

#### 第16条 挙手による表決

表決は、挙手により議長はその多少を認定して可否を宣告する。

#### 第17条 修正案の採決の順序

1. 修正案は、原案より先に採決しなければならない。
2. 同一の議案について数個の修正案が出された場合は、議長が採決の順序を定める。  
その順序は原案に最も遠いものから採決する。
3. 修正案がすべて否定されたときは、原案について採決しなければならない。

### 第5章 発議と動議

#### 第18条 発 議

評議員会において評議員が議案を提出しようとするときは、提案理由を付し、5人以上の賛成者とともに連署して、開催日の2週間前までに会長に提出することができる。

#### 第19条 動 議

動議は、5人以上の賛成者を得て提出することができる。

### 第6章 議 事 録

#### 第20条 議事録の作成

議長は、評議員会の会期ごとに議事録を作成しなければならない。

#### 第21条 議事録署名人

議事録は、議長及び当日議長の指名した出席評議員2名がこれに署名捺印し、これを本会に保管する。

#### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会監査規則

## 第1章 総 則

第1条 本会会則第5章第15条第8項の規定に基づいて監事が行う監査は、この規則に定めるところによる。

第2条 監査は会務運営と財産管理の全般について、その実態を正確に把握し運営の合理化と業務の改善に資すると共に過誤を防止し、財産の保全を図ることを目的とする。

第3条 監事は、前条の目的を達成するため経理の適正と財産の保全の監査を行う。

第4条 監査は、公平不偏なる態度をもって事実に基づいて行い、想像推察によって事象を判断してはならない。

## 第2章 監査の方法・種別及び時期

第5条 監査の方法は、書類監査と実地監査とする。

第6条 監査の種別は、定時監査と臨時監査に分かれ、次の各号によることとする。

- (1) 定時監査は年1回、4月に行う
- (2) 臨時監査は必要と認めた場合

第7条 実地監査は年1回以上行うものとする。

第8条 監事は監査を実施するために役員又は事務局に対し、帳簿、諸報告書及び諸統計その他必要な資料の提出を命じ、又は事実の説明その他監査に必要な事項を要求することができる。

第9条 監査は、書類、帳簿、証拠書類等の記録に基づき、突合わせ、分析、実査、質問、立会い等必要と認める監査手段を選択適応して実施する。又、監査手段の選択適応については、その重要性、範囲、日数、効果等を勘案して決定する。

## 第3章 監査報告

第10条 監事は、監査の都度、監査報告書を次により作成し、会長に提出するとともに、評議員会及び総会に監査の実地状況及び結果などを総括し、文書により報告するものとする。

第11条 会長は監査の結果に基づき対策及び措置を必要とするときは、速やかに理事会にはかり措置するものとする。

第12条 監事の監査報告書は、本会の運営管理全般に関し、有効な改善を計るための重要な資料とするものである。

## 第4章 補 則

第13条 役員任期満了の年の年度会計決算書の監査は、新任監事で行い、旧監事が立会いするものとする。

### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日より施行する。

# 福岡歯科大学同窓会財産管理及び会計規則

## 第1章 総 則

### 第1条 趣 旨

この規則は本会会則第47条に基づいて定めるものとする。

### 第2条 財産管理及び会計の責任者

1. 財産管理及び会計の最終責任者は、会長とする。
2. 会長は、財産管理及び会計について直接的責任を会員に対して負うものとし、会計担当役員がこれを補佐する。

### 第3条 予算統制

本会のすべての収入及び支出は、予算に基づいて統制を行う。

### 第4条 予算期間

予算は単年度予算とする。

### 第5条 予備費の設置

1. 不時の支出に充てるため予備費を設けることができる。

### 第6条 決算剰余金の次年度繰越

各会計年度において決算上剰余金を生じたときは、次年度に繰り越すものとする。

## 第2章 財産の管理

### 第7条 会計の資金区分

本会の会計は、次の資金区分による。

#### (1) 一般会計資金

本会の経常的な事業活動に使用される資金

#### (2) 積立会計資金

引当資金としての積立資金

#### (3) 別途会計資金

別途の事業資金

### 第8条 会計相互間の貸借の禁止

各会計相互間の貸借を禁ずる。ただし、評議員会の承認を得た場合はこの限りではない。

### 第9条 運用収益金

各会計の運用収益金は、各会計に繰り入れるものとする。

### 第10条 寄付金品の使途

使途を決めて寄付された金品はその使途に用

い、決められていないものは評議員会に諮って使途を決める。

### 第11条 取引銀行・有価証券・固定資産

1. 次の事項は、会長が理事会の議を経て行う

- (1) 取引銀行の新設及び変更
- (2) 有価証券（電話債券を除く）の取得、売却、貸付、入質
- (3) 固定資産の購入、改良、売却、除去、賃借、入質

2. 前項の規定にかかわらず、次の事項は評議員会の承認を要する。

- (1) 多額の積立金の取引銀行の新設及び変更
- (2) 不動産の購入、改良、売却、除去、賃借、入質

### 第12条 金銭の定義

1. この規則で金銭とは、現金、預金および合同運用信託をいい、現金とは通貨のほか、小切手、郵便為替証書、振替貯金証書などをいう。
2. 公社債、債権などの有価証券及び手形は金銭に準ずるものとして扱う。

### 第13条 資金の範囲

本会において資金の範囲とは、次に掲げるものとする。

- (1) 第12条に規定する金銭
- (2) 短期間において入金或いは支払うべきことが確実な、未収、未払金等の債権債務

### 第14条 固定資産の定義

1. この規則で固定資産とは次に掲げるものをいう。ただし、時の経過によりその価値を減少する償却資産については、耐用年数が1年以上で1単位当たり取得価格が償却資産課税額のものを用いる。

#### (1) 有形固定資産

土地、建物（建物付属設備含む）・構築物・備品（機械装置、車両運搬具、器具含む）

#### (2) 無形固定資産

借地権・施設利用権・電話加入権など

2. 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる資産は、会計書類上固定資産として仕訳する。

- (1) 長期預託を目的とした預金・合同運用信託、

長期保有を目的とした有価証券など。

#### 第15条 固定資産の取得価格

固定資産の取得価格は次の各号による。

- (1) 購入によるものは、購入価格に付帯費用を加算した金額
- (2) 交換によるものは、交換に際し提供した物件の帳簿金額
- (3) 贈与によるものは、評価額

#### 第16条 物品の定義

この規則で物品とは、事務用品等で耐用年数1ヶ月以上で、1単位当たり取得価格が5千円以上、償却資産課税額未滿のものをいう。

### 第3章 会 費

#### 第17条 入会金及び年会費

正会員、準会員、勤務会員の入会金及び年会費は次のとおりとする。

1. 入会金 30,000円
2. 年会費 10,000円

#### 第18条 支払方法

1. 本会所定の入会金、会費並びに負担金は所属の地区会支部同窓会を経由して本会に支払わなければならない。但し、所属の地区会支部同窓会を経由することが困難な場合には、直接本部に会費を支払うことを妨げない。
2. 準会員、勤務会員は、本会所定の入会金を本会に支払わなければならない。

### 第4章 会費の減額及び免除

#### 第19条 会費の免除

1. 本会の会員にして、通算40年を経過し、本会則第2章第7条第1項の義務を果たしているものについては、当該所属地区会支部同窓会長の報告により理事会の承認を経て、その会費を全額免除する。
2. 臨床研修会員は、年会費は正会員の2分の1とし、入会金は免除とする。
3. その他の特別会員・名誉会長・名誉会員は、会費、入会金は徴収しない。
4. 前項のほか会員のうち特別な事情ある者に対しては、理事会の決定により、会費を減免することができる。

### 第5章 予算の編成と執行

#### 第20条 予算編成

予算編成は、会長が理事会の議を経てこれを行う。

#### 第21条 予算科目

1. 予算は、収支の性質、目的に従い、款、項の科目に区別する。
2. 予算科目は、事業計画との関連を明瞭に表示する名称を用いる。

#### 第22条 予算の補正

規程予算の変更を必要とするときは、会長は理事会の議を経て予算の補正を行い、評議員会の承認を求める。

#### 第23条 款相互間の流用の禁止

予算の執行にあたって、各款の予算金額は、相互に流用してはならない。

#### 第24条 予算執行上の理事会付議事項

次の事項は、会長が理事会の議を経て行い、次の評議員会で報告する。

- (1) 同一款内における各項の予算の流用
- (2) 緊急の必要にもとづく軽微なる予算の変更

### 第6章 決 算

#### 第25条 決算の作成時期

会長は、毎会計年度終了後2ヶ月以内に会計担当役員に決算書類の作成を求め、会長に提出する。

会長は理事会でこの決算書類を審議、監事の認証を得て、評議員会及び総会の承認を求める。

### 第7章 補 則

#### 第26条 委 任

この規則の施行についての必要な事項は、会長が理事会の議を経て定める。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成24年5月26日から施行する。
3. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会福祉共済規則

## 第1章 総 則

第1条 この規則は、本会会則第1章第4条第2項に基づいて規定する。

第2条 本共済は、福岡歯科大学同窓会会員を以って組織し、会員相互扶助の精神に基づき、福祉厚生をはかることを目的とする。

第3条 前述の目的達成の為、次のことを行う。  
弔慰金、慰労金、会員の療養、火災、天災その他、福祉厚生に関して必要な給付を行う。

## 第2章 給 付

〈給付〉

第4条 給付の有無並びに支給額は理事会において決定する。

〈弔慰金〉

第5条 会員死亡に対しては弔慰金、弔花、弔電を贈る。但し5万円を上限とする。

第6条 名誉会員および特別会員の死亡に対しては弔慰金、弔花、弔電を贈る。

〈会員の療養〉

第7条 会員が入院加療の場合は次の通りとする。  
(入院後2ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して診断書を本部に提出)

イ. 1ヶ月以上 3万円

〈火災〉

第8条 火災見舞金は、次の通りとする。(火災発

生後6ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して本部に通知)

イ. 全焼又は総面積の50%以上 3万円

ロ. 総面積の50%未満 2万円

〈天災、その他〉

第9条 水害等の天災に対する見舞金は、次の通りとする。(災害発生後6ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して本部に通知)

イ. 全壊又は総面積の50%以上の破壊 3万円

ロ. 床上浸水又は総面積の50%未満の破壊 2万円

〈会長先決〉

第10条 会長は、緊急必要事項については応急の処分をすることができる。但し、後日理事会への報告が必要である。

〈会則改正〉

第11条 本共済の規則改正は理事会の承認を経て改正される。

〔附 則〕

1. この改正規則は、昭和59年5月より施行する。
2. この改正規則は、昭和61年5月より施行する。
3. この改正規則は、昭和63年5月より施行する。
4. この改正規則は、平成2年5月より施行する。
5. この改正規則は、平成10年5月より施行する。
6. この改正規則は、平成19年5月より施行する。
7. この規則は、平成22年5月29日より施行する。
8. この規則は、平成26年4月1日より施行する。

# 福岡歯科大学同窓会選挙規則

## 第1条 趣 旨

この規則は、本会会則第5章第14条第1項に基づいて定めるものとする。

## 第2条 選挙方法

選挙管理委員会が評議員会に委嘱する。

## 第3条 選挙管理組織

1. 選挙管理委員長を同窓会会長が指名し、評議員会の承認を得る。
2. 選挙管理委員長は選挙管理委員を若干指名することができる。

## 第4条 選挙管理委員長の任期

任期は2年とする。

## 第5条 選挙権

福岡歯科大学同窓会の評議員とする。

## 第6条 被選挙権

1. 福岡歯科大学同窓会正会員とする。
2. 重複立候補の禁止  
候補者は会長と監事の重複立候補はできない。
3. 選挙事務関係者の立候補制限  
選挙管理委員長、選挙管理委員は、その在職中に候補者となることはできない。立候補する場合は、その職を辞することとする。

## 第7条 選挙期日

選挙管理委員会が指定する日

## 第8条 選挙の告示

選挙は選挙期日の2ヶ月前に選挙管理委員会が告示する。

## 第9条 立候補の届出

選挙の告示から1ヶ月以内に郵送かあるいは文書で選挙管理委員会に届ける。

## 第10条 立候補の辞退

文書を選挙管理委員会の定める期日迄に選挙管理委員会に届ける。

## 第11条 当選人

1. 有効投票の最多数を得た者。

2. 得点が同数ならば（最多数同志）決選投票とする。

3. 候補者が定員数以内の場合には、投票を行わず、当該候補者をもって当選人と定める。なお、定員に足りないときには、別段の方法をとることができる。

## 第12条 当選人決定の告知及び告示

当選人が決定したら、選挙管理委員会は直ちに当選人の住所、氏名及び得票数、各候補者の得票数を会員に報告しなければならない。

## 第13条 当選の効力発生

当選人の住所、氏名の告示のあった日から生ずる。

## 第14条 選挙に際しては次の細則をもうける。

### 1. 選挙運動の期間

立候補の届出より選挙の前日まで。

### 2. 選挙運動

選挙管理委員会の指示に従う。

### 3. 選挙立会人

候補者は選挙立会人を1人指名して、前日迄に選挙管理委員会に届け出る。

### 4. 開票の指定及び告示

選挙管理委員会が指名及び告示する。

## 第15条 選挙規則の改正

選挙規則の改正は、選挙管理委員会が審議し、評議員会の承認を得るものとする。

## 〔附 則〕

1. この規約は、昭和54年3月より施行する。
2. この改正規約は、昭和58年5月より施行する。
3. この改正規約は、昭和62年5月より施行する。
4. この改正規約は、平成19年5月29日より施行する。
5. この規則は、平成22年5月29日より施行する。
6. この規則は、平成26年4月1日より施行する。

## 編集後記

### 「人間らしい」

第36号の同窓会誌「背振」を発刊することができました。お忙しい中、玉稿をお寄せ下さった皆様に心より感謝申し上げます。

「人間らしい」という言葉、当たり前のように多用されていますが、良く考えると違和感として感じることもあります。(そういうものについて引っかかってしまう性分なもので、他人と会話がかみ合わなくなってしまう困ることがあります。)頭の良い人はすでに理解しきっているのですが、当方、残念ながらそうではないもので、この言葉が頭によぎるたびに、あれこれと考えを巡らせたりすることがあります。

私たちは普段、何となく「ルーティーン」で生活していて、社会人にもなると日々の生活が作業化し、「変化」というものが減少する傾向にあります。自分で求めにいかない限りは、新しい刺激も現れないと思います。そういう生活が続くと、本来自分の中にある「小さな感動」を忘れがちになります。

小さな感動とは、何でもいいのです。例えば、夏の暑い時に喉を潤した水、空腹に耐えて仕事を終わらせて口にした食事の一口目が「美味しかった」とか、たまたま目にした風景が「綺麗だった」などです。こういった見落としがちな、日常にありふれた出来事に対して生じた感動を大切にすることは、誰一人例外なく、人間にとって必要なのだと思います。人間には喜怒哀楽では収まらないほどたくさんの種類の感情があります。その中に「人間らしさ」は凝縮されており、自分の中で起こった感情に素直に向き合うことが「人間らしく生きること」だと思います。と、ここまででは一般論です。会員の先生方、関係者の先生方や職員の方々、在学生の方々、皆様それぞれに変化に富んだ日々を過ごされているだろうと拝察申し上げます。「医療」という職種柄、またプライベートにおいても毎日が変化、発見、勉強という流れの中でそれぞれの「人間らしさ」が集まり、多くの方々のお力添えにより、この「背振」も無事に、今年も歴史を刻むことができました。

今年度は、看護大学の創立に始まり、宮口巖先生(1期)が長崎県歯科医師会会長に、神田晋爾先生(4期)が福岡市歯科医師会会長に就任されました。(両先生とも福岡歯科大学同窓会で初の快挙となります。)このような「変化」の中で今年度、編集後記を執筆する権利を頂けた事は誠に光栄であります。このような時に沸き起こった「嬉しい」。私が大切にしていきたい「人間らしさ」を形成する感情の1つです。生きている時間は限られています。なるべく(自然に)笑顔でいる時間の割合を多くしたい、そんなことを考えながら(ニコニコと)編集を行っていたため、不備がありました時は何卒ご容赦を。

広報理事 廣松 亮 (32期)



### 「スマートなクオリティをめざして」

同窓会会員の皆様、如何お過ごしでしょうか? 広報委員会では、会員相互の情報交換、情報発信としての運営を行っております。

今回、新しいコーナーを新設することになりました。一つは最近のトピックス情報としまして「Watch」ともう一つは女性の歯科医師の活躍と近況報告の場として「Komachi」です。「Komachi」については、同窓会誌「背振37号」より掲載予定しています。自薦他薦は問いませんので事務局までご紹介下さい。

同窓会誌の発行は、寄せられた皆様の原稿で作られています。どうか原稿依頼の際はご承諾頂きフレッシュな原稿をお待ちしておりますので、ご協力の程よろしく申し上げます。本号発行に当たりご執筆頂きました皆様お忙しい中、誠に有り難うございました。編集委員会一同感謝しております。

広報常務理事 劉 中憲 (14期)



## 『背振』 第36号

福岡歯科大学同窓会誌

2017年12月21日発行

発行責任者 宮口 巖

編集責任者 劉 中憲、廣松 亮

福岡歯科大学同窓会

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1

TEL(092)863-2966 FAX(092)863-2967

E-mail dousoukai@college.fdcnet.ac.jp

URL <http://www.fdcnet.ac.jp/col/collink/alumnus/index.html>

印刷所 大同印刷株式会社

〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20

TEL(0952)71-8520(代) FAX(0952)71-8528

## 会誌編集委員会

### 広報委員会

常務理事 白本 光七 (2期)

常務理事 劉 中憲 (14期)

理事 佐藤 毅 (3期)

理事 廣瀬 武尚 (4期)

理事 三箇 正賢 (18期)

理事 後藤加寿子 (21期)

理事 重富 澄保 (24期)

理事 廣松 亮 (32期)

理事 熊谷 徹弥 (36期)

### 企画・情報委員会

常務理事 小柳 進祐 (12期)

理事 田中 靖彦 (12期)

理事 荒瀬 陽一 (12期)

理事 吉岡 和彦 (25期)

理事 田代 剛 (26期)

# 平成29年度第40回定時総会予定のご案内

平成 29 年度第 40 回定時総会の日程が下記の通り予定しております。多数のご参加を宜しくお願い申し上げます。

## 記

日時 平成 30 年 6 月 2 日(土)  
 総 会 17:00 ~ 18:00  
 特別講演会 18:00 ~ 19:00  
 ※詳細は日時が近くなりお知らせします。  
 懇 親 会 19:00 ~  
 場所 ANA クラウンプラザホテル福岡  
 福岡市博多区博多駅前 3 丁目 3 番 3 号  
 TEL.092-471-7111



歯科医院用

矯正装置・マウスガード・義歯用除菌洗浄剤

大きめサイズで長く使える300mL

発売中

# デントムース

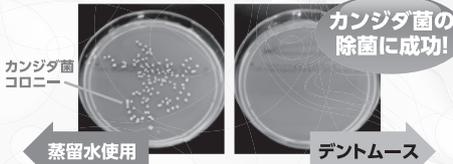
手軽に泡で除菌!お手入れ簡単ムース状義歯洗浄剤!

### 口腔内細菌・真菌の除去効果

*Candida albicans* 培養液に37℃、120分間レジン片を浸漬する。レジン片をデントムースにつけ30秒間静置した後、緩衝液で洗浄。レジン片から剥離させた菌を37℃、48時間培養し観察した。コントロールでは蒸留水に同時間浸漬した。

寒天培地での培養結果

寒天培地でのコロニー形成状態を確認



結果、蒸留水を使用した群では *Candida albicans* が成育したが、デントムースを使用した群では成育しなかった。

歯石防止成分配合

研磨剤・アルコール無配合

口腔内細菌から真菌までしっかり除菌



詰め替え用同時発売!

### 使用方法

※②の後、3~5分放置してから④へ進んでいただくこともできます。

- ① 義歯を軽く水洗いしてください。
- ② 適量(1~2プッシュ)を義歯にかけてください。
- ③ プランで全体をみがいてください。
- ④ 洗浄後はしっかりと流水ですすいでください。

**Bee** (株)ビーブランド・メディコーデンタル  
 大阪営業所: 大阪市東淀川区西淡路5-20-19 | 東京営業所: 東京都千代田区神田錦町1-14  
 TEL: 06-6370-4182 FAX: 06-6370-4184 | TEL: 03-3295-6926 FAX: 03-3295-6927  
<http://www.bee.co.jp/>



NEW  
**SOLIO X**

CBCT+Pan  
販売名:ソリオ エックスシリーズ  
認証番号:228AABZX00061000

- 最大FOVφ90mm×91mm(H)
- 新型センサー&独自画像処理技術で高画質化を実現
- 簡単で快適な位置付け〜撮影フロー
- 1500mm×1500mm のスペースに設置可能なコンパクトデザイン



**AUGE SOLIO**

CBCT+Pan+Ceph  
販売名:オーゼンソリオシリーズ  
認証番号:224AABZX00077000

- CT・パノラマ・セファロ撮影
- 最大FOVφ230mm×164mm(H)
- 0.5秒ワンショットFPDセファロ撮影
- 2.9、4.0秒CMOSセファロ撮影

インハウスCAD/CAMシステム  
**ceramill**  
by  
AMANN+IRRBACH

AG セラミルシリーズスタンダードセット  
(3D スキャナ・5軸ミリングマシン・デザインソフトウェア・PC)

販売名: AG セラミルシリーズ ceramill motion2 届出番号: 2682X00001019531  
販売名: AG セラミルシリーズ ceramill map400 届出番号: 2682X00001019501  
販売名: AG セラミルシリーズ ceramill mind 届出番号: 2682X00001019521

製造販売元 **朝日レントゲン工業株式会社** <http://www.asahi-xray.co.jp>  
〒601-8203 京都府京都市南区久世染山町376番地の3 TEL:075-921-4330 FAX:075-921-6675  
※ 日本国内の各拠点の詳細につきましては、WEBサイトに掲載しております。 ※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

**朝日レントゲンメールマガジン**  
最新の製品情報・展示会情報・セミナー情報等をお送りします。  
登録方法: [asahi@fblayn.jp](mailto:asahi@fblayn.jp) に空メールを送信してください。

ご存知ですか?

アサヒプリテック(株)だからできること

AMS (アサヒメタルアカウントシステム) という  
金・白金・パラジウム・銀を、  
それそれ今より高く売却する方法があること  
アサヒプリテック(株)の分析能力が、  
世界的に評価されているということ

小さな資源を、  
あらたな資産へ



エンパワー  
Empower®  
Clear Self Ligating



エンパワークリア  
標準価格 ¥8,000/pk (5粒)

審美と機能性を備えたセルフライゲーションブラケット  
エンパワーシリーズは世界で 100 万症例の実績のあるブラケットです

管理 認証番号 226AGBZX00057000

\*表示価格に消費税は含まれておりません。すべての表示価格は、歯科医院様直接販売時の価格となります。\*製品の仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。

製造販売元



〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-33-19 Y DM 日暮里ビル

☎ 0120-49-0980 FAX 03-3801-7560 E-mail info@biodent.co.jp http://www.biodent.co.jp



3524 Washington Avenue Sheboygan, Wisconsin, 53081-1048 USA

Email: info@americanortho.com web: www.americanortho.com

# 感染予防



## 洗浄はミーレ

500ℓ / 分の循環水量による強力な洗浄力!

ミーレジェットウォッシャー PG8591/PG8581



### 洗浄力

循環水量 500ℓ / 分と様々なモニタリング機能による  
確実な洗浄

### 充実の標準装備

軟水化装置、DOS モジュールを標準で内蔵装備

### ハンドピース内部の洗浄・水分除去

PG8581: ハンドピース内部の洗浄と余熱乾燥機能。  
PG8591: ハンドピース内部の洗浄とホットエアによる  
強制乾燥機能

### ISO 規格適合

ウォッシャー-ディスインフェクターに関する ISO 規格  
『ISO15883/1』 『ISO15883/2』 に適合

■ ミーレジェットウォッシャーは3タイプ



**PG8591**  
大容量タイプ  
ドライプラス  
(ホットエア  
乾燥機能)



**PG8581**  
大容量タイプ  
エコドライ  
(余熱乾燥機能)



**G7831**  
省スペースタイプ

製造販売元番号 1482X10032000016, 1482X10032000017, 1392X10032000010 一般医療機器

## 滅菌はリサ



チャンパーは22ℓの大容量!

クラス B オートクレープ リサ

### エコドライプラス機能

被滅菌物の量に応じて乾燥時間を自動的に調節

### ファストサイクル機能

緊急時の滅菌に対応  
(未包装のハンドピース 0.6kg まで)

### 22L の大容量チャンパー

チャンパーサイズは従来機種より30%アップ  
しかも滅菌時間は約 31 分

### EN 規格適合

小型オートクレープに関する EN 規格  
『EN13060』 に適合



■ クラス B オートクレープ リサは2タイプ



**リサ 22ℓ**  
大容量タイプ



**リサ 17ℓ**  
省スペースタイプ

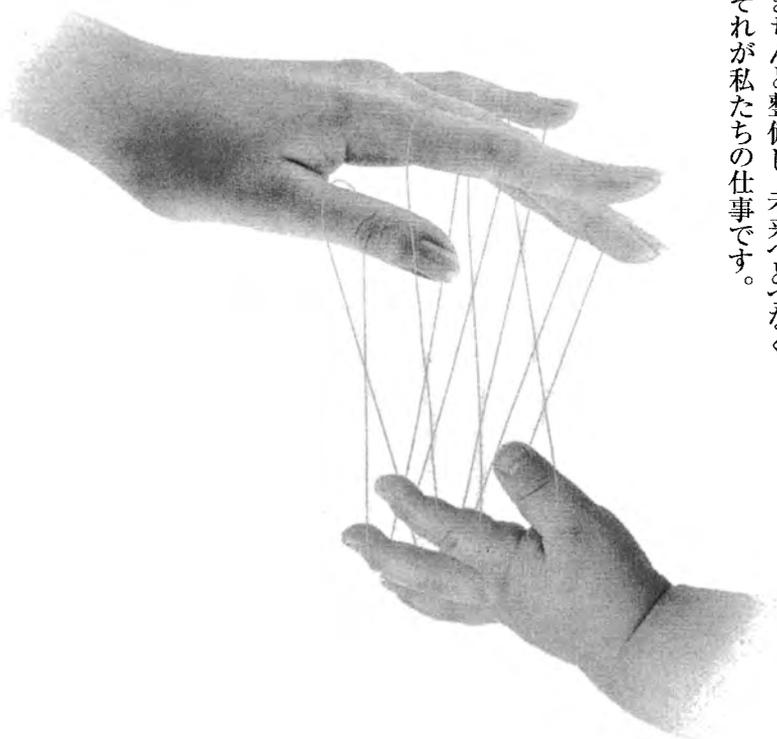
医療機器認証番号 228ALBZX00008000, 221006ZX01084000 管理医療機器 特定保守管理医療機器



福岡営業所  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅2-18-30 八重洲博多ビル5F  
TEL (092) 432-4618 FAX (092) 432-4617



福岡市東区多の津4-7-5 KNセンタービル  
〒813-0034 福岡市東区多の津4-7-5 KNセンタービル  
TEL (092) 629-1491 FAX (092) 629-1494



エネルギーがつくりだす  
未来の環境を  
あなたに。  
未来を明るく  
照らします。

世の中には、いろいろな電気の道が走っています。  
その道をいろいろなカタチにしながら、  
きちんと整備し、未来へとつなぐ。  
それが私たちの仕事です。

HOT LINE OF HUMAN RELATIONS

設計・施工／電気設備工事（屋内・屋外）、空調・給排水衛生設備工事

株式 佐 電 工  
会社

本 社／佐賀市天神1丁目4番3号 0952-23-4144  
福岡支店／福岡市早良区祖原21番2号 092-821-3033

チラシ・カタログ・ポスターから専門書・自費出版物まで、  
すぐにお見積り致します。



大同印刷株式会社

〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20  
<http://www.daidou-jp.com>

TEL(0952)71-8520

FAX(0952)71-8528



## 歯科用スクラップを どうしていますか？

現在、環境問題は、地球規模となり、人々の生活に大きく関わっています。  
一人一人ができること、市や国ができること、スケールは様々ですが、  
企業ができることの一つとして、限りある資源を大切に  
そして有効に利用していくことがあります。  
このリサイクルについて、独自のシステムを開発、構築し、  
環境保全や人々に喜ばれる事業を目指しています。

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

**(株)ICAWARYO九州**

**0120-920-942**

<http://www.kawaryo-q.co.jp>    [info@kawaryo-q.co.jp](mailto:info@kawaryo-q.co.jp)

- 九州本社 / 〒860-0052 熊本県熊本市西区田崎本町10-4  
TEL 096-356-2578 FAX 096-274-1221
- 福岡営業所 / 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎1-11-11F  
TEL 092-409-2418 FAX 092-409-2427
- 鹿児島営業所 / 〒891-0113 鹿児島県鹿児島市東谷山6丁目33-18  
TEL 099-297-6938 FAX 099-297-6935
- 沖縄営業所 / 〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古2-7-12  
TEL 098-897-4002 FAX 098-988-0248

### Kawaryo Group Organization

**(株)ICAWARYO PGM**

〒431-1103  
静岡県浜松市西区湖東町5850-2F

**(株)サンコー大阪**

〒578-0911  
大阪府東大阪市中新開2-4-23

**ユタカ(株)**

〒604-8455  
京都市中京区西ノ京藤ノ木町5-3

**(株)ピージーエム・プラス**

〒770-0006  
徳島県徳島市北矢三町3-1-55

## 信頼・安心・真心のサポート

**FINE**

総合リスク産業  
**有限会社**

**ファイン**

代表取締役

**吉村 大二郎**

〒818-0132 太宰府市国分1-13-26

TEL (092) 918-1230 FAX (092) 918-1231

【取扱保険会社】

- ・三井住友海上火災保険(株)
- ・三井住友海上あいおい生命保険(株)
- ・メットライフ生命保険(株)
- ・オリックス生命保険(株)

リスクマネジメント業務・保険に関するコンサルティング・交通事故相談

医療機関向け空気浄化装置

# MEDICAL LIGHT AIR

<メディカルライトエア>

治療は院内の空気環境から。

治療中に発生する目に見えない物質や、来院される患者様が外部から持ち込む様々な有害物質が院内には浮遊しています。時にそれは治療の妨げや、患者様への不安要素となる場合があります。メディカルライトエアは光触媒を搭載し理想的な空気に浄化してキレイな院内空気環境をお届けします。



三オイ

粉塵

ウイルス

## 光触媒 セラミックフィルター搭載



医療機関向け空気浄化装置  
「メディカルライトエア」を動画でご覧頂けます。  
▶ 詳しくはこちらで動画を観ることができます。  
<http://www.tokyogiken.com/ja/mla/>



◆実験結果(第三者機関での除菌テスト)  
外部研究機関試験による抗菌・抗ウイルスデータ

ウイルス除去率最大 99.95%

■除菌率(%)の計算(一度の通過による除去率)

除菌率 = (IN創回収菌数 - OUT創回収菌数) ÷ IN創回収菌数 × 100

試験機関: 株式会社 全労研 北産研 医療センター 病院 医療従事者センター

試験結果: 細菌・ウイルスについて除去能力あり。

※ 実使用空間での実証効果ではありません。

ウイルス: (IN創回収菌数 - OUT創回収菌数) ÷ IN創回収菌数 × 100

試験番号: 00416 (試験実施機関 2004.11.29 - 2005.3.8)

試験空間の大きさ: 1[m<sup>3</sup>]の実験ボックス(密閉空間)

株式会社 **東京技研**  
URL: <http://www.tokyogiken.com>  
e-mail: [TG@tokyogiken.com](mailto:TG@tokyogiken.com)

【東京本社】〒158-0087 東京都 世田谷区 玉堤 1-25-13 tel: 03-3703-5581 fax: 03-3705-1760  
【横浜工場】〒224-0023 横浜市 都筑区 東山田 4-42-37 tel: 045-591-4441 fax: 045-591-4445

■性能向上の為、製品の仕様、価格等は予告なく変更する場合があります。■印刷の都合上、掲載写真と実物が異なる場合があります。■適用機種以外や指定方法以外の取り付け、ご使用方法などによるクレームには応じかねます。■本掲載商品は国内使用を前提に製造しております。日本国外にて発生したクレームは一切お受けできません。



JQA-QMA 14502  
JQA-MCCE03



格調とやすらぎの空間で  
心づくしのひとときを。

■JR博多シティ(博多駅)から徒歩3分! ■お得な情報満載! 最新情報は、今すぐホームページをチェック! ご予約はホームページが大変便利でお得です。

**ホテル日航福岡**  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-18-25

ご予約・お問合せ

092-482-1111 (代表)

ホテル日航福岡

検索





Official partner



# BEAUTIFIL Flow Plus

Injectable Hybrid Restorative Material

すぐれたペーストの切れと  
レベリング性に『高研磨性』をプラス

築盛に適した  
**F00**

充填に適した  
**F03**

新規開発『ナノS-PRGフィラー』含有  
インジェクタブルハイブリッドレジン

## ビューティフィル フロー プラス X

歯科充填用コンポジットレジン

管理医療機器 医療機器認証番号 229AFBZX00047000

2.2g ¥2,800 【色調】**F00** 11色：**F03** 12色

価格は2017年9月現在の標準医院価格（消費税抜き）です。



世界の歯科医療に貢献する

# 株式会社 松風

●本社: 〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112 (代)

●支社: 東京(03)3832-4366 ●営業所: 札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

<http://www.shofu.co.jp>



子どもたちに  
誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION

# 清水建設



産業・耳鼻科・歯科 **CTシェア** ダントツ **No.1**  
 CT+パノラマ複合機 純国産 NAOMI-CT

各事業所・店舗で  
**実機撮影可能!!**

各事業所・店舗で **実機展示中!**  
 アルエフ店舗  検索



純国産最新CTへ  
※全メーカー下取り対象  
 他社CTから下取り乗り換え **380** (税別) 万円  
 他社デジパンから下取り乗り換え **430** (税別) 万円

CT+パノラマ複合機 通常販売価格 650万円(税別)



**福岡SF店でも展示しております**  
 福岡市博多区西月隈3-1-37 (福岡都市高速「月隈出入口」より車で5分)

店舗・事業所・研究所 旭川 | 札幌 | 盛岡 | 石巻 | 福島 | 大宮 | 東京 | 横浜 | 長野中央・長野東部・長野駅前Cone | 須坂 | 斑尾 | 松本 | 諏訪 | 新潟 | 金沢 | 名古屋 | 大阪 | 神戸 | 岡山 | 広島 | 松山  
 大型商業ビル・研修施設 福岡 | 鹿児島 | ミシガン | NY

TEL ☎0120-911-006 FAX ☎0120-989-089 (電話受付時間) 月~土曜 8:30~19:00 / 日曜・祝日 11:00~19:00  
 ※フリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが右記の番号へお掛けください。TEL:026-225-7711 FAX:026-225-7717

事業内容 ■産業分野: X線CT・工業用内視鏡・デジタルX線非破壊撮影装置等 ■医科分野: X線CT・デジタルレントゲンNAOMI・各種医科カメラ等  
 ■カプセル内視鏡・使い捨て内視鏡等 ■歯科分野: X線CT・パノラマ/セファロレントゲン・口腔内カメラ等 ■置き楽事業(株式会社RF929)



**各50本限定** **SINOL** 高速タービンライト付き **AZL シリーズ**



医療機器認証番号 227AKBZX00046000 号

**基本 SPEC**  
 ・ドイツ製   
 セラミックペアリング使用  
 ・標準ヘッドサイズ  
 φ11.2 × 13.6 (mm)  
 ・冷却方式 ・パワー  
 4点スプレー 17W  
**※修理代が安い!!**  
 カートリッジ交換: 18,500円(税込)

※ご注文は下記 FAX にてお受けしております。(ホームページにてタービンの製品動画をご覧ください。)

SINOL AZL (NSK/KaVoタイプ) ライト付  
 定価 69,800円(税別)  
 ※ご希望のタイプに○をご記入ください

特価 **33,800** 円(税別) 本

お問合せ・・・株式会社ゼン・ユウジャパン  
 TEL093-473-8882 / FAX093-475-1712  
 福岡県北九州市小倉南区下曾根2丁目 10-26-403  
 ホームページ / <http://www.zenyou.co.jp>



ホームページ QR コード



弔慰金  
制度

医師  
賠償責任  
補償制度

休業  
補償制度

70歳までの  
収入あんしん  
補償制度

ファミリー  
お見舞金  
制度

個人  
賠償責任  
補償制度

学術  
講演会

傷害  
補償制度

しっかりとした  
安心を。



**医療共済会**

〒454-0011

名古屋市 中川区 山王1丁目7番24号 山王ビル

フリーダイヤル  0120-351153

ホームページで  
簡単!資料請求!!

<http://www.ikyousai.jp>

医療共済会 |

検索 

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されました。福岡歯科大学同窓会では、個人情報取扱事業者の算定には満たないものの、これに準じて皆様の個人情報の保護に努めて参ることが末永い我々の利益になるものと考えております。

本同窓会における個人情報の取得・利用・保管は、下記のルールに基づいて行っています。

皆様におかれましては、同窓会活動にご理解とご協力をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

### 「福岡歯科大学同窓会における個人情報の取扱」

1. 同窓会事務局に登録される皆様の情報は、氏名／卒業年（期）／自宅住所／自宅電話番号／勤務先／勤務先電話番号です。また、勤務先などが定まっていない若い卒業生においては、帰省先の登録が行われています。その他にメールアドレス、元所属クラブ等といったことが登録されています。
2. 収集した個人情報は、同窓生名簿の作成や同窓会会誌発送時の宛名出力など同窓会活動の付帯業務に使用する事を目的としており、それ以外の利用については、各種委員会並びに同窓会役員会との協議の上、やむ得ない事由に限定して利用いたします。
3. 提供先は、同窓会会員（在校生を含む）福岡歯科大学現・旧職員や広告主とし、原則としてそれ以外に頒布いたしません。尚、広告主様につきましても個人情報保護の観点から、慎重な取り扱いを協定いたします。
4. 収集した個人情報を第三者へ委託並びに再委託する場合は、各種委員会にて業者等を守秘義務履行を基本に選定し、理事会において決定いたします。
5. 収集した個人情報について、委託先も含め、機密保護には万全をつくします。
6. ご自分の情報は、任意です。ただし提供されない場合は、同窓会から各種案内（会誌、大学広報誌、学術案内、同期会等）が出来なくなる場合があります。また、同窓会名簿にも氏名のみ掲載となります。
7. ご自分の情報を照会したい場合は、同窓会事務局までご連絡ください。ご本人であることが確認できた場合に限り開示いたします。その際、ご自分の情報の訂正または削除を希望される場合はそれに応じます。

※この件についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

## 福岡歯科大学同窓会

福岡市早良区田村2丁目15-1

〒814-0193 TEL092-863-2966

FAX092-863-2967

# 「福岡歯科大学同窓生名簿」登録・変更届け

フリガナ  
氏名

(男・女)

フリガナ  
旧姓

卒業

期卒

所属地区名

名簿冊子上に掲載しない箇所には✓を入れてください

① 自宅	登録・変更	住所	〒	県		
		Tel 番号				
		Fax 番号				
② 勤務先	登録・変更	住所	〒	県		
		勤務先名	開業・勤務医・教職・大学院・研修医・その他			
		Tel 番号				
		Fax 番号				
フリガナ	登録・変更	※フリガナ：例えば「アイ」・数字の1「イチ」 英字o「オー」・数字の0「ゼロ」				
E-Mail						
メールマガジン		1.新規希望 2.希望しない 3.登録済み 4.解除したい				
郵送物送り先		①自宅 ・ ②勤務先 ・ ③帰省先				

以下は名簿に記載されません。住所等が不明になった際に郵便物を送ることがあります。

③ 帰省先	住所	〒	県	
	Tel 番号			
	Fax 番号			
所属クラブ				

Fax 送信 092-863-2967



